

ORACLE

PEOPLESOFT

PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク

January 2014

ORACLE

ライセンス制約の保証と結果的に生じる損害の免責

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

保証免責

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

制限付権利

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

危険な用途への使用について

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

商標と登録商標について

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD

Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

第三者のコンテンツ、製品、サービスに対する免責

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>)か、聴覚に障害のあるお客様は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。

目次

はじめに.....	xi
PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について.....	xi
PeopleSoft ホスト ドキュメント.....	xi
ローカルにインストールされたヘルプ.....	xi
ダウンロード可能な PeopleBook のPDF ファイル.....	xii
共通のヘルプ ドキュメント.....	xii
フィールドおよびコントロールの定義.....	xii
表記規則.....	xii
ISO の国コードおよび通貨コード.....	xiii
地域および業種の識別子.....	xiii
PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理.....	xiv
PeopleSoft エンタープライズ コンポーネントの関連リンク.....	xiv
連絡先.....	xiv
フォロー.....	xv
第1章: 承認フレームワークの概要.....	17
承認フレームワークの概要.....	17
承認フレームワークの実装.....	17
承認処理の設定.....	17
新しい承認処理の作成.....	18
第2章: 承認フレームワークについて.....	21
承認フレームワーク機能について.....	21
承認フレームワーク プロセス フローについて.....	22
トランザクション承認フローについて.....	23
ヘッダー レベルおよび行レベルの承認について.....	26
承認フレームワーク プロセスの条件について.....	27
承認機能について.....	27
承認フレームワーク内のタスクについて.....	32
第3章: 承認フレームワーク プロセス定義の設定.....	35
プロセス定義の設定コンポーネントの定義.....	35
承認フレームワーク プロセスを定義するために使用するページ.....	35
プロセス定義の設定ページ.....	35
条件定義ページ.....	41
承認パス定義ページ.....	47
承認ステップ定義ページ.....	50
第4章: 承認トランザクション レジストリの定義.....	55
承認トランザクション レジストリについて.....	55
前提条件.....	55
トランザクション レジストリの設定.....	55
トランザクション レジストリの設定に使用するページ.....	55
トランザクション登録ページ.....	56

承認トランザクションの設定.....	64
承認トランザクションの設定で使用するページ.....	64
トランザクションの設定ページ.....	64
第5章: 承認フレームワーク用の通知テンプレートおよびユーザーの定義.....	73
承認フレームワーク用の通知テンプレートの定義.....	73
承認フレームワーク用の通知テンプレートの定義に使用するページ.....	73
汎用テンプレート定義ページ.....	73
承認フレームワーク用のユーザーの定義.....	75
承認フレームワーク用のユーザーの定義に使用するページ.....	75
ユーザー プロファイル - ロール ページ.....	75
ユーザー プロファイル - ワークフロー ページ.....	76
ユーザー リスト定義ページ.....	78
第6章: 動的承認の定義.....	83
動的パスについて.....	83
動的承認の権限について.....	83
承認権限について.....	85
動的承認の定義.....	86
動的承認の定義で使用するページ.....	86
ユーザー リスト定義ページ.....	87
承認権限ページ.....	87
承認パス定義ページ.....	88
第7章: 電子メール コラボレーションの使用.....	91
電子メール コラボレーションについて.....	91
SFT_EMG_GETMAIL ノードの設定.....	94
PSFT_EMG_GETMAIL ノードの設定に使用するページ.....	95
SFT_EMG_GETMAIL ノードの設定.....	95
メッセージおよびサービス オペレーションの定義.....	95
メッセージおよびサービス オペレーションの定義に使用するページ.....	96
インテグレーション ブローカーのメッセージの定義.....	96
サービスの定義.....	97
サービス オペレーションの定義.....	97
EMC フォームの定義およびマッピング.....	99
EMC フォームの定義に使用するページ.....	99
EMC フォーム.....	99
フォーム エlement デザイナ ページ.....	99
フォーム レイアウト デザイナ ページ.....	101
フィールド マッピング ページ.....	101
電子メール コラボレーションのトリガ.....	102
電子メール コラボレーションのトリガで使用するページ.....	102
HTML 電子メール承認について.....	103
URL 管理ページ.....	104
トランザクション登録ページ.....	105
トランザクションの設定ページ.....	108
トランザクションの設定 - テンプレート編集ページ.....	111

アプリケーション エンジン プログラム EOAWEMC のスケジュール設定.....	112
電子メール アドレス ページ.....	113
第8章: EMC クラスの使用.....	115
EMC クラスについて.....	115
EmailFormManager クラス.....	115
EmailFormManager クラス メソッド.....	115
addRecipient.....	115
addCC.....	116
addBCC.....	116
addAttachment.....	117
sendEmails.....	117
EmailFormManager クラス プロパティ.....	118
inlineText.....	118
attachmentText.....	118
subject.....	118
submitMessage.....	119
from.....	119
fromEmail.....	119
replyTo.....	119
prependText.....	119
appendText.....	119
deliveryMethod.....	120
EOAW_EMCM:utils クラス.....	120
EOAW_EMCM:utils クラス メソッド.....	120
getAppRS.....	120
getErrorCodesRS.....	121
getPromptsRS.....	121
getRowFromPath.....	121
第9章: 通知およびエスカレーション マネージャの使用.....	123
通知およびエスカレーション マネージャについて.....	123
通知およびエスカレーション マネージャの設定で使用するページ.....	123
イベント タイプページ.....	123
通知とエスカレーション ページ.....	124
エスカレーション カレンダー設定ページ.....	126
第10章: 承認モニターの使用.....	127
承認モニターについて.....	127
承認の再割当てについて.....	127
承認モニターの設定.....	128
承認のモニターの設定で使用するページ.....	128
承認モニター設定ページ.....	128
承認モニターの使用.....	130
承認のモニターで使用するページ.....	130
承認のモニター ページ.....	130
検索結果の表示.....	133
承認のモニター ページ.....	133
ユーザー モニターの使用.....	138
ユーザー モニターの使用で使用するページ.....	138

ユーザー モニター - 承認のモニター ページ.....	138
第11章: 承認フレームワークの基本クラスの使用.....	141
承認フレームワークの基本クラスについて.....	141
LaunchManager クラス.....	141
LaunchManager クラス メソッド.....	141
LaunchManager.....	142
DoSubmit.....	142
DoReSubmit.....	143
DoRestart.....	144
PrepareToSubmit.....	144
SetHeader.....	145
Reset.....	145
FindDefinitionID.....	146
TerminateRunningProcess.....	147
LaunchManager クラス プロパティ.....	147
hasTxn.....	147
definition.....	147
hasAppDef.....	147
hasAppInst.....	147
hasEndedAppInst.....	148
EOAW_CORE:DEFN:AppDef appDef.....	148
resubmitEnabled.....	148
submitEnabled.....	148
restartEnabled.....	149
monitorEnabled.....	149
previewEnabled.....	149
EOAW_CORE:ENGINE:AppInst appInst.....	149
EOAW_CORE:DEFN:AWTxn txn.....	149
requester.....	149
承認マネージャ クラス.....	150
ApprovalManager クラス メソッド.....	150
ApprovalManager.....	150
DoApprove.....	151
DoApproveRowSet.....	151
DoReassign.....	152
DoReassignAll.....	152
DoDeny.....	153
DoDenyRowset.....	154
DoDenyWithAllowUndeny.....	154
DoHardDeny.....	154
DoLineResubmit.....	155
DoAddNewLine.....	156
GetPending.....	156
DoPushback.....	157
AddComments.....	157
TakeNoAction.....	158
PutOnHold.....	159
PutOnHoldCount.....	159
GetPushedBack.....	160
GetPertinentThreads.....	160

GetStage.....	160
GetPendingSteps.....	161
DoLineTerminate.....	161
GetParticipant.....	162
GetAllActiveParticipants.....	162
RequestInformation.....	163
SetAttributeObject.....	163
ApprovalManager クラス プロパティ.....	164
hasAppInst.....	164
definition.....	164
level.....	164
hasPending.....	164
pushbackEnabled.....	164
EOAW_CORE:ENGINE:AppInst the_inst.....	165
isReviewer.....	165
承認イベント ハンドラ クラス.....	165
ApprovalEventHandler クラス メソッド.....	165
ApprovalEventHandler.....	165
OnProcessLaunch.....	165
OnStepActivate.....	166
OnStepHold.....	167
OnStepReassign.....	167
OnStepComplete.....	168
OnStepPushback.....	168
OnStepReactivate.....	168
OnFinalHeaderDeny.....	169
OnHeaderDeny.....	169
OnHeaderApprove.....	169
OnNoApprovalNecessary.....	170
OnLineDeny.....	170
OnLineApprove.....	170
OnAllLinesProcessed.....	171
OnTerminate.....	171
OnError.....	172
OnStepReview.....	172
OnTimeout.....	172
OnAdHocInsert.....	173
OnAdHocDelete.....	173
OnUserLocked.....	174
OnStepRequestInformation.....	174
OnRequestInformationAdded.....	174
ProcessNotifications.....	175
OnLineTerminate.....	175
ApprovalEventHandler クラス プロパティ.....	176
wlPrefix.....	176
wlBusinessProc.....	176
wlActivityName.....	176

はじめに

PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について

PeopleSoft オンライン ヘルプは、PeopleSoft アプリケーションおよび PeopleTools の全てのヘルプ コンテンツを表示できる Web サイトです。このヘルプでは、標準ナビゲーションと全文検索、さらに状況依存オンライン ヘルプが PeopleSoft ユーザーに提供されます。

PeopleSoft ホスト ドキュメント

オラクル社の PeopleSoft ホストドキュメント Web サイトの PeopleSoft オンライン ヘルプにアクセスすると、Oracle ホスト サーバーの全てのヘルプ Web サイトおよび状況依存ヘルプに直接アクセスすることができます。ホストドキュメントは定期的に更新されるため、ユーザーは最新のドキュメントにアクセスすることができます。ホストの Web サイト コンテンツにはアプリケーションの保守に関するドキュメントがすぐに反映されるため、これらの個別のドキュメント記録を My Oracle Support で確認する必要がなくなります。ホストドキュメントの Web サイトは英語版のみ利用可能です。

注: 最新リリースのホストドキュメントのみが定期的に更新されます。新しいリリースが登録されても、前のリリースは引き続き利用できますが、更新はされません。

ローカルにインストールされたヘルプ

組織においてファイアウォールの制限により、ホストドキュメントの Web サイトを利用できない場合は、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルでインストールすることができます。ローカルでヘルプをインストールした場合は、ユーザーがアクセス可能なドキュメントをより詳細に管理したり、自分の組織のカスタムドキュメントへのリンクをヘルプ ページに組み込むことができます。

また、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルにインストールすると、全文検索にあらゆる検索エンジンを使用することができます。Oracle Secure Enterprise Search を設定して全文検索を行う手順については、ご使用のインストールドキュメントに記載されています。

ご使用のデータベース プラットフォーム向けの『*PeopleTools Installation*』の「Installing PeopleSoft Online Help」を参照してください。Secure Enterprise Search を使用しない場合は、選択した検索エンジンのドキュメントを参照してください。

注: ローカルでインストールしたヘルプ Web サイトで検索エンジンにアクセスするには、検索のポートレットとリンクを有効にする必要があります。手順については、PeopleSoft オンライン ヘルプのいずれかのページで [ヘルプ] リンクをクリックしてください。

ダウンロード可能な PeopleBook の PDF ファイル

従来の PeopleBook 形式であり、ダウンロード可能な PDF 版のヘルプ コンテンツにアクセスすることもできます。PeopleBook PDF のコンテンツは PeopleSoft オンライン ヘルプのコンテンツと同じですが、構造は異なり、オンライン ヘルプで使用できるインタラクティブなナビゲーション機能はありません。

共通のヘルプ ドキュメント

共通のヘルプドキュメントには、複数のアプリケーションに適用される情報が含まれています。共通のヘルプの 2 つの主要なタイプは、次のとおりです。

- アプリケーションの基礎
- PeopleSoft アプリケーションの使い方

ほとんどの製品ファミリーでは、システムの設定や設計に関する基本的な情報を説明する、一連のアプリケーションの基礎ヘルプトピックが提供されます。この情報は、PeopleSoft 製品ファミリーの多くの、または全てのアプリケーションに適用されます。単一のアプリケーション、製品ファミリー内のアプリケーションの組合せ、または製品ファミリー全体のいずれを実装化に関係なく、該当するアプリケーションの基礎ヘルプのコンテンツについて理解している必要があります。これらは、基本的な実装タスクの開始点となります。

また、『*PeopleTools: Applications User's Guide*』では、PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャのさまざまな要素が紹介されています。また、そこではシステムをナビゲートする際に、ナビゲーションの階層、コンポーネントおよびページを使用して基本的な機能を実行する方法についても説明しています。アプリケーションや導入内容は異なる場合がありますが、このユーザーズ ガイドのトピックでは PeopleSoft アプリケーションの使用方法に関する一般的な情報が説明されています。

フィールドおよびコントロールの定義

PeopleSoft のドキュメントには、アプリケーション ページに表示されるほとんどのフィールドおよびコントロールの定義が含まれています。これらの定義で、フィールドまたはコントロールの使用法や、移入される値の発生元、さらに特定の値を選択したときの結果などが説明されています。フィールドまたはコントロールが定義されていない場合は、追加の説明が必要ないか、ドキュメントの共通要素のセクションに既に記載されています。たとえば、日付フィールドは追加の説明がほとんど必要ないため、ドキュメント内で定義が複数のページにわたって記載されないことがあります。

表記規則

次の表に、オンライン ヘルプで使用される表記規則を示します。

表記規則	説明
キー + キー	キー操作の組合せを示します。たとえば、キーの間のプラス記号 (+) は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押す必要があることを意味します。Alt+W の場合、Alt キーを押しながら W キーを押します。

表記規則	説明
... (省略記号)	PeopleCode 構文で、先行する項目または一連の項目を任意の回数繰り返すことができることを示します。
{ } (波かっこ)	PeopleCode 構文で、2つのオプションからの選択肢を示します。オプションはパイプ () で区切られます。
[] (角かっこ)	PeopleCode 構文で、オプションの項目を示します。
& (アンパサンド)	PeopleCode 構文でパラメータの前にアンパサンドが記述されている場合は、そのパラメータがインスタンス作成済みのオブジェクトであることを示します。 また、アンパサンドは全ての PeopleCode 変数の前に付きます。
⇒	この継続文字は、コードの行の最後、ページのマージンで折り返された場所に挿入されます。コードは、継続文字がない1つの連続した行のコードとして表示または入力される必要があります。

ISO の国コードおよび通貨コード

PeopleSoft オンライン ヘルプのトピックでは、国別の情報や通貨金額を識別するために国際標準化機構 (ISO) の国コードおよび通貨コードを使用しています。

PeopleSoft ドキュメントでは、ISO 国コードは国の識別子として表示される場合があり、ISO 通貨コードは通貨の識別子として表示される場合があります。ドキュメントでの ISO 国コードの参照は、全ての ISO 国コードがアプリケーションに含まれていることを意味しません。"(FRA) Hiring an Employee" は、国固有の見出しの例です。

PeopleSoft の通貨コード テーブル (CURRENCY_CD_TBL) には、サンプルの通貨コード データが含まれています。通貨コード テーブルは、ISO 標準 4217 "Codes for the representation of currencies" に基づいており、さらに国テーブル (COUNTRY_TBL) の ISO 国コードにも依存します。通貨コードおよび国情報を管理するページへのナビゲーションは、使用している PeopleSoft アプリケーションによって異なります。通貨コード テーブルおよび国テーブルを管理するページにアクセスするには、アプリケーションのオンライン ヘルプで詳細を確認してください。

地域および業種の識別子

特定の地域や業種に対してのみ適用される情報は、その前に標準の識別子がかっこ書きで付きます。通常、この識別子はセクション見出しの先頭に記述されますが、注意書きや他のテキストの先頭に記述されることもあります。

地域固有の見出しの例として、"(Latin America) Setting Up Depreciation" があります。

地域識別子

地域は地域名によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプでは、次の地域識別子が使用される場合があります。

- Asia Pacific
- Europe
- Latin America
- North America

業種の識別子

業種は、業種名または業種の略称によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプには、次の業種識別子が現れることがあります。

- USF (U.S. Federal)
- E&G (Education and Government)

PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理

次のトピックに関する情報を参照するには、PeopleSoft オンライン ヘルプの任意のページのユニバーサル ナビゲーション ヘッダーで [ヘルプ] リンクをクリックします。

- PeopleSoft オンライン ヘルプの新機能。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセシビリティ。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセス、ナビゲーションおよび検索。
- ローカルにインストールされた PeopleSoft オンライン ヘルプ Web サイトの管理。

PeopleSoft エンタープライズ コンポーネントの関連リンク

[PeopleSoft 情報ポータル](#)

[My Oracle Support](#)

[Oracle University の PeopleSoft 研修](#)

連絡先

[提案を送信する](#) ご使用の PeopleTools およびアプリケーションのリリース番号を含めてください。

フォロー



[Facebook](#) で PeopleSoft の最新の更新を入手します。



[Twitter@PeopleSoft_Info](#) で PeopleSoft をフォローします。

第1章

承認フレームワークの概要

承認フレームワークの概要

次を含む承認フレームワークに関する情報については、この製品ドキュメントを使用します。

- 承認フレームワーク プロセス定義を設定します。
- 承認トランザクション レジストリを定義します。
- 承認フレームワーク用の通知テンプレートおよびユーザーを定義します。
- 動的承認を定義します。
- 電子メール コラボレーションを設定します。
- 通知およびエスカレーション マネージャを設定します。
- 承認フレームワーク モニターを設定して使用します。
- 承認フレームワーク PeopleCode クラスを使用します。

承認フレームワークの実装

多くの PeopleSoft アプリケーションが、定義済の承認フレームワーク プロセスが組み込まれて提供されています。定義済処理を設定して使用するためには、次の手順を実行します。

承認処理の設定

次のステップを使用して、アプリケーションに対して定義済の承認フレームワークを設定します。

ステップ	参照
ワークフロー機能の有効化	製品実装のため、該当する製品ドキュメントを参照します。
ユーザー リストの定義	「 ユーザー リスト定義ページ 」を参照してください。
承認フレームワークの設定	「 プロセス定義の設定コンポーネントの定義 」を参照してください。
承認ユーザー モニターの設定	「 承認モニターの設定 」を参照してください。

新しい承認処理の作成

承認フレームワークは、新しい承認処理を作成するために使用できます。アプリケーション開発者は、トランザクション定義コンポーネントを使用してワークフロー承認を設定できます。次のステップは、新しい承認処理を作成するために使用できます。

ステップ	参照
トランザクション エントリ コンポーネントの特定	トランザクション エントリに使用するコンポーネントの特定
承認コンポーネントの特定	トランザクション承認に使用するコンポーネントの特定または作成これは、通常は新しいコンポーネントですが、トランザクション コンポーネントと同じにすることもできます。承認コンポーネントには、トランザクションの承認または却下に必要なプッシュ ボタンと、実行できるその他のアクションが含まれます。
承認クロス リファレンス テーブルの作成	クロス リファレンス テーブルには、サブコード EOAW_XREF_SBR を含める必要があります。 「 トランザクションレジストリの設定 」を参照してください。
承認関係者となる全てのユーザーの表示を作成します。	この表示は、承認のモニターによって、個人名および連絡先を表示するために使用されます。
承認トランザクション ハンドラ クラスの開発	このトランザクションのイベントをモニターする際に使用されるアプリケーション クラスを定義します。アプリケーション クラスが通知を受け取るには、アプリケーション クラスは ApprovalEventHandler クラスを拡張し、アプリケーションを有効にする必要があります。 「 ApprovalEventHandler クラス メソッド 」を参照してください。
承認を起動するためのコードの作成	承認フレームワークを起動するためのコードを作成します。このコードは、LaunchManager アプリケーション クラスを拡張し、少なくとも [送信] ボタンを定義する必要があります。 「 LaunchManager クラス メソッド 」を参照してください。
承認を管理するためのコードの作成	ApprovalManager アプリケーション クラスを使用して、承認を管理するためのコードを作成します。 「 ApprovalManager クラス メソッド 」を参照してください。
通知の定義	「 承認フレームワーク用の通知テンプレートの定義 」を参照してください。
承認トランザクション レジストリの設定	「 承認トランザクション レジストリについて 」を参照してください。
承認トランザクションの設定	「 承認トランザクションの設定 」を参照してください。
ユーザー リストの定義	「 ユーザー リスト定義ページ 」を参照してください。

ステップ	参照
承認フレームワークの設定	「 プロセス定義の設定コンポーネントの定義 」を参照してください。
承認ユーザー モニターの設定	「 承認モニターの設定 」を参照してください。

第2章

承認フレームワークについて

承認フレームワーク機能について

日常業務として行うタスクの多くは、複数のステップで構成される大きなプロセスの一部であり、複数の人がそのタスクに携わっています。ワークフローとはこのプロセスを指し、このプロセスには、調達依頼や職務変更リクエスト フォームの承認などが含まれることがあります。このようなマルチユーザー プロセスを容易にすることを目的として、PeopleSoft 製品ではワークフロー通知を自動的に起動して、作業待機プロセスの次の承認者への通知を行います。

ワークフロー承認に対応するため、専門の設計機能が用意されています。この設計機能を使用すると、既存のコンポーネントを使用して、コードを記述せずに承認フレームワークを設定できます。

承認を設定するには、3つのタイプのユーザーが協力します。これらのユーザーには、アプリケーション開発者、職務機能ビジネス アナリスト、および依頼者、承認者、レビュー担当者などのユーザーが含まれます。承認フレームワークでは、承認プロセス ワークフローを定義するためにこれらのロールが組み合されます。

アプリケーション開発者は、トランザクション定義コンポーネントを使用して承認フレームワークを設定します。トランザクションの例には、職務変更リクエストや休職リクエストなどがあげられます。トランザクションは承認プロセス、転送ルールおよびステップと、そのトランザクションを承認およびレビューする一連のユーザーから構成されます。

承認フレームワークを使用すると、次のことが行えます。

- トランザクション内の個々の行アイテムを承認または却下します。
- 複数のトランザクションを1つずつ承認または却下します。
- 複数の承認者を個々のステップに含めます。
- 追加の承認者またはレビュー担当者を承認プロセス中に割り当てます。
- 承認をエスカレーションします。
- 承認を承認、却下または差し戻します。
- 承認タスクを別の承認者に割当変更します。
- ワークリストおよび電子メール通知を使用します。

承認フレームワーク プロセス フローについて

承認フレームワークは、依頼者が調達依頼や職務変更リクエストなどのトランザクションを作成したとき、そのトランザクションと関連付けられたタスクを一連の承認者が実行したときにトリガされます。PeopleSoft 承認フレームワーク プロセスは、3 つのレベルのユーザーが組織の要件を満たすトランザクション承認を作成、設定および使用できるフレームワークです。たとえば、職務変更リクエストを送信してそれに対して承認を得るプロセスには、そのリクエストを承認する承認者、承認者の承認順序および承認者への転送方法を定義する必要があります。

作成および管理のために PeopleSoft PeopleTools の高度な技術的スキルを必要とする標準の PeopleSoft ワークフローと対照的に、承認フレームワークは作成および管理がはるかに簡単なワークフローを提供します。たとえば、承認フレームワークの全てのステップは、基底にある PeopleSoft の PeopleCode ではなく PeopleSoft ページを使用して定義します。これによって、職務権限を持つユーザーは専門の開発者にワークフロー ルールの作成を依頼しなくても、これらのオンラインの PeopleSoft ページを使用してワークフローを設計および管理できます。

多くの PeopleSoft 製品が、統合承認フレームワークが組み込まれて提供されています。アプリケーションドキュメントを参照してください。

承認フレームワーク プロセスを実装するため、ワークフロー承認を構築および実装するフレームワークでは、次のタイプのユーザーが集められます。

- アプリケーション開発者

アプリケーション開発者は、定義された設定プロセスを使用して、最小限のコーディングで承認用にアプリケーションを改変します。承認フレームワークでは、他のアプリケーションが使用できる共通実装が提供されるため、これが実現します。アプリケーション開発者は、トランザクション登録ページを使用することで、開発するアプリケーションを承認フレームワークに統合します。このページでは、アプリケーションを登録し、それに含まれるコンポーネント、イベント ハンドラおよびレコードについて記述します。この登録機能に、開発者がアプリケーション用に作成した承認プロセス ID が格納されます。

注: この PeopleSoft 製品には、提供された承認フレームワーク プロセス用のトランザクションレジストリが用意されています。

エンドユーザーがアプリケーショントランザクションを作成し、承認を受けるために送信すると、そのアプリケーションからトランザクションが承認フレームワークに渡され、エンジンは適切な承認プロセス定義を探して承認フレームワークを開始します。

- 職務機能ビジネス アナリスト

職務機能ビジネス アナリストは、アプリケーションと連携させるための承認フレームワークを設計します。この設計内容には、各承認プロセス ID について、ステージ、パス、ステップ、受取人および通知の設定が含まれます。アナリストは、アプリケーションによって提供される、承認プロセス定義の基になるトランザクション定義を特定します。アナリストは、承認プロセス定義ページを使用して、承認トランザクション用のプロセスを定義します。これらのプロセスは繰り返し使用し、トランザクションがその承認プロセスに従うようにできます。

多くの企業が、トランザクションのタイプ別に異なる承認ルーティングを必要とします。このような変動に対処するため、1つのアプリケーション内の各トランザクションに対し、複数の承認プロセス定義を設定できます。承認プロセス定義には、プロセス ID に加えて有効日が設定されています。

- エンドユーザー

エンドユーザーはトランザクションを作成し、承認フロー内の承認者およびレビュー担当者と一緒に承認プロセスを使用します。このプロセスを使用して、異なるエンドユーザーがリクエストを承認または却下する、トランザクション ステータスをモニターする、承認を監査することができます。

トランザクション承認フローについて

承認プロセスを定義、検証して有効にしたら、承認を求めるためにトランザクションを送信できます。各 PeopleSoft アプリケーションには通常、トランザクション同士を区別する最上位のデータベースレコードが備わっています。これらの最上位レコードを、ヘッダーレコードといいます。トランザクションが承認のために送信されると、承認フレームワークは承認プロセス定義をヘッダーレコードのインスタンス、および行のレコード (行レベルの承認が設定されている場合) と結合し、固有な承認プロセスのインスタンスを作成します。この承認プロセス インスタンスは、承認プロセス定義で設定されたとおりに、承認者間でルーティングされます。

承認では、ヘッダーと行の2つのレベルの処理を使用します。ビジネスアナリストは、両方のレベルで承認の流れを決定する承認プロセス定義を設定します。承認プロセスは次の要素から構成されます。

- ステージ

ステージとは承認プロセスの一部で、並行する複数のパスを含めることができますが、ヘッダーまたは行レコードのレベルが同じである必要があります。ステージは1つずつ順番に実行され、前のステージが完了しないと次のステージは開始されません。ステージは、ヘッダーまたは行のどちらのレベルでもかまいません。行レベルでのステージでは、承認者が単一のトランザクションで個々の行アイテムを別々に承認できます。承認フレームワークでは、各ヘッダーと各行は、個別の要素として認識されます。行とはヘッダーの子に当たります。ヘッダー ステージは固有のヘッダーについて処理を行います。行ステージは各行について処理を実行します。ステージは1つまたは複数のパスから構成されます。

- パス

パスには一連のステップが含まれます。パスは、ステージ内で並行して実行されます。パスの入力項目の条件によって、与えられたトランザクションまたはトランザクションの行についてパスが実行されるかどうかが決まります。

- ステップ

ステップは、1人または複数の承認者またはレビュー担当者を表します。パス内のステップは順番に実行されます。ステップごとの個別の条件によって、そのステップが実行されるかどうかが決まります。また、各ステップには決められたレビュー担当者のグループがあります。レビュー担当者は、承認待

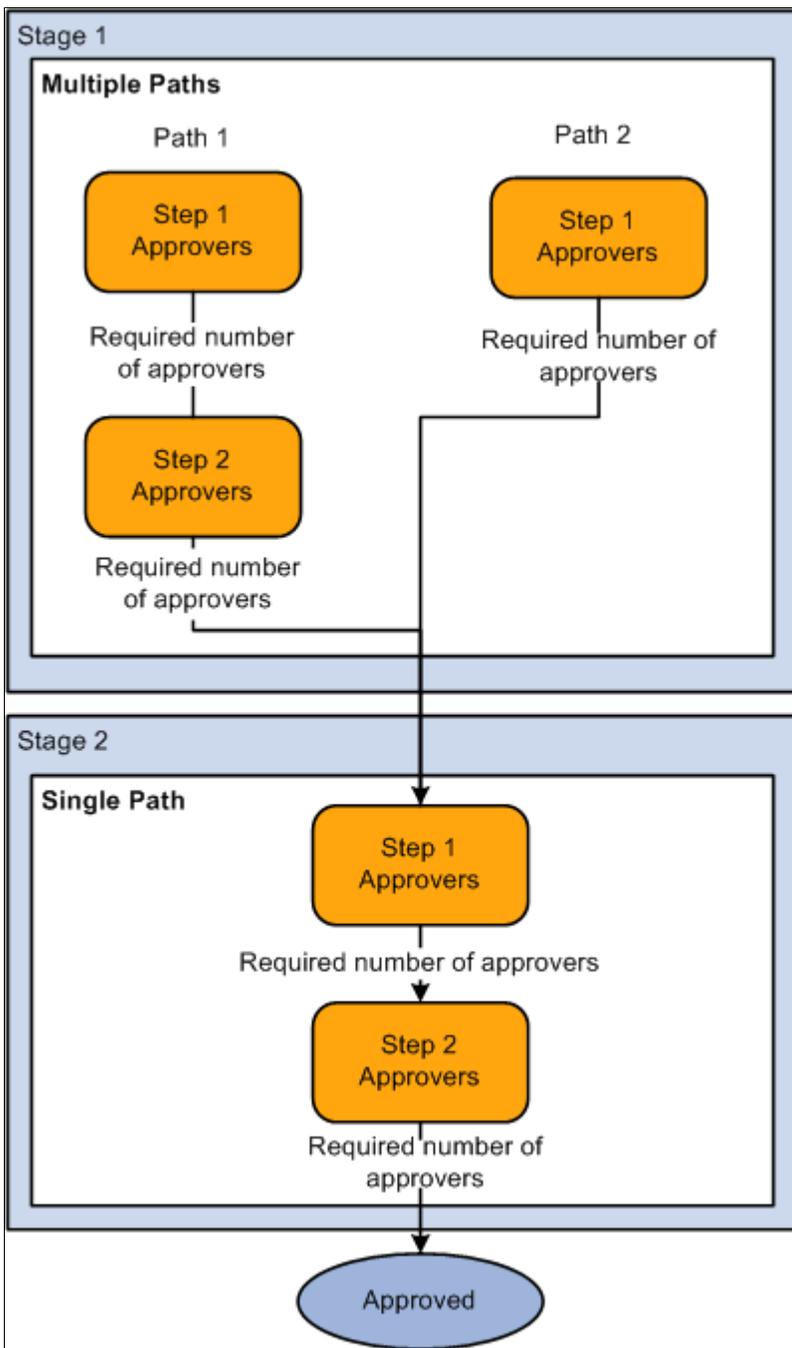
このトランザクションについて電子メールやワークリスト、またはその両方により通知を受け取ります。ただし、ワークフローはレビュー担当者の評価を待たずに先に進みます。

承認者には、電子メール、ワークリストまたはその両方を使って、承認待ちのステップについての通知が送られます。必要な承認者は1人、全員または固定数のいずれかです。承認者はロール、クエリーおよび固定リストを使用するか、またはカスタムのアプリケーション クラスを用いて指定できます。必要な数の承認者によってステップが承認されると、承認フレームワークは次のステップに進みます。ワークフローに後続のステップがない場合は、次のステージに進みます。

注: 先に進む前に複数の承認者による承認を必要とするように設定されている場合もありますが、全ての承認者は単独でステップを却下できます。ある承認者がステップを却下した瞬間に、トランザクションの承認プロセスは先に進まなくなります。トランザクションが行レベルの場合は、その他の行は引き続き先に進みます。却下がヘッダーレベルの場合は、承認プロセスが終了してトランザクション全体が却下されます。

次の図は、承認プロセスで承認を転送するために、ステージ、パスおよびステップがどのように使われるかを示します。

画像: ステージ、パスおよびステップを示す承認フレームワークの例



この例には、2段階のステージがあります。ステージ1には、2つのパスがあります。このパス内の各ステップは順次実行され、必要な数の承認者によってステップが承認されたときに、そのパス内の次のステップに進みます。パスは平行して実行されます。ステージ内の全てのパスが承認されると、ワークフローは次のステージ内の最初のステップに進みます。

ヘッダー レベルおよび行レベルの承認について

多くの PeopleSoft のトランザクションは、最上位レベルのレコード (ヘッダー) と、アプリケーションで単一のトランザクションを個別に識別するキーを持っています。トランザクションには、ヘッダーレコードに加え、より詳細な行レベルレコード (行レベル) も含まれる場合があります。

承認フレームワークでは、アプリケーションのヘッダー キーを使用して承認プロセスとアプリケーショントランザクションを互いに関連付けます。たとえば、アプリケーショントランザクションを開いた場合、承認フレームワークでは、まだリクエストを送信していない場合のみ承認のためにリクエストを送信できます。アプリケーションヘッダーのキーが承認プロセス インスタンスのキーに互いに関連付けられるために、このチェックが可能となります。

特定のトランザクションが行レベルの処理をサポートする場合、アナリストは、同じリクエスト内の異なる行項目が、別の経路をとるように承認プロセスを設定できます。

行レベルの承認を行ごとに独立させることにより、あるリクエストの一部の行を却下してその他を承認することができます。たとえば、あるリクエストが複数の行を持ち、専門知識の領域に基づいて特定の行に特殊な承認者を使用することが可能です。

注: トランザクションに複数の行アイテムがある場合、そのいずれかが却下されてその他が承認されると、トランザクション全体は承認されます。

承認フレームワーク プロセスには、ヘッダー レベルと行レベルのプロセスを混在させることができます。たとえば、部門の管理者がリクエストを全体として予算目的で管理し、商品承認者は自分の専門分野の行項目のみを調べるといったような場合です。最終承認リクエストには、リクエストを承認するために、両方のタイプの承認者が必要です。

リクエストが承認されると、承認フレームワークはアプリケーションに通知し、これによってソース終了アクションが実行されます。

- 終了アクション

トランザクションを承認すると、別のトランザクションが作成されたり、別のビジネス プロセスがトリガされることがよくあります。承認フレームワークは、イベント通知のコールバック機能を提供することにより、このトリガをサポートしています。たとえば、調達依頼が承認されるときに、これがソースになる (終了アクションである最終承認の後続のアクション) ことがあります。

- 行レベルとヘッダーレベルの終了アクションの違い

行レベルの承認を使用すると、調達依頼の他の行アイテムの承認を待たずに、承認されるとすぐに異なる行アイテムに対してアクションが実行できます。行アイテムが承認されるとすぐに、ソースとすることができます。

このアクションは、行レベルの承認ルートがプロセスの最後にあり、これ以上レビューが不要な場合にのみ実行することができます。この場合、アプリケーションは承認されるとすぐに個々の行を処理できます。承認フレームワークは、重要な承認に関連するイベントについてアプリケーションに通知します。

ヘッダー アクションを使用すると、トランザクション行をまとめてグループ化して処理できます。

承認フレームワーク プロセスの条件について

条件とは、評価結果が真または偽になるエンティティです。条件では、トランザクションに承認が必要であり、真と評価される承認パスおよびステップに従うかどうかを判定するため、トランザクション固有の情報が使用されます。条件に適用条件を設定するために、承認プロセス定義にはトランザクション キーがバインド値として用意されています。

次の表に示すように、条件は 3 段階のレベルで設定されます。

設定レベル	説明
プロセス定義 ID	この条件は、承認処理に使用するプロセス定義 ID を決定する際に使われます。
パス	この条件は、承認がパスに従うかどうかを決定する際に使われます。
ステップ	この条件は、ステップに対して定義されている個々の承認者に適用されます。

承認プロセスに適用できる条件には、次の 3 つのタイプがあります。

条件タイプ	説明
常に真	条件は必要なく、常に承認プロセスがトリガされます。
アプリケーション クラス	アプリケーション クラスには、ワークフロー承認タスクが真と評価されるかどうかを決定するために使用されるロジックが含まれます。
ユーザー入力	条件は、レコードとフィールドの組合せに基づきます。条件として、値または金額ベースのいずれかを使用できます。条件の評価には、論理演算子および値が使用されます。

承認機能について

機能を組み合わせることにより、さまざまなタイプの承認にルールを作成できます。このセクションでは、以下の事項について説明します。

- アドホック パスの承認
- アドホック レビュー

- 自己承認
- 依頼者へ転送
- 前のパスを省略
- 自動承認
- 代替承認者
- 差戻し
- 承認コメント

アドホック パスの承認

アドホック承認ステータス モニターが承認トランザクション用に実装されている場合、承認プロセスの間、承認者は他の承認者またはレビュー担当者を現在または後の承認プロセスのステージに追加できます。このアクションをアドホック承認と言い、他のリクエストに使用される基準のプロセス定義が、追加の発生によって影響を受けない場合の承認インスタンスにのみ適用されます。

既存の承認者に連続または並行して、アドホック承認者およびレビュー担当者を挿入できます。

- 連続する承認者の場合は、プロセス内の各承認が連番になります。

ユーザーが承認者やレビュー担当者を追加できるのは、現在の承認待ちステップの後またはそれ以降になります。

- 並行する承認の場合は、連番は関係なくなります。

ユーザーは、現在承認待ちの全てのステージまたは後続のステージにあるアドホック パス内にアドホック ステップを挿入できます。

トランザクションの送信後は、アドホック承認者を追加できます。アプリケーション開発者のコードにより要求されている場合に、承認フレームワークはプレビュー済みの承認プロセス インスタンスを起動します。

トランザクション レジストリでアドホック承認ユーザー リストが定義されていれば、そのリスト内のユーザーのみがアドホック承認者またはレビュー担当者として追加できます。

「[トランザクション登録ページ](#)」を参照してください。

アドホック レビュー

アドホックレビュー担当者は、承認者または依頼者がトランザクションのレビューを依頼したいと考えるユーザーです。プロセスで設定されていれば、アドホックレビュー担当者には通知が送信され、ワークリストの項目または電子メールでトランザクションへのリンクが送られます。アドホックレビュー担当者は、トランザクションを承認または却下することはなく、コメントを追加できます。ただし、コメント内では % 記号は有効な文字と認識されず、アプリケーションによってコメントから削除されるため、この記号を含めないでください。

自己承認

依頼者が承認者となることもできます。依頼者が自分自身のトランザクションを承認する場合、これは自己承認と呼ばれます。自己承認は、チェックボックスの設定で有効にします。有効にした場合は依頼者の承認は引き受けられ、プロセスが続行します。ただし、依頼者の承認権限を制御するうえで役立つ条件を確立できます。たとえば、依頼者に金額の上限を設定し、トランザクションがその金額を超過した場合に、その依頼者を承認者として使用不可にできます。

自己承認が有効でない場合、依頼者は手動でトランザクションを承認する必要があります。

自己承認が有効でない場合、自己承認条件が指定される必要があります。次に、依頼者が承認者として示されている場合、この条件が評価されます。条件が満たされた場合、依頼者の承認は引き受けられ、そのステップの最小承認者数が1人減ります。

依頼者が承認者の場合、そのパスにある依頼者のステップより前のステップを省略するようにパスを設定できます。

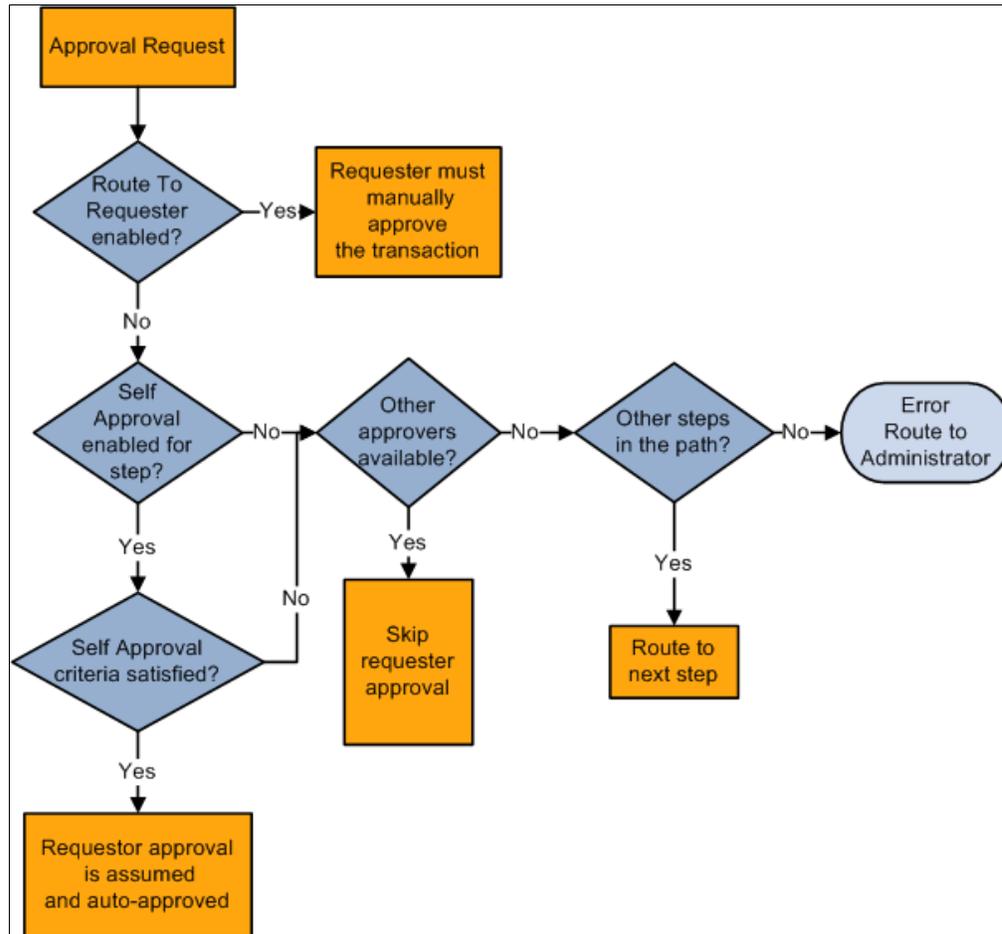
自己承認は、ステップレベルで設定されます。

依頼者へ転送

依頼者へ転送とは、承認を依頼者に送るようシステムに指示する機能です。依頼者は、承認パスに既にリストされている場合があります。この図に示すように、この操作のフローも、自己承認機能に依存します。

画像: 依頼者へ転送および自己承認機能フロー

次の図は、依頼者へ転送および自己承認機能フローを示しています。



- 依頼者へ転送が選択されている場合、自己承認が設定されているかどうかにかかわらず、依頼者は常に手動でトランザクションを承認する必要があります。

注: 自己承認条件を満たしていても、依頼者は手動でトランザクションを承認する必要があります。

- 依頼者へ転送と自己承認のどちらも選択されておらず、依頼者が唯一の承認者である場合、そのパス内の追加のステップの特定と、次のステップがあればそのステップへのトランザクションの転送が試みられます。追加のステップがない場合、システムでエラーが生成され、そのトランザクションは管理者に転送されます。
- 依頼者へ転送と自己承認のどちらも選択されておらず、そのパス内に他の承認者がいる場合、依頼者の承認は省略されます。
- 依頼者へ転送が選択されておらず、自己承認が選択されている場合、自己承認条件がチェックされます。依頼者が承認条件を満たした場合、承認は引き受けられ、自動承認されます。

依頼者が承認条件を満たさず、他の承認者が引き受け可能である場合、依頼者の承認は省略されます。自己承認条件を満たされず、同じステップに他の承認者がいない場合、そのトランザクションは、プロセス内に次のステップがあればそのステップに転送され、そのパス内に次のステップがない場合は管理者に転送されます。

前のパスを省略

依頼者以前の省略を有効にした場合、依頼者が認められた承認者となった時点のステップで承認フローが開始されます。

たとえば、副社長がサプライヤに自分で発注する場合、副社長が認められた承認者となるステップ以前の申請承認ステップは省略されます。

自動承認

自動承認を有効にすると、ヘッダーレベルまたは行レベルでそのプロセスの承認者のアクションが記憶され、承認フレームワーク ルーティングのそれ以降の出現箇所にも、同じアクションが自動的に適用されます。

たとえば、承認者が1行目を承認し、特定の承認者の承認を求める行としてその行が再度出現した場合、その行に対する承認が記憶されます。この例では、承認はプロセス内のその特定の行のみに与えられています。しかし、この承認がヘッダーレベルで行われた場合、承認はそのヘッダー以下の全ての行に自動的に付与されます。

階層システムとして、承認フレームワークは、次の状況での自動承認に対応しています。

- 後続の別のヘッダー ステージがあるヘッダー ステージ。
- 後続の行ステージがあるヘッダー ステージ。
- 後続の行ステージがあり、その行ステージにさらに後続の別のヘッダー ステージがあるヘッダー ステージ。
- 後続の別の行ステージがある行ステージ。

自動承認は、後続のヘッダー ステージがある行ステージを含むプロセスには対応していません。このしくみである理由は、行の承認者は、同じヘッダー内の全てでなく一部の行のみに承認権限を持っていることがあり、このようなときに、自動承認オプションを介してヘッダーを承認する権限が与えられるべきでないからです。

代替承認者

代替ワークフロー承認者は、第1の承認者が不在の場合に、その承認者に代わって電子メールおよびワークリスト通知を受け取るよう任命されたユーザーです。代替承認者を識別する際は、代替承認者が代理を務める期間を入力します。代替承認者がその期間に在席かどうかは、自動的に判断されます。

注: 代替ユーザーは、ユーザー プロファイルで定義されます。[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル]の順に選択します。

FindAlternate メソッドを EOAW_CORE:Utils クラス内で使用し、代替承認者を選択することもできます。

差戻し

差戻しは、承認のモニターに実装できるオプションの機能です。実装されていると、差戻しは、現在承認待ちのステップを承認待ちステータスから外し、前のステップをその承認者に戻します。差戻しは、承認者が前のステップでの承認に疑問を持ち、説明を求めていることを意味します。差戻しはパス内でのみ可能なため、パスの最初ステップを差戻すことはできません。

注: 差戻し機能では自己承認は無視されます。

「承認モニター設定ページ」を参照してください。

承認コメント

依頼者はトランザクションにコメントを追加でき、承認者はそのコメントをリクエストトランザクションではなく、承認プロセスに直接関連付けることができます。承認フレームワーク モニターには、コメントを特定のアプリケーショントランザクションにリンクした特定の承認プロセス インスタンスに関連付ける機能が用意されています。承認者は、他の承認者により追加されたコメントを参照することはできますが、前のコメントは変更できません。承認者は、トランザクションにコメントを追加する際に、% 記号を使用しないでください。この記号は有効な文字と認識されず、アプリケーションによってコメントから削除されるためです。

承認フレームワーク内のタスクについて

このセクションでは、承認フレームワークを実装して使用するためのステップについて詳しく説明します。アプリケーション開発者やビジネス アナリストおよびエンド ユーザーが、承認フレームワークを使用して行うタスクを示します。

承認フレームワークを実装して使用するには、次の手順に従います。

1. アプリケーション開発者は、トランザクション登録ページを使用することで、承認フレームワークに情報を登録します。
2. 職務機能ビジネス アナリストは、アプリケーショントランザクションの承認プロセス定義を定義します。

基本的に、アナリストがプロセス定義の基盤となる承認トランザクションレジストリ エントリを決定し、このプロセスの詳細を定義します。承認プロセス定義にはステージ、パス、ステップおよび条件の定義が含まれます。

3. 依頼者は、承認を得るためにトランザクションを送信します。

このアクションによって承認プロセスが開始されます。承認フレームワークは承認プロセス定義を読み込み、承認者のためにトランザクションをキューに入れます。

- 承認タスクが、電子メール通知またはワークリストの項目 (または両方) を使用して承認者またはレビュー担当者に送信されます。

ワークリストの項目に組み込まれた URL は、対応する承認コンポーネントをポイントします。

- 承認者またはレビュー担当者は、承認のモニターを使用してトランザクションに対するアクションを実行します。レビュー担当者が実行できるのはコメントの追加のみです。

承認プロセス中に条件またはルールのエラーまたは違反が発生すると、パス内に追加のステップがない場合、そのエラーは解決のために管理者に転送されます。

注: 静的ステップのエラー条件は、ステップに承認者がいないか、または十分な承認者がいないことです。

承認フレームワーク プロセス定義の設定

プロセス定義の設定コンポーネントの定義

ビジネスアナリストは、プロセス定義の設定ページを使用して、承認定義プロセスを定義します。プロセスは、ステージ、パスおよびステップから構成されます。承認パスに設定する承認ステップは、トランザクションに必要な承認レベルを表します。

このセクションでは、プロセス定義の設定コンポーネントの定義方法について説明します。

承認フレームワーク プロセスを定義するために使用するページ

ページ名	定義名	用途
プロセス定義の設定ページ	EOAW_PRCs_MAIN	承認プロセスのステージを定義します。
条件定義ページ	EOAW_CRITERIA	ワークフロー承認の条件を定義します。
通知ページ	EOAW_NOTIFY_DEF	通知オプションを定義します。
タイムアウト オプション ページ	EOAW_TIMEOUTDEF	グローバル タイムアウトおよびエスカレーション設定を定義します。
承認パス定義ページ	EOAW_PATH_SEC	ワークフロー承認パスを設定します。
承認ステップ定義ページ	EOAF_STEP_SEC	ワークフロー承認のステップを定義します。

プロセス定義の設定ページ

プロセス定義の設定ページ (EOAW_PRCs_MAIN) を使用して、承認プロセス ステージを定義します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [承認プロセス設定]

画像: プロセス定義の設定ページ

次の例では、プロセス定義の設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

ビジネス アナリストは、このページを使用して承認定義プロセスを設定します。プロセスは、ステージ、パスおよびステップから構成されます。承認パスに設定する承認ステップは、トランザクションに必要な承認レベルを表します。

次のような承認プロセスを構築できます。

- 組織または階層型の承認範囲内にある承認プロセス。
- 複数のトランザクション エントリが同時に処理できるようにするために、並列処理を使用するプロセス。
- 1 つの処理の完了後に次の処理を開始できるようにするために、一連の処理を要求するステージ承認を使用するプロセス。

通常の承認プロセスには、次のような要素が含まれます。

- 金額ベースの承認条件。
- 各ステップに 2 人の承認者。あるステップで両方の承認者が承認しなければ、リクエストが次のステップに進みません。

プロセス ID	トランザクション登録ページで作成したプロセス ID。 「承認トランザクションレジストリについて」を参照してください。
定義 ID	自分にとって意味のある ID コードを入力してください。この ID は、承認のモニター ページの検索フィールドとして使用されます。 <hr/> 注: 以前のリリースからアップグレードする場合は、[セットID] フィールドが [定義 ID] に使用されます。 <hr/>
有効日	この承認プロセスが有効になり、システムで利用可能になる日付を示します。この値は、特定の承認プロセス ID および定義 ID の承認プロセスに適用され、有効日の付けられたエンティティに関連する PeopleSoft の機能が含まれます。たとえば、承認プロセス ID、定義 ID および有効日が指定された複数の承認プロセスが有効の場合、最新の有効日を持つ行が使用されます。
説明	承認プロセスの説明を入力します。
コピー承認処理	このリンクをクリックして、承認プロセスをコピーします。
承認プロセス表示	このリンクをクリックしてグラフィック ツールにアクセスし、承認プロセスのそれぞれのステージ、パスおよびステップを参照できます。 <hr/> 注: この機能には、SVG ビューアが必要です。 <hr/> 注: 承認プロセスビルダー ページでグラフィック ツールを表示したときに、変更を加えようとすると、標準の承認プロセス定義ページに自動的に戻ります。 <hr/>
承認プロセスのレビュー	このリンクをクリックして、実行時にワークフロー インスタンスがどのように表示されるかを確認できます。
定義オプション	このページのこのセクションは、承認プロセスのオプションを定義するために使用します。
定義条件	クリックすると、条件定義ページにアクセスし、このプロセスでのユーザーとフィールドの条件、および金額とアプリケーション クラスの条件を定義できます。このページは、パスおよびステップに使用する各条件定義ページと同様に機能しますが、この条件は、承認の処理に使用する定義 ID がどれかを識別するために使用されます。

「[条件定義ページ](#)」を参照してください。

警告条件

クリックすると、条件定義ページにアクセスし、このプロセスでのユーザーとフィールドの条件、および金額とアプリケーション クラスの条件を定義できます。この条件はアプリケーションにより評価して、承認するトランザクションの条件を強調表示できます。たとえば、ワンタイム出荷先住所は、このリクエストのみに使用されます。

警告条件は、承認の転送方法を判断するためには使用されません。これは、メッセージ (警告) を承認プロセスの一部として表示するかどうかをアプリケーションが判断するために使用されません。

定義の通知

クリックすると、承認フレームワークの通知ページにアクセスし、トランザクションの設定コンポーネントで定義した 1 つ以上のプロセス定義通知オプションをオーバーライドする通知オプションを定義できます。

「[トランザクションの設定ページ](#)」を参照してください。

タイムアウト オプション

クリックすると、承認フレームワークのタイムアウト オプションページにアクセスし、承認定義レベルでグローバル タイムアウトおよびエスカレーション設定を設定できます。パスレベルと承認定義レベルとでタイムアウト設定が異なる場合、パスレベルの設定が優先されます。エスカレーションがカレンダーに基づくようにする場合、カレンダー ID を指定できます。固有のカレンダーに基づいてタイムアウト オプションを設定するには、「[エスカレーション カレンダー設定ページ](#)」を参照してください。

管理者ロール (管理ロール)

ワークフローで使用される PeopleSoft ロールを選択して、承認処理でエラーがあった場合に、トランザクションをそのロールに該当する全ユーザーに送信します。

注: エラーの条件は承認者がいないか、または十分な承認者がいないかのどちらかです。

「[ユーザーリスト定義ページ](#)」を参照してください。

ステータス

この承認プロセスの現在のステータスを選択します。選択肢は以下のとおりです。

[**アクティブ**]: 承認プロセスが使用できることを示します。

[**非アクティブ**]: 承認プロセスが使用できないことを示します。

特定の条件で開始されたトランザクションは、ステータスが [**非アクティブ**] の場合でもその定義を使用して続けられます。

優先順位

定義の優先順位を入力します。優先順位は 1 が最高です。呼出元のアプリケーションが承認フレームワークに明示的に定義を渡さない場合、承認フレームワークでは、使用する定義を判断するために、定義レベルの条件が使用されます。複数の定義から true の条件が返された場合、優先順位が最も高い定義が使用されます。

注: 複数の定義 ID に同じ優先順位が設定されていると、複数の定義 ID が該当した場合に処理が一致しなくなることがあります。

デフォルト プロセス定義

選択すると、入力された条件に一致する定義 ID が他にない場合は、このプロセス定義をデフォルトとして使用します。

行の完了時に次の処理を実行

オンにすると、トランザクション内の他の行が完了するのを待たずに、各行が承認プロセスの次のステップに進むことができます。この設定は、プロセスの最後に行レベルのステージを持つ承認プロセスに適用されます。

このチェック ボックスをオンにすると、トランザクションにまだ承認プロセスが完了していない一部の行があっても、トランザクションの承認済の行は次の承認ステップに進みます。各行が承認プロセスを完了したときに、ヘッダー ステータスおよび行ステータスは即時に更新されます。これにより、トランザクションの全行がワークフロー承認を完了するのを待機する必要なく、個々の行を次のステップに進めることができます。

このチェック ボックスをオフにすると、トランザクションの任意の行が次の承認ステップに進むためには、トランザクション内の全ての行が承認プロセスを完了する必要があります。たとえば、ある調達依頼の行は、調達依頼の全ての行が承認プロセスを完了するまでは、発注をソーシングできません。ヘッダー ステータスおよび行ステータスは、このトランザクションの最後の行が承認プロセスを完了するまでは、保留ステータスのままになります。最後の行に対して承認アクションが実行されると、ヘッダー ステータスと各行ステータスは更新されます。承認アクションは、却下または承認である可能性があります。たとえば、トランザクションに 2 つの行があり、ある行が承認され、もう 1 つの行は却下された場合、承認プロセスは完了し、承認された行は次のステップに進むことができます。

ユーザー自動承認

オンにすると、該当する承認プロセスで承認者が実行したアクションが記録されます。この承認プロセスが次に承認者に提示された場合、承認者が前回選択したアクションが自動的に適用されます。承認プロセスでのステップの自動適用は、[ユーザー自動承認] チェック ボックスをオフにするまで変更されません。

この設定は、承認者がこのプロセスで以前に承認した特定の行またはヘッダーにのみ適用されます。ヘッダー承認とは、全ての行における行レベルの承認を意味します。

依頼者へ転送

このチェック ボックスをオンにすると、この承認は依頼者に転送されます。このチェック ボックスがオンになっており、依頼者が承認者でもある場合、依頼者は、最小承認が既に満たされている場合を除き、手動でトランザクションを承認する必要があります。

このチェック ボックスがオフになっており、依頼者が承認者でもある場合、システムによって自己承認がアクティブかどうかをチェックされます。自己承認がアクティブでない場合、条件がチェックされます。

「[承認機能について](#)」を参照してください。

依頼者を含む

オンにすると、依頼者が作成者と同じでないときに、ユーザーは依頼者を挿入できます。

ステージ

このページのこのセクションは、ステージを定義するために使用します。並行する複数のパスを含めることができますが、ヘッダーまたは行レコードのレベルが同じである必要がある承認プロセスです。ステージは1つずつ順番に実行され、前のステージが完了しないと次のステージは開始されません。

ステージ番号

このステージの連番を示す番号を入力します。

説明

ステージの説明を入力します。

レベル

[行] または [ヘッダー] のいずれかを選択します。

ステージは1つずつ順番に実行され、前のステージが完了しないと次のステージは開始されません。ステージは、ヘッダーまたは行のどちらのレベルでもかまいません。行レベルでのステージでは、承認者が単一のトランザクションで個々の行アイテムを別々に承認できます。承認フレームワークでは、各ヘッダーと各行は、個別の要素として認識されます。行とはヘッダーの子に当たります。ヘッダー ステージは固有のヘッダーについて処理を行います。行ステージは各行について処理を実行します。ステージは1つまたは複数のパスから構成されます。

パス

このページのこのセクションは、ステージのパスを定義するために使用します。[\[詳細\]](#) リンクと [\[条件\]](#) リンクは、各パスに情報を追加するために使用します。

「[条件定義ページ](#)」、「[承認パス定義ページ](#)」を参照してください。

ステップ

このページのこのセクションは、パスのステップを定義するために使用します。[詳細] リンクと [条件] リンクは、各ステップに情報を追加するために使用します。

「[条件定義ページ](#)」、「[承認ステップ定義ページ](#)」を参照してください。

条件定義ページ

条件定義ページ (EOAW_CRITERIA) を使用して、ワークフロー承認の条件を定義します。

ナビゲーション

- プロセス定義の設定ページで、[定義条件] リンクをクリックします。
- プロセス定義の設定ページで、[警告条件] リンクをクリックします。
- プロセス定義の設定ページの [パス] セクションで、[条件] リンクをクリックします。
- プロセス定義の設定ページの [ステップ] セクションで、[条件] リンクをクリックします。

画像: 条件定義ページ

次の例では、条件定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



このページは、承認プロセスに適用するさまざまなタイプの条件を定義するために使用します。1つの論理演算子を持つ1つのフィールドと、承認を処理するためにトランザクション データを読み込むアプリケーション クラスからなる1つの定義値によって構成される定義を作成できます。

条件タイプ

次のオプションの中から1つを選択します。

- *[常に真]* を使用すると、この承認プロセスがトリガされます。条件は不要です。評価の結果が真となるパスのみを通ります。
- *[アプリケーション クラス]* では、ワークフロー承認タスクが真と評価されるかどうかを判断するために、システムで使用される特定のアプリケーション クラスを定義する必要があります。

注: ユーザー入力条件に必要な詳細レベルが含まれていない場合、条件タイプとして *[アプリケーション クラス]* を使用します。

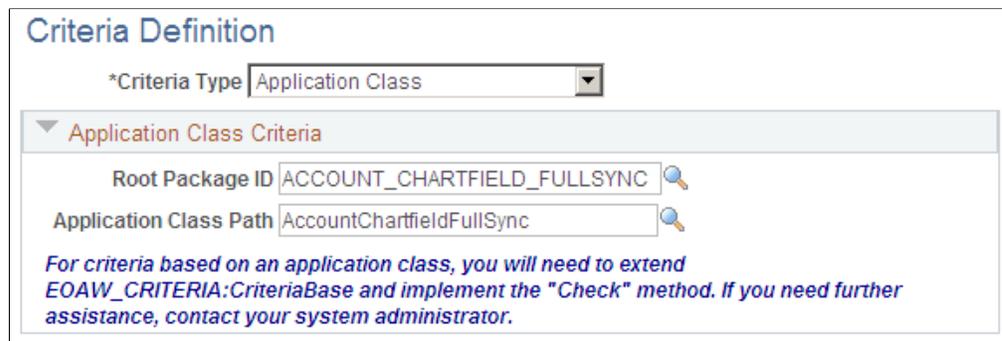
- [ユーザー入力] では、全てのレコードとフィールドの組合せを入力する必要があります。これは、値または金額のどちらかに基づき、評価結果が真となるワークフローをトリガします。

アプリケーション クラスの条件 (セクション)

このセクションでは、承認プロセスを定義するための条件として、アプリケーション パッケージを割り当てます。クラスを定義する際に、この条件は承認プロセス用に入力した他の条件と共に使用されます。

画像: [アプリケーション クラス] 条件タイプが表示されている条件定義ページ

次の例では、[アプリケーション クラス] 条件タイプを示す条件定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



- | | |
|-----------------|---|
| ルート パッケージ ID | 基本のアプリケーション パッケージを選択します。ここで選択した項目は、他のパッケージや子のアプリケーション クラスの親となります。 |
| アプリケーション クラス パス | ルート パッケージ内で特定のクラスを記述するパスを選択します。 |

アプリケーション クラス: 例

次の例は、EOAW_CRITERIA:CriteriaBase を拡張し、Check メソッドを実装する承認条件として記述されたアプリケーション クラスを示しています。この例は、EOAW_CRITERIA:EXAMPLES にもあります。

```
import EOAW_CRITERIA:DEFINITION:*;

class CriteriaClassExample extends EOAW_CRITERIA:DEFINITION:CriteriaBase
  1- method CriteriaClassExample(&rec_ As Record);
  2- method Check(&recBind As Record) Returns boolean;
  3- method CheckwithComments(&recBind As Record) Returns array of string;
private
  instance Record &rec;
  method CheckSQL(&recBind As Record) Returns boolean;
end-class;

method CriteriaClassExample
  /+ &rec_ as Record +/
  %Super = create EOAW_CRITERIA:DEFINITION:CriteriaBase(&rec_.EOAWCRTA_ID.Value);
  &rec = &rec_;
end-method;

method Check
```

```

/+ &recBind as Record +/
/+ Returns Boolean +/
/+ Extends/implements EOAW_CRITERIA:DEFINITION:CriteriaBase.Check +/
Local boolean &queryStatus;
rem %This.CheckQuery(&recBind);
Local boolean &sqlStatus = %This.CheckSQL(&recBind);

Return &sqlStatus;

end-method;

method CheckwithComments
/+ &recBind as Record +/
/+ Returns Array of String +/
/+ Extends/implements EOAW_CRITERIA:DEFINITION:CriteriaBase.CheckwithComments +/
Local array of string &aryComments = CreateArrayRept(" ", 0);

Return &aryComments;

end-method;

method CheckSQL
/+ &recBind as Record +/
/+ Returns Boolean +/
Local string &sqlDef, &SQLText;
Local integer &i;
Local Rowset &rsResults;

&SQLText = "SELECT 'X' FROM PS_INSTALLATION";
Local string &output;
REM ***** Specify a query that uses some or all of the transaction keys as input=>
;
SQLExec(&SQLText, &output);
If All(&output) Then
    Return True
Else
    Return False
End-If;
end-method;

```

この例は次のとおりです。

1. *CriteriaClassExample* はクラス名です。全てのレベルと照合されます。この入力、EOAWCRTA_ID フィールドを格納したレコードです。このメソッドには、このパラメータがある必要があります。
2. *Check* メソッドは、これを実行する主なメソッドです。条件が真または偽のどちらであるかを検証します。追加する任意の要素を呼び出すことができます。この場合、*CheckSQL* という名前のプライベートメソッドを呼び出しています。*&recBind* パラメータは、トランザクションのクロス リファレンスレコードです。このクロス リファレンスレコードは、承認ワークフロー エンジンをトランザクションに関連付けます。トランザクション キーは、クロス リファレンスレコード上のフィールドです。RECNAME という名前のフィールドもあり、これにより、トランザクションレコードを再構築できます。
3. *CheckwithComments* メソッドは、*Check* メソッドとほぼ同じです。これらの違いは、このメソッドは、真である条件の条件ページからの内容を返す点です。これは、承認プロセス定義ページの [警告条件] の領域で役立ちます。アプリケーションが単純な通知 (メッセージ) を表示する場合、*CheckwithComments* メソッドを使用して実現できます。この例として、eProcurement-調達管理のクオンタイム住所チェックがあります。

次の例に、*Self Criteria* からの呼出しの作成方法を示します。

```

If (All (&c) And
    &c.Check(%This.path.thread.rec)) Then

```

```
&self_ok = %This.utils.SELF_OK;
End-If;
```

これは、Criteria オブジェクトのコンストラクタです。

```
&SelfAppCriteria = &fact.GetCriteria(&rec.EOAWSELF_CRTA_ID.Value);
```

ユーザー入力条件 (セクション)

このセクションを使用して、承認の追加条件を定義します。

画像: [ユーザー入力] 条件タイプが表示されている条件定義ページ

次の例では、[ユーザー入力] 条件タイプを示す条件定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Criteria Definition' interface. At the top, the '*Criteria Type' is set to 'User Entered'. Below it, the checkbox 'All Criteria Needed to Satisfy' is checked. The main section is titled 'User Entered Criteria' and contains a 'Description' field with the value 'HRS_JOB_OPENING_ID'. Underneath, there is a 'Field Criteria' section with a table of criteria. The table has columns for 'Criteria Operator' and 'Value'. Two criteria are listed: 1. 'Greater Than' with a value of '10000', and 2. 'Less Than' with a value of '9900'. Below the table is a 'Monetary Criteria' section with fields for 'Amount Record', 'Amount Field', 'Currency Field', 'Operator' (set to 'Greater Than'), 'Amount' (set to '0.000'), 'Currency Code', and 'Rate Type'.

説明

警告の目的を入力します。

たとえば、ワントタイム出荷先住所を使用している場合、ワントタイム出荷先住所が、その調達依頼に添付されることを示す説明を作成します。

全ての条件必須

選択すると、ワークフローがトリガされて評価が真となるために、条件定義ページで定義した全ての条件を満たす必要があることを示します。

フィールド条件 (セクション)

このセクションを使用して、承認プロセスで使用するファイルに含まれる、データ範囲またはデータ タイプを管理またはフィルタするためのレコードおよびフィールドを選択します。このセクションに行を追加し、承認条件を構築するときは、それらの行は、承認フレームワークによって長い SQL 文に変換され、各行は OR 演算子で接続されます。たとえば、上のスクリーンショットで指定されている条件に対して生成される SQL の *where* 句は、次のようになります。

```
"where HRS_JOB_OPENING_ID > '10000' OR HRS_JOB_OPENING_ID < '9900"
```

重要 *Not Equal To* 条件演算子が行内に使用されている場合、後続の行は、OR 演算子でなく AND 演算子で接続されます。次の例は、*Not Equal To* 演算子を含むフィールド条件に対して構築された SQL を示しています。

```
"where HRS_JOB_OPENING_ID <> '10500' AND HRS_JOB_OPENING_ID > '10000' AND  
HRS_JOB_OPENING_ID < '11000"
```

承認フレームワークでは、SQL 内で指定した条件値をカッコで囲むことはサポートされていません。

レコード名	承認条件の定義に使用するレコードを選択します。 たとえば、ワнтаイム住所を示す場合、 <i>PO_ADDR_REQ_VW</i> をレコードとして特定します。
フィールド名	承認条件の定義に使用するフィールドを選択します。以下のフィールド条件グリッドで指定する値は、承認条件の決定に使用されます。
条件演算子	承認条件を構築する演算子を選択します。 以下の演算子を使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>[範囲]</i>: 指定したフィールドに、<i>[値]</i> フィールドを使用して特定される範囲内の値があります。 • <i>[=]</i>: 指定したフィールドに、<i>[値]</i> フィールドに入力された値と同じ値があります。 • <i>[>]</i>: 指定したフィールドに、<i>[値]</i> フィールドに入力された値を超える値があります。 <hr/> <p>注: <i>[>=]</i> 演算子 (通常 <i>>=</i> 記号で示される) はサポートされていません。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • <i>[空欄]</i>: 指定したフィールドに値がありません。選択した場合、<i>[値]</i> フィールドは表示されません。 • <i>[NOT BLANK]</i>: 指定したフィールドに値があります。選択した場合、<i>[値]</i> フィールドは表示されません。 • <i>[<]</i>: 指定したフィールドに、<i>[値]</i> フィールドに入力された値未満の値があります。

注: [\leq] 演算子 (通常 \leq 記号で示される) はサポートされていません。

- [$<>$]: 指定したフィールドに、[値] フィールドに入力された値を超える値またはその値未満の値があります。

値

2つの [値] フィールドを使用して、演算子条件が評価する範囲を定義します。2番目の値は、選択した条件演算子が [範囲] の場合にのみ使用されます。

金額条件 (セクション)

このセクションを使用して、調達依頼金額値または金額に基づいた承認条件を確立します。定義した値を使用して、調達依頼を承認するための転送経路が決まります。システムが承認プロセスまたはプロセス内のステップやパスの条件を評価するときは、このセクションで定義した金額が使用されます。

画像: 金額に対して [ユーザー入力] 条件タイプが表示されている条件定義ページ

次の例では、金額に対して [ユーザー入力] 条件タイプを示す条件定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Criteria Definition' interface. At the top, the '*Criteria Type' is set to 'User Entered'. Below it, the checkbox 'All Criteria Needed to Satisfy' is checked. The 'User Entered Criteria' section is expanded, showing a table with one row. The 'Monetary Criteria' section is also expanded, showing the following configuration:

*Criteria Operator	Value	Value	List Values
1	[Dropdown]	[Text]	[Text]

Below the table, the 'Monetary Criteria' section includes:

- Amount Record: ACTUALS_POOL_WV
- Amount Field: POSTED_ENCUMB_AMT
- Currency Field: ACCT_CD
- Operator: Greater Than
- Amount: 500.000
- Currency Code: USD
- Rate Type: CRRNT

このセクションのフィールドの値は、[演算子] フィールドと共に使用され、ステップを実行するかどうかが決まります。

金額レコード

ステップのトリガに必要な最小金額の比較時に使用する、元のトランザクション内の金額が格納されているレコード名を選択します。

金額フィールド

ステップのトリガに必要な最小金額と調達依頼を比較するときに使用する金額レコード内のフィールドを選択します。システムで

は、[金額] フィールドを評価するために選択する値が使用されます。

通貨フィールド

[通貨コード] フィールドで選択する通貨コードに対応する通貨フィールドを選択します。

演算子

[金額] フィールドの値の処理方法を指定する演算子を選択します。値には [範囲]、[>] および [<] があります。

金額

[金額] フィールドは、金額範囲を定義するために [演算子] フィールドと一緒に使用します。

最初のフィールドでは、トランザクションでのステップのトリガに必要な最小金額を入力します。[金額レコード] フィールドおよび [金額フィールド] フィールドで定義された条件を満たすトランザクション内の全ての行が特定されます。これらの行の金額は、指定された [金額レコード] および [金額フィールド] に基づいて合計額が算出されます。調達依頼合計額が、この最小金額を超えている場合、条件を満たしています。金額が指定されていない場合、0 が最小金額と見なされます。

注: [演算子] を [範囲] の値を指定して選択した場合、2 番目の [金額] フィールドがアクティブになります。

通貨コード

承認で使用する通貨単位を選択します。

レートタイプ

現在のレートや財務レートなど、通貨の値の換算方法を選択します。

承認パス定義ページ

承認パス定義ページ (EOAW_PATH_SEC) を使用して、ワークフロー承認パスを設定します。

ナビゲーション

プロセス定義の設定ページで、[詳細] リンクを [パス] グループ ボックス内でクリックします。

画像: 承認パス定義ページ

次の例では、承認パス定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Timeout Options						Personalize	Find	First	1 of 1	Last
	*Escalate Option	Hours	Days	Reassign To	User List					
1	Notify Participant									

このページを使用して、承認パスの処理方法を決定する追加のパラメータを設定します。エスカレーション機能を使用して、承認者が承認待ちリクエストの承認または却下に時間をかけすぎている場合の時間的な要素を定義します。

条件

クリックすると、条件定義ページにアクセスし、ユーザーとフィールドの条件、および金額とアプリケーション クラスの条件を定義できます。

承認パス

作成または更新するパス名が表示されます。パスは通常、単一の所属関係階層 (またはその他) から、リクエストの承認の順序を決定します。

ステップソース

[静的]: 承認プロセスの実行時に、個々のユーザー定義のステップを使用する場合に選択します。

[動的]: 動的パス定義にはステップが 1 つだけ含まれます。開始時には、単一のステップ定義によって必要な数のインスタンスを順番に生成できます。

ソースに *[動的]* を使用した場合、ステップ定義にユーザー リストを使用してパス内のステップが初期化されます。ステップのユーザー リストから承認者が戻されなくなるまで、単一のステップ定義が繰り返し実行されます。これらのインスタンスは全て順番にキューに入れられます。

「[ユーザーリスト定義ページ](#)」を参照してください。

承認者がいない場合管理者に通知
(承認者がいない場合管理者に通知)

選択すると、パスの承認者がいない場合に管理者へ通知が送られます。このオプションは、選択したステップソースが *[動的]* の場合にのみ使用できます。

注: これは、静的パスのデフォルトの処理です。

前の承認依頼ステップを省略

選択すると、このパスの承認者の 1 人が依頼者でもある場合、その承認者のステップより前にあるこのパスのステップを全て省略します。

権限をチェック

このオプションは、選択したステップソースが *[動的]* の場合にのみ使用できます。

オンにすると、既存の条件を省略し、承認者の許可コンポーネントおよび条件定義を使用します。

[権限をチェック] をオンにすると、動的パスの終了ポイントが強制されます。

権限のないユーザーをスキップ

このオプションは、選択したステップソースが *[動的]* の場合にのみ使用できます。

オンにすると、そのトランザクションを承認する資格がない承認者が省略され、承認者がトランザクションを承認する資格があるときに終了します。

たとえば、最初の承認者が 500 未満のトランザクションを承認でき、2 番目の承認者が 5000 未満のトランザクションを承認でき、そのトランザクションが 675 の承認を受けるものだった場合、最初の承認者は省略され、トランザクションは直接 2 番目の承認者に渡ります。2 番目の承認者は適格であるため、これ以上の承認は必要ありません。

タイムアウト オプション

エスカレーション オプション

[事前承認]: 現在の承認者を省略します。*[事前承認]* では、最後のステージの最後のステップである場合は、ステップは前進しません。

[関係者通知]: 電子メールまたはトランザクションレジストリで定義された通知方法を使用して、関係者に通知します。

[割当変更]: ユーザー ID またはユーザー リストを再割当てします。

注: [事前承認] を選択し、[ユーザーリスト] を定義した場合、通知はユーザーリスト メンバーに送信されます。

時間

エスカレーションが実行されるまでに、トランザクションを1つのワークフロー ステップに保持できる時間数を入力します。このフィールドと [日] フィールドの合計により、承認リクエストに対して承認者がアクションを実行するまでの合計時間が決まります。

日

エスカレーションが実行されるまでに、トランザクションが1つのワークフロー ステップで保持できる日数を入力します。これは、トランザクションの承認または却下など、承認者が処理を行わねばならない期限です。

割当変更先

オプションで [割当変更] を選択した場合、ユーザー名または特定のユーザーリストを入力できます。

注: ユーザー リストは、現在のユーザーと一致しないユーザー リストの最初のユーザーを割り当てます。

ユーザーリスト

ワークフローの転送先のユーザーリストを選択します。

代理者の使用

このチェック ボックスをオンにすると、エスカレーションは、現在の承認者 (代理者) の視点から転送される必要があることを示します。このチェック ボックスをオフにすると、エスカレーションは、元の承認者 (委任者) の視点から転送されます。

承認ステップ定義ページ

承認ステップ定義ページ (EOAF_STEP_SEC) を使用して、ワークフロー承認のステップを定義します。

ナビゲーション

プロセス定義の設定ページで、[詳細] リンクを [ステップ] グループ ボックス内でクリックします。

画像: 承認ステップ定義ページ

次の例では、承認ステップ定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このページを使用して、ステップ定義の追加パラメータを設定します。

条件

クリックすると、条件定義ページにアクセスし、フィールドの条件、および金額とアプリケーション クラスの条件を定義できます。

自己承認条件

クリックすると、条件定義ページにアクセスし、ユーザーにフィールド条件や金額、アプリケーション クラス条件などの自己承認条件を設定できます。

連番

承認が転送される順番が表示されます。各ステップは通常、承認者への転送を示します。ただし、ステップ内で複数の承認者またはレビュー担当者に転送することも可能です。

承認者リスト

ユーザー リストに基づいて、このステップで使用する承認者のタイプを選択します。

承認者ロール名

ユーザー リストの他に、追加の承認チェックのためのロールを追加できます。ユーザーが持つ権限を指定するロールを選択します。承認フレームワークによって、このロールのためのユーザー リストで返された承認者にフィルタが適用されます。また、承認者がアクションを実行する際に、このロールが強制的に適用されます。承認者がこのロールの適用外になっているなど、ロールの割

当てが変更されている場合、この承認者は調達依頼の承認アクションから除外されます。

全ての承認者必須

このステップでのトランザクションに、このステップで全ての承認者による承認が必要な場合に選択します。このステップでのトランザクションの承認には、全ての承認者または一部の承認者を選択できます。

一部の承認者

トランザクションの承認に全ての承認者が必要ない場合に選択します。このオプションを選択する場合は、[必要承認者数] フィールドに必要な承認者の人数を入力します。

注: 人数が満たされた後に、承認は次のステップに進みます。

必要承認者数

このステップで調達依頼を承認する承認者の最小人数を入力します。承認プロセスの開始時にこの人数が満たされない場合は、承認の [管理者ロール名] に通知されます。

自己承認

依頼者が自分の調達依頼を承認可能にする場合に選択します。依頼者がステップの承認者として表示される場合にのみ、この設定が適用されます。[自己承認条件] リンクを使用して、依頼者の承認権限を制約する条件を確立できます。関連する条件が真となった場合、自己承認は許可されます。たとえば、依頼者に金額の上限を設定し、トランザクションがその金額を超過した場合に、その依頼者を承認者として使用不可にできません。

自己承認をオンにし、条件を満たさなかった場合、承認フレームワークは、パス内のこのステップの後に、1つ以上のステップがあることを要求します。これは、アドホック ステップには適用されません。チェック ボックスの選択を解除すると、自己承認が許可されないことを示します。

注: 条件が満たされず、この後にステップがない場合、システムにより追加のステップが1つ挿入されます。その場合、この選択内容が管理者に転送されます。

依頼者へ転送

このチェック ボックスをオンにすると、この承認は依頼者に転送されます。このチェック ボックスをオンにすると、依頼者は常に手動でトランザクションを承認する必要があります。

[依頼者へ転送] は、自己承認フラグと連動して動作します。

「[承認機能について](#)」を参照してください。

社外承認者

オンにすると、外部承認者が電子メール情報を提供することを示します。この機能は、従業員ポータルに属していないユーザーに通知するために使用します。

注: 外部承認者の通知情報は、トランザクションの設定ページで設定される必要があります。

「[トランザクションの設定ページ](#)」を参照してください。

依頼者のフィルタ

このチェック ボックスは、[依頼者へ転送] が選択されていないときに表示されます。このチェック ボックスをオンにすると、依頼者のユーザー ID は、発生時に毎回結果セットからフィルタされます。

レビュー担当者リスト

このステップで使用するレビュー担当者のタイプを選択します。特定の職種のロールにユーザーをマッピングするユーザー リストを使用します。このリストとリスト内のユーザーに基づいて、自動ビジネス プロセスが実行されます。このリストでは、承認および評価ステップで使用可能なユーザー ソースが定義されています。

「[承認機能について](#)」を参照してください。

『*PeopleTools: Workflow Technology*』の製品ドキュメントを参照してください。

承認トランザクション レジストリの定義

承認トランザクション レジストリについて

承認トランザクションレジストリとは、開発者が承認フレームワークにアプリケーションを登録するときに使用するインターフェイスアプリケーションです。承認が必要なトランザクションは、承認フレームワークにリンクされる候補になります。調達依頼または発注などのアプリケーショントランザクション用の承認プロセス内に、作成したコンポーネント、イベントハンドラ、レコード、クラスをリンクするには、トランザクション登録ページを使用します。アプリケーション開発者はトランザクションを構成する主要なレコードおよびコンポーネントを登録し、それから職務機能ビジネスアナリストが承認プロセス定義の基準とする承認トランザクションを選択します。

注: 製品に搭載されている承認には、承認トランザクションレジストリが既にロードされています。通常は追加設定は不要です。

前提条件

トランザクションレジストリを定義する前に、次のことを実行する必要があります。

1. 承認フレームワークに標準搭載の承認済イベントハンドラクラスを拡張するトランザクションハンドラアプリケーションクラスを作成します。
2. 必要に応じて、トランザクションデータソースを作成します。
3. 条件ソースとして機能するトランザクションテーブルのビューを作成します。

トランザクション レジストリの設定

トランザクション登録コンポーネントを使用して、承認トランザクションを登録します。トランザクション定義は、承認フレームワークに対してトランザクションの設定を記述するメタデータです。

トランザクション レジストリを設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
トランザクション登録ページ	EOAW_TXN	承認トランザクションを登録します。

トランザクション登録ページ

トランザクション登録ページ (EOAW_TXN) を使用して、承認トランザクションを登録します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [トランザクション レジストリ]

画像: トランザクション登録ページ

次の例では、トランザクション登録ページ (1/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Register Transactions

Process ID

*Description

Owner ID

*Cross Reference Table

Worklist Prefix

▼ Notification Options

Enable Notifications Email
 Worklist
 Push

*Notification Strategy

Use Email Approvals:

Form Generator Package Root

Form Generator Class Path

▼ Internal URL Definition

Internal URL Base

Internal Portal Name

Internal Node Name

画像: トランザクション登録ページ (2/3)

次の例では、トランザクション登録ページ (2/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

External URL Definitions

External URL Base

External Portal Name

External Node Name

Default Approval Component

*Menu Name

*Approval Component

Approval Event Handler Class

Root Package ID

Class Path

画像: トランザクション登録ページ (3/3)

次の例では、トランザクション登録ページ (3/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Approval Status Monitor

Adhoc Package Adhoc Class

Thread Package Thread Class

Transaction Approval Levels

*Level	*Record (Table) Name		
1 <input type="text" value="Header"/>	<input type="text" value="TL_APP_PAY_HDR"/>	+	-
2 <input type="text" value="Line"/>	<input type="text" value="TL_APP_PAY_LINE"/>	+	-

Level Record Key Field Label IDs

	Record (Table) Name	Field Name	*Field Label ID
1	TL_APP_PAY_HDR	EMPLID	<input type="text" value="EMPLID"/>
2	TL_APP_PAY_HDR	EMPL_RCD	<input type="text" value="EMPL_RCD#"/>
3	TL_APP_PAY_HDR	EOAWDEFN_ID	<input type="text" value="PTAFDEFN_ID"/>
4	TL_APP_PAY_HDR	TRANSACTIONID	<input type="text" value="TRANSACTIONID"/>
5	TL_APP_PAY_LINE	DUR	<input type="text" value="DUR"/>
6	TL_APP_PAY_LINE	EMPLID	<input type="text" value="EMPLID"/>
7	TL_APP_PAY_LINE	EMPL_RCD	<input type="text" value="EMPL_RCD#"/>
8	TL_APP_PAY_LINE	EOAWDEFN_ID	<input type="text" value="PTAFDEFN_ID"/>
9	TL_APP_PAY_LINE	SEQ_NBR	<input type="text" value="SEQ_NBR"/>
10	TL_APP_PAY_LINE	TRANSACTIONID	<input type="text" value="TRANSACTIONID"/>

Expand/Collapse All

アプリケーション開発者は、eProcurement-調達管理や提示条件などの PeopleSoft アプリケーションの承認フレームワークを使用した登録にこのページを使用します。このページを使用して、システムが承認用に定義されたアプリケーション部分とどのように機能するかを定義できます。トランザクション定義は、承認フレームワークに対してトランザクションの構成を記述するメタデータです。既存のトランザクションを拡張する、またはトランザクションに変更を加える目的で、トランザクションを追加する場合があります。

このページは、次の要素を定義するために使用します。

- ワークリスト承認。
- 承認イベント ハンドラ クラス。
- トランザクション承認レベル。
- 電子メール通知。
- アドホック承認者クラス論理。

プロセス ID

トランザクションに対し、この承認フレームワーク プロセスを追跡するためにシステムで使用される名前を入力します。承認プロセスの名称を入力することもできます。

オブジェクト オーナー ID

このオブジェクトが属する PeopleSoft アプリケーションを選択します。

クロス リファレンス テーブル

アプリケーション固有のトランザクション レコードの管理と、承認プロセスの実行インスタンスとの関連付けに使用するテーブルを選択します。リクエストによって承認プロセスが開始されるたびに、アプリケーションのヘッダーおよび行レベルのレコードを用いてプロセスが追跡されます。承認プロセス インスタンスをトランザクション インスタンスに関連付けるために、クロス リファレンス テーブルにコレスポネンスが格納されます。

アプリケーション トランザクション レコードについてこのクロス リファレンス情報を使用すると、承認待ちの承認フレームワーク プロセスを確定して、アプリケーションに対してどのトランザクションを承認または却下するのか定義するときに便利です。

アプリケーション開発者は、アプリケーション キーを含むレコードを作成し、承認フレームワークが提供する EOAW_XREF_SBR サブレコードを含める必要があります。また、開発者は基準となるテーブルも構築する必要があります。

ワークリスト プレフィックス

特定のアプリケーションのワークリストを識別するためのプレフィックスを入力します。承認フレームワークを使用する全てのアプリケーションは、同じビジネス プロセスおよびアクティビティを共有しており、これが原因で、特定のワークリスト インスタンスの識別に問題が発生する可能性があります。プレフィックスを

使用することで、ワークリストがアプリケーション別にソートされます。プレフィックスは、次の場合に使用する必要があります。

- エンタープライズ ポータルが使用され、ユーザーが複数のアプリケーションからのワークリスト アイテムを保持している場合。たとえば、同じポータル内に経費管理と HCM があるときです。
- アプリケーションがダッシュボードを作成し、そのダッシュボードが、異なるアプリケーションの承認を識別できる必要がある場合。

通知オプション

使用する通知オプションまたは複数の通知オプションの組合せが識別されます。

有効な通知方法

企業で使用する通知のタイプを決定します。選択できるオプションは以下のとおりです。

- 電子メール通知
- ワークリスト通知
- プッシュ通知

通知処理方法

すぐに電子メールを処理する (*オンライン処理*) または NEM (通知およびエスカレーション マネージャ) を介してオフラインの (*オフライン処理*) で処理できます。

電子メール承認を使用

ワークフローで電子メールによる承認を使用することを定義します。

[フォーム ジェネレータ パッケージ ルート]

このパッケージ ルートは、フォーム ジェネレータ クラスにより提供されたスレッドを読み込み、既存の電子メール共同作業定義からフォームを作成します。

フォーム ジェネレータ クラス パス

承認すべきスレッドおよび言語コードのリストを受け取る、フォーム ジェネレータ クラスを呼び出します。このクラスはランタイムクラスを戻し、これによって適切な受取人が追加されて電子メールが送られます。

内部 URL 定義

このセクションを使用して、URL ベース、ポータルおよびノードを特定するための内部 URL を定義します。内部 URL は、バッチまたはインテグレーション ブロカー処理でユーザーに電子メールを送信するために使用します。プロセスがオンラインで実行される場合、組込みのプロパティである %Portal と %Node が使用されます。

イベント	パラメータ	起こり得るアプリケーションのアクション
HEADER_APPROVED	ヘッダーレコード	<ul style="list-style-type: none"> トランザクションが調達依頼の場合、そのトランザクションをソースとします。 経費レポートの場合、従業員に払い戻します。
LINE_APPROVED	行レベルのレコード	ソース用に設定されている場合、行アイテムをソースとします。
PROCESS_TERMINATED	ヘッダーレコード	アプリケーションのイベントをログに記録し、前回の送信以降の変更を強調表示します。これは、このリクエストの前回送信時に処理に関わった承認者にとって便利です。
ALL_LINES_PROCESSED	ヘッダーレコード	<p>注: この方法は、前のステージが行レベルで、個々の行が承認されると同時に LINE_APPROVED 側の呼出しをトリガするようにアナリストがプロセスを設定している場合のみ呼び出されます。システムが行うアクションは、アプリケーション開発者が行のソース設定をどのように定義したかによって異なります。行が承認と同時にソース設定される場合、全ての行が処理されるときに何もする必要はありません。このイベントは HEADER_APPROVED とは異なります。異なる通知を送ることでプロセスが簡略されます。</p>

ルート パッケージ ID

イベントを提示する親アプリケーション クラスを選択します。これにより、イベントに基づいて実行するアクションが指定されます。

パス

ルート パッケージ内で特定のクラスを使用するパスを選択します。

『PeopleTools: PeopleCode Developer's Guide』を参照してください。

「承認フレームワークの基本クラスについて」を参照してください。

承認ステータス モニター

このセクションを使用して、アドホック承認者の処理方法を制御します。全ての承認者はアドホック承認者を追加または削除できます。

アドホック パッケージ

アドホック承認に使用するアドホックのアプリケーション クラス パッケージを選択します。

アドホック クラス

アドホックのアプリケーション クラス パスを選択します。承認者およびレビュー担当者の追加は、ここで定義するクラスにより処理されます。クラスを指定しない場合、デフォルトのクラスが使用されます。トランザクションに追加の制限がある場合、アプリケーション開発者はここで定義されるクラスを作成する必要があります。

スレッド パッケージ

ここで指定するパッケージによって、システムのステータス モニターでトランザクション詳細がどのように表示されるかを定義します。内部的に承認は連番を使用して定義されており、これにより、ユーザーにわかりやすく表示できます。

重要 トランザクションの設定ページでトランザクションが設定されたときに、加入者への通知の送信先が、デフォルトの宛先でなく代替ページをポイントする URL を使用するように設定されている場合、このフィールドは空欄のままにします。たとえば、承認者がリクエストを承認または却下するページにアクセスするための URL を通知内に生成するとき、ある承認者がデフォルトのコンポーネント ページにアクセスして所定のリクエストを承認または却下し、その他の加入者が別のページにアクセスして、リクエストに関するその他のアクションを実行するための URL を生成するようにトランザクションを設定できます。この加入者の設定は、[通知] セクションのユーザー グループに対して指定します。全ての承認加入者に対して URL が適切に作成されることを保証するには、スレッド パッケージは入力しないでください。

スレッド クラス

スレッド名称パッケージ内の特定のクラス、および表示の詳細を設定するワークリストの説明を入力します。

トランザクション承認レベル

このセクションを使用して、トランザクションの承認レベル (ヘッダー レベルまたは行レベル) とアプリケーションのサポート レベルを指定します。

レベル

[ヘッダー] または [行] を選択します。これによって、承認のためにアプリケーションで有効になるレベルが確定します。最初の行は常にヘッダー レベルになります。

レコード (テーブル) 名	このトランザクション レベルを表すデータベース テーブルを選択します。
レベルレコードのキー フィールド ラベル ID	このセクションを使用して、承認のモニター ページを表示するときに使用するラベル ID を特定します。全てのキー フィールド名は、リストされた各レコード (テーブル) 名に対して表示されます。

承認トランザクションの設定

トランザクションの設定ページを使用して、通知をトリガするアクションや通知の送信先、通知内容を決定する要素を選択および定義します。通知は承認トランザクションレジストリと共に機能するようにマッピングされており、メニューとコンポーネントおよび SQL 定義が含まれます。

承認トランザクションの設定で使用するページ

ページ名	定義名	用途
トランザクションの設定ページ	EOAW_TXN_NOTIFY	トランザクションの設定ページを使用して、承認トリガの特定の実装が使用される方法を設定します。

トランザクションの設定ページ

トランザクションの設定ページ (EOAW_TXN_NOTIFY) を使用して、承認トリガの特定の実装が使用される方法を設定します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [トランザクション設定]

画像: トランザクションの設定ページ

次の例では、トランザクションの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Notifications					
*Participant	User	Email	Worklist	Push	Template Name
1	Approvers	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	GP_ABS_LVDN_APPROVED

このページを使用して、通知をトリガするアクションや通知の送信先、通知内容を決定する要素を選択および定義します。通知は承認トランザクション レジストリと共に機能するようにマッピングされており、メニューとコンポーネントおよび SQL 定義が含まれます。通知が送信されるイベントには以下のものがあります。

- トランザクションの承認プロセスの開始
- 承認者のキューへの承認ステップの追加
- レビュー担当者のキューへのレビュー ステップの追加

- 行またはヘッダーの却下
- 行またはヘッダーの承認
- 承認プロセスの完了

通知の受信者には、依頼者、承認者およびレビュー担当者が含まれ、これらの受信者はワークリストの項目や電子メールを介して通知を受信できます。電子メールによる通知を使用する場合は、ビジネス アナリストは電子メール用テンプレートを作成する必要があります。

アドホック承認者オプション

承認ユーザー情報ビュー

承認のモニターを使用するときに、ユーザーに表示されるビューに関する詳細が提供されます。

注: このビューのデータは、承認者リンクに表示される内容を表します。

アドホック ユーザー リスト

これは、アドホック承認者となる資格のあるユーザーのリストのみを表示するときに使用するフィルタです。

ユーザー ユーティリティ

ユーザー ユーティリティとは、委任と再割当ての処理をユーザーが変更するための機能です。

ユーザー ユーティリティ パッケージ

代替ユーザーの選択に使用する親アプリケーション クラスを選択します。

ユーザー ユーティリティ パス

ルート パッケージ内で特定のクラスを使用するパスを選択します。

イベント

イベント セクションを使用して、ワークフロー通知をトリガするイベント パラメータを定義します。

レベル

イベントの通知を送信するレベルを決定するには、[ヘッダー] または [行] を選択します。これらの各イベントに通知を送信するには、トランザクションのレベルで選択してください。

イベント

通知を送信するイベントを選択します。選択したイベントがトリガされると、加入者に通知されます。

イベントの値は、次のとおりです。

[アドホック削除]: ステップがステータス モニターを介して承認プロセスから削除されるときに、通知を送信します。

[アドホック挿入]: ステップがステータス モニターを介して承認プロセスに追加されるときに、通知を送信します。

[保留 ステップ]: スレッドが保留になるときに、通知を送信します。

[ロックアウト]: アプリケーション ワークフロー エンジン (AWE) でアカウントがロックアウトされたユーザーが発生したときに、通知を送信します。

[承認者不要]: 承認者が不要ないためにスレッドを転送しないときに、通知を送信します。

[エラー時]: スレッドで転送エラーが発生したときに、通知を送信します。

[エスカレーション時]: スレッドが NEM プロセスを介してエスカレーションされるときに、通知を送信します。

[最終承認時]: スレッドが承認され、処理する後続のステップがないときに、通知を送信します。

[最終却下時]: スレッドが却下され、処理する後続のステップがないときに、通知を送信します。

[プロセス起動時]: 承認プロセスが送信されるときに、通知を送信します。

[再開時]: スレッドに対してステップが再アクティブ化されるときに、通知を送信します。現在は、この値は使用しないことをお勧めします。

[割当変更時]: スレッドの割当てが新しい承認者に変更されるときに、通知を送信します。

[ステップ完了時]: ステップに保留中のスレッドがなくなったときに、通知を送信します。

[終了時]: スレッドの終了時に、通知を送信します。

[処理完了]: 承認プロセスの完了時に、通知を送信します。現在は、この値は使用しないことをお勧めします。

[差戻し]: スレッドがあるステップからその前のステップに差戻されるときに、通知を送信します。

[リクエスト情報]: リクエスト情報アクションがアプリケーションによって呼び出されたときに、通知を送信します。

[追加リクエスト情報]: スレッドにコメントが追加されたときと、そのスレッドが保留になったときに、通知を送信します。

[承認へ転送]: スレッドが承認者に転送されるときに、通知を送信します。

[レビューへ転送]: スレッドがレビュー担当者に転送されるときに、通知を送信します。

注: [ロックアウト]、[プロセス起動時] および [処理完了] の各イベントは、ヘッダーレベルのみに用意されています。

メニュー名	通知の受信者をリンクするコンポーネントを含むメニュー名を選択します。これにより、通知を受けたユーザーのアクセス先が指定されます。値を入力しないと、受信者のアクセス先は、ワークリスト承認コンポーネントで指定したのと同じメニューとコンポーネントになります。
承認コンポーネント	通知の受信者がアクセスできるコンポーネントを選択します。
ページ名	定義したページは、電子メールの通知に含まれる URL から承認者が転送されるページになります。
メニュー アクション	これは、電子メールの通知に含まれる URL からユーザーが転送されたときに表示されるページのアクションです。
SQL オブジェクト ID (構造型クエリ言語オブジェクト ID)	電子メールの内容の取得に使用する SQL 定義 ID を選択します。SQL は、通知レベルのキー数と同じバインドの入力値を受け入れる必要があります。たとえば、ヘッダーまたは行のキーです。

通知

画像: テンプレート詳細

通知テンプレートの詳細

*Participant	Menu Name	Approval Component	Page Name	Menu Action	SQL Object Identifier	Priority
1 Approvers				U		3-Low

画像: プッシュ通知

プッシュ通知の詳細

*Participant	Message Set	Message Number	SQL Object Identifier	Exclude URL
1 Approvers				

画像: 通知頻度

通知の頻度設定

*Participant	Number of Hours	Max Notification
1 Approvers		1

[通知] セクションは、通知メッセージの通知先と構成方法を定義するために使用します。

加入者

このイベントが発生したときに通知を受け取るユーザーを定義します。

- [A - 代理]: 承認の最初の割当て先承認者を示します。
- [A - プロキシ]: 実際の承認を実行した承認者を示します。
- 管理
- 承認者
- 動的
- 外部
- [R - 代理]: 自分以外のユーザーのためにリクエストを作成したユーザーを示します。
- [R - プロキシ]: トランザクションの作成をリクエストしたユーザーを示します。
- 依頼者

	<ul style="list-style-type: none"> • レビュー担当 • ユーザーリスト
チャンネル	<p>関係者への通知方法を定義します。値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子メール • なし • ユーザー • ワークリスト • プッシュ <hr/> <p>注: ルート基本設定は、[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザープロファイル], [ワークフロー]でも設定できます。この場合は2つのオプションがあります。[ワークリスト ユーザー]または [ユーザー]、またはその両方を選択できます。</p> <hr/>
ユーザーリスト	<p>[動的] または [ユーザーリスト] のいずれかを加入者として選択します。このオプションは、次の値のいずれかを選択するとアクティブになります。</p>
テンプレート名	<p>この通知の電子メールの内容に使用する汎用テンプレートを選択します。汎用テンプレート ページを使用して、電子メールの内容を定義してください。</p> <p>「汎用テンプレート定義ページ」を参照してください。</p>
[メニュー名]、[承認コメント]、[ページ名]、[メニュー アクション] および [SQL オブジェクト ID]	<p>これら全てのフィールドに、このページの [イベント] セクションの対応するフィールドと同じ定義があります。</p>
時間数	<p>通知の間隔を決定する時間数を入力します。</p>
[メッセージ セット]、[メッセージ番号]、[SQL オブジェクト ID] および [URL を除く]	<p>通知のメッセージ セット、メッセージ番号、SQL オブジェクト ID を入力します。SQL オブジェクト ID には、このページの [イベント] セクションと同じ定義があります。</p> <hr/> <p>注: メッセージ セットとメッセージ番号は、プッシュ通知チャンネルが選択されている場合は空にできません。[URL を除く] が選択されている場合、コンポーネント承認 URL はプッシュ通知に添付されません。</p> <hr/>
時間数	<p>通知の最長待機時間を決定する時間数を入力します。承認者が処理を行わない場合、エスカレーションが管理者に送られます。</p>

最大通知 (最大通知)

通知の最大送信回数を決定する数値を入力します。承認者が処理を行わない場合、エスカレーションが管理者に送られます。

第5章

承認フレームワーク用の通知テンプレートおよびユーザーの定義

承認フレームワーク用の通知テンプレートの定義

このセクションでは、汎用のテンプレート定義の入力方法について説明します。

承認フレームワーク用の通知テンプレートの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
汎用テンプレート定義ページ	WL_TEMPLATE_GEN	汎用テンプレート定義を入力します。

汎用テンプレート定義ページ

汎用テンプレート定義ページ (WL_TEMPLATE_GEN) を使用して、汎用テンプレート定義を入力します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [ワークフロー], [通知], [汎用テンプレート]

画像: 汎用テンプレート定義ページ

次の例では、汎用テンプレート定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Generic Template Definition
Blackberry Email Responses

Template:

*Description:

Instructional Text:

Priority:

*Sender: Email ID:

Subject:

Message Text:

Below is the list of available variables for this template.
You can use template variables within your subject or message text.
The following variables can also be used:
%Date, %DateTime, %Time, %ServerTimeZone, %EmailAddress, %NotificationPriority, %NotificationToList, %NotificationCCList

Template Variables			
*Value	*Description		
<input type="text" value="%1"/>	URL (provided by AWE)	+	-
<input type="text" value="%2"/>	EMPLID	+	-
<input type="text" value="%3"/>	EMPL_RCD	+	-
<input type="text" value="%4"/>	JOB TITLE	+	-
<input type="text" value="%5"/>	DATE	+	-

汎用テンプレートを使用して、アドホック通知用に共通のフォーマットを設定します。

承認の場合は、最初のバインド変数を使用して電子メールに表示される URL が格納されます。

詳細は、『PeopleTools: Workflow Technology』の製品ドキュメントを参照してください。

注: 承認フレームワーク用に使用できない %NotificationToList および %NotificationCCList テンプレート変数

承認フレームワーク用のユーザーの定義

このセクションでは、承認フレームワーク用のユーザーの定義方法を説明します。

承認フレームワーク用のユーザーの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ユーザー プロファイル - ロール ページ	USER_ROLES	ワークフロー ロールをユーザーに添付します。
ユーザー プロファイル - ワークフロー ページ	USER_WORKFLOW	ユーザー プロファイルのワークフローを定義します。
ユーザー リスト定義ページ	EOAW_USER_LIST	ユーザー リストを定義します。

ユーザー プロファイル - ロール ページ

ユーザー プロファイル - ロール ページ (USER_ROLES) を使用して、ワークフロー ロールをユーザーに添付します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル], [ロール]

画像: ユーザー プロファイル - ロール ページ

次の例では、「ユーザー プロファイル - ロール」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Role Name	Description	Dynamic	View Definition
Account Administrator	Account Administrator	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
Account Manager	Account Manager	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
Advisor Admin	Advisor Admin	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
Advisor IT	Advisor IT Setup	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
Advisor User	Advisor User	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
CRM Dashboard Imple	CRM Dashboard Implementer	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
CRM Dashboard User	CRM Dashboard User	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
EOPP_USER	Common Portal User	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
FSI Administrator	FSI Administrator	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition
FSI Agent	FSI Agent	<input type="checkbox"/>	Route Control View Definition

このページを使用して、ワークフロー ロールをユーザーに添付します。ロールとは、事務担当や購買担当、管理者など同じタイプの作業を行うユーザーのクラスです。ロールによって、ユーザーがワークフローでどのように機能するかを記述します。

ロール ユーザー ID によって、ワークリスト アイテムをユーザーに転送する方法、およびユーザーがワークフローで担当するロールの追跡方法が決まります。

ロール名 このユーザーに割り当てるロールを選択します。ロール ユーザーとは、自動化されたビジネス プロセスに参加するユーザーのことです。

動的 このロールの定義が動的である場合に表示されます。この値は、PeopleSoft の PeopleCode に依存します。動的ユーザーは、ロールのメンバーシップをプログラムを使って取得できます。事前に定義済みのロールのルールを実行し、これらのルールに従ってユーザー プロファイルにロールを割り当てるバッチ プロセスを実行できます。この方法を動的メンバーシップと言い、プログラムによって特定のロールのロール ユーザーになるユーザーは、動的ロール ユーザーです。

一方で静的ロール ユーザーは、管理者がロールを手動でユーザー プロファイルに追加することにより、メンバーシップを取得します。

ルート管理 選択すると、ユーザのルート管理プロファイル ページにアクセスし、ワークフローのルート管理プロファイルを選択できます。

PeopleSoft ワークフロー管理を使用すると、ルート管理を定義できます。たとえば、発注された項目の仕入先ベンダーや、項目を要求しているビジネス ユニット、項目を必要とする部門に応じて、購買要求を異なる購入担当者に転送するとします。ベンダー ID やビジネス ユニットおよび部門など、それぞれの要素にルート管理を定義して、各購入担当者に値の範囲を指定できます。

注: eProcurement-調達管理承認フレームワークと一緒に使用されません。

定義の表示 選択すると、"ロール - 一般" ページにアクセスし、ロール名の定義を変更できます。また、ロール メンバーのユーザー ID を表示して、ロールに含める適切な定義を選択したか確認できます。

ユーザー プロファイル - ワークフロー ページ

ユーザー プロファイル - ワークフロー ページ (USER_WORKFLOW) を使用して、ユーザー プロファイルのワークフローを定義します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル], [ワークフロー]

画像: ユーザー プロファイル - ワークフロー ページ

次の例では、"ユーザー プロファイル - ワークフロー" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Workflow' tab of a user profile page. At the top, there are tabs for 'General', 'ID', 'Roles', 'Workflow', 'Audit', 'Links', and 'User ID Queries'. Below the tabs, the 'User ID' is 'BCLANG' and the 'Description' is 'Clang, Barbara'. The 'Workflow Attributes' section includes fields for 'Alternate User ID', 'From Date', 'To Date', and 'Supervising User ID' (set to 'CC587'). To the right, the 'Routing Preferences' section has two checked options: 'Worklist User' and 'Email User'. Below this, the 'Reassign Work' section has a checkbox for 'Reassign Work To:' followed by a search field. At the bottom, it shows 'Total Pending Worklist Entries: 0'.

このページを使用して、ワークフロー プロセスの一部となる代替ユーザーを定義します。代替ユーザーは、基本承認者および監督者が欠席中に承認を処理するために定義します。

代替ユーザー ID

このユーザー ID が一時的に使用できなくなったときに、ワークリスト アイテムを受け取るユーザーを選択します。現在のロールユーザーが不在の場合に、現在のロールユーザーの新しいワークアイテムは、指定された代替ロールユーザーに自動的に転送されます。ユーザーのワークリストにある既存のアイテムは、割当先が変更されることはありません。

注: 承認フレームワークを使用して構築されたワークフローでは、現在のロールユーザーに割当て不能な場合、サイクルが形成されるまで、または有効な代替者が見つかるまで、代替ユーザーを求めて再帰的にチェックされます。言い換えると、必要に応じて複数のレベルの経路にわたる代替ユーザー ID にワークフローが転送されます。たとえば、ユーザー A がユーザー B を自分の代替ユーザーに指定し、ユーザー B がユーザー C を自分の代替ユーザーに指定したとします。ユーザー A とユーザー B の両方が同時に不在な場合、元々ユーザー A が対象だったワークフロールーティングをユーザー C に転送します。

開始日、終了日

現在のユーザー ID が使用可能でなくなる日付範囲を入力します。これらの値を使用して、代替ユーザーにルートが転送されません。

監督者のユーザー ID

このユーザーの監督者のユーザー ID を選択します。この値は、ユーザーの監督者に情報を転送するときに使用され、PERSONAL_DATA レコードが監督者を特定するために使用されます。

注: PeopleSoft 人材管理 (PeopleSoft HCM) アプリケーションを使用している場合、このフィールドは表示されないはずですが、表示された場合、ワークフロー システム デフォルトを設定する必要があります。

ワークリスト ユーザー

選択すると、このロール ユーザーが承認ルートを受け取ることができます。ユーザーが PeopleSoft ユーザーでない場合は、チェック ボックスの選択を解除します。[ワークリスト ユーザー]、[ユーザー] またはこれら両方を選択できます。

ユーザー

このロール ユーザーを電子メールを受信可能にするときに選択します。電子メールを使用不可にするには、チェック ボックスの選択を解除します。

割当変更先ユーザー

このオプションは、承認フレームワークでは使用されません。このオプションでは、ワークリストの割当てが変更されますが、承認フレームワークの基底データは変更されません。

ユーザー リスト定義ページ

ユーザー リスト定義ページ (EOAW_USER_LIST) を使用して、ユーザー リストを定義します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [ユーザー リスト設定]

画像: ユーザー リスト定義ページ

次の例では、ユーザー リスト定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このページを使用して、承認プロセスでステップと共に使用するユーザーのソースを定義します。PeopleSoft 製品では、組織内のロールに対応するデフォルトのユーザー リストロールのセットが提供されます。

ユーザー リストのソース タイプを選択するときは、対応する値も選択する必要があります。新しいユーザー リストを追加するか、現在のリストを変更できます。

注: 1 つのユーザー リストに対して 1 つのユーザー リスト ソースしか選択できません。

注: SQL 定義、クエリーおよびアプリケーション クラスのユーザー リストソースは動的で、ユーザーの識別に入力値を使用できます。

ロール

このユーザー リストのソースにロールを使用するときに選択します。ロールとは、購買担当者や管理者など同じタイプの作業を行うユーザーのリストです。各ロールにはパラメータのセットがあり、これによって組織内およびワークフロー プロセスでのロールの制限を決定します。

SQL 定義 (構造化されたクエリー言語定義)	このユーザー リストのソースに SQL 定義を使用するときを選択します。この SQL では、OPRID フィールドを返す必要があります。
クエリー	このユーザー リストのソースにクエリーを使用するときを選択します。ソースをクエリーとして定義すると、転送をトリガするページのフィールド値に基づいて、ワーク アイテムを受け取る担当者が決まります。
アプリケーション クラス	このユーザー リストのソースにアプリケーション クラスを使用するときを選択します。 アプリケーション クラスを選択すると、トランザクションの作成者がシステムから渡されて、その作成者の承認者が決められます。後続の承認ステップでは、前のステップから承認者が渡されます。
ユーザーを入力に含む	選択すると、トランザクションの作成者がそれぞれのパスの第 1 ステップとして使用されます。各パスの後続の承認ステップでは、前のステップからの承認者が使用されます。 このフィールドは、[ユーザー リスト ソース] が [ユーザー リスト] の場合は使用できません。
トランザクション キーを入力に含む	選択すると、承認ルートがトランザクション キーを基準とします。トランザクション キーは、データベース テーブルのキー フィールドです。システムの処理は、ユーザー リストが使用される承認レベルによって異なります。承認がヘッダーレベルの場合、ヘッダーレコードからのトランザクションレコード キーが使用されます。 このフィールドは、[ユーザー リスト ソース] が [ユーザー リスト] の場合は使用できません。
ユーザー リスト属性	このセクションは、[ユーザー リスト ソース] が [アプリケーション クラス] の場合にのみ使用できます。 <hr/> 注: [ユーザー リスト属性] はユーザー リスト アプリケーション クラスに使用され、[ルート管理] はロール ベースのユーザー リストに使用されます。 <hr/>

ルート属性

[ユーザー リスト ソース] が [ロール] の場合、ルート属性セクションが表示されます。このオプションを使用すると、[ルート管理] フィルタが有効になります。

ルート管理プロファイル 使用するルート管理プロファイルを選択します。

レコード名	ルート管理に使用する値が格納されている、ユーザーが渡すレコードを示します。 <hr/> 注: ルート管理がフィールドと照合してチェックされるときに、承認フレームワークはフィールドが含まれているレコードを特定する必要があります。 <hr/>
ルート管理タイプ	ルート管理属性を示します。 <hr/> 注: ルート管理属性は、ルート管理リンク内のユーザー プロファイル ロール ページで定義されます。 <hr/>
フィールド名	属性にマッピングされたレコード上のフィールドを示します。

動的承認の定義

動的パスについて

動的承認を使用するには、パス内に各ステップを個別に作成せずに、承認者のリストを定義する承認ステップを1つ作成します。

ワークフロー プロセスは、ステージ、パスおよびステップによって定義します。システムは、ステージを照会してワークフローのトリガがヘッダー レベルまたは行レベルで認識されるかを判断します。各ステージ内には、1つのパスの最小要件があります。パスには、条件が満たされた場合にワークフロートリガおよび実行するアクションを定義するステップが含まれます。動的パスがなければ、管理者は考えられる全ての承認者にステップを作成します。動的ワークフローがあれば、管理者は1つのパスを作成し、システムは承認階層のユーザー リストを使用します。

注: 自己承認を使用していて、トランザクションの作成者が許可された承認者のリストにある場合、そのロールは1つの承認として数えられます。

関連リンク

[ユーザー リスト定義ページ](#)

動的承認の権限について

PeopleSoft アプリケーションでは、静的または動的のいずれかになる承認フレームワーク パスを定義できます。静的パスでは、ステップごとに全ての承認を定義します。動的承認を使用すると、1つのステップを作成でき、そのステップでは系統的に潜在的な全ての承認者を識別し、その承認者に承認を完了するための十分な権限があるかどうかを検索すると同時に、ユーザーがプロセス内の必要な承認者を全て参照できるように、視覚的なパスを作成します。監督者のロールでトランザクションを承認または却下でき、全ての条件が満たされたときに承認パスを停止する動的パスを設定できます。管理者はユーザー リストを作成し、システムはこのリストを使用して適切な監督権限のあるトランザクション承認者を選択し、権限をチェックします。動的パスは、前の承認者を考慮の対象とします。

動的承認の権限を設定するには、管理者は以下を実行する必要があります。

- ユーザー リストの定義
- 承認者権限の作成
- 動的承認パスの定義

動的パスの承認権限を作成するうえでの2つの重要なポイントは、次のことを行う機能です。

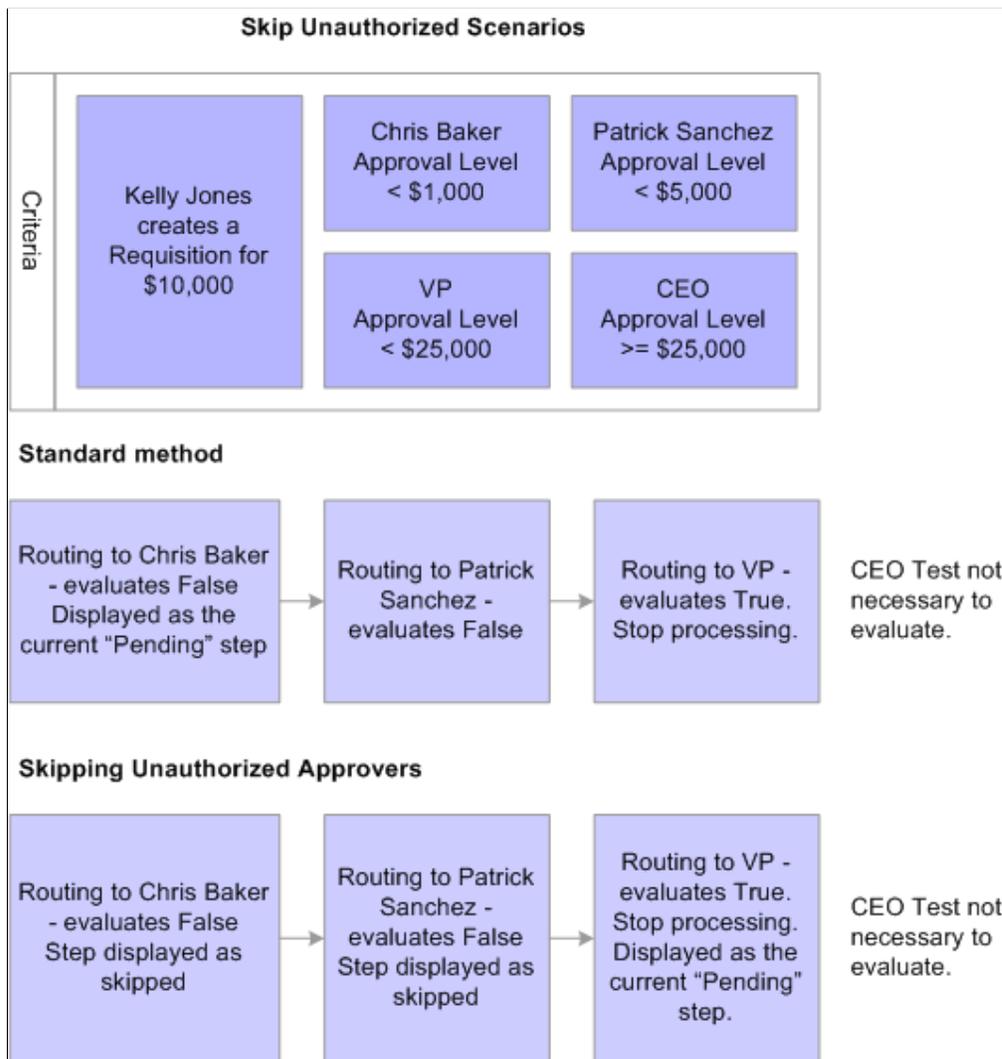
- 権限のチェック
- 権限のないユーザーをスキップ

システムはユーザーリストと承認権限を照会し、承認を完了するのに必要なユーザーを決定します。[権限のないユーザーをスキップ]を選択した場合、必須でないユーザーは承認待ちのステップとしてではなく、スキップされたステップとして表示されます。

この図は、標準的な方法のワークフロー転送設定、および権限のないユーザーをスキップするワークフロー転送の例を示します。

画像: スキップする場合の承認シナリオの例

この図は、標準的な方法のワークフロー転送設定、および権限のないユーザーをスキップするワークフロー転送の例を示します。



この例では、ワークフロー承認パスの条件は Chris Baker が 1,000.00 USD 未満、Patrick Sanchez が 5,000.00 USD 未満、副社長が 25,000.00 USD 未満、CEO が 25,000.00 USD 以上の調達依頼に対してそれぞれ承認権限を持っています。

Kelly Jones が、10,000.00 USD の調達依頼を作成します。

権限のないユーザーをスキップするよう設定されていないならば、Chris Baker、Patrick Sanchez および副社長が承認パスで承認待ちステップとして表示されます。

権限のないユーザーをスキップするよう設定されていなければ、承認パスには副社長のみが承認者として表示され、Chris Baker と Patrick Sanchez はスキップ対象として表示されます。

関連リンク

[ユーザーリスト定義ページ](#)

承認権限について

動的ステップに関連し、ロールまたはユーザー別に承認権限を特定できます。これを実行するため、承認フレームワークは適切な監督権限のある承認者をユーザーリストから選択し、その承認者が承認条件を満たしていることを検証します。

各トランザクションに対し、承認権限を確立します。権限は、ロールまたはユーザー ID 別での承認に対応します。

権限は、プロセス定義の設定ページで定義される定義 ID 全体にわたって設定できます。

システムは、トランザクションを承認するための権限が個々の承認者にあることを確認するため、権限ごとに特定のユーザー ID をチェックします。見つかった場合、承認条件をチェックします。条件を満たした場合、そのユーザーには権限があります。

特定のユーザー ID の権限が見つからなかった場合、システムは承認階層を使用してロールベースの権限を探します。

承認階層に対し、システムはまず定義 ID 別に権限を探します。権限が見つからなかった場合、システムは定義 ID がない行の権限を探します。どの権限承認条件も満たさなかった場合、システムプロセスは権限がないと見なされます。

動的権限はヘッダーまたは行レベルのいずれかに対して確立できますが、両方に対して確立することはできません。

ワークフローが変更オーダーまたは調達依頼に対して開始されるときに、システムは承認権限データをユーザーリストと比較し、承認プロセスを検証します。承認を検証するためにシステムが実行する処理は、次のとおりです。

1. ユーザーリストをチェックし、返された最初のユーザーリストに最初の承認者を割り当てます。
2. ユーザー ID に対して確立されたロールを確認します。

3. そのユーザー ID に対して設定された承認限度額を特定します。
4. この金額が人材募集を満たしており、承認者リストが完了している場合、調達依頼状況を最初の承認者に転送します。
5. 全ての条件を満たすまで、追加の承認者検索を続行します。
6. 承認者条件が満たされない場合、承認を管理者に転送します。

関連リンク

[ユーザーリスト定義ページ](#)

動的承認の定義

このトピックでは、動的承認の定義方法を説明します。

動的承認の定義で使用するページ

ページ名	定義名	用途
承認権限ページ	EOAW_AUTH	動的パスのロールと承認者に権限を付与します。
条件定義	EOAW_CRITERIA	承認権限ページで、[条件] リンクをクリックします。 ワークフロー承認の条件を定義します。
プロセス定義の設定ページ	EOAW_PRCES_MAIN	承認プロセスのステージを定義します。
承認パス定義ページ	EOAW_PATH_SEC	[パス詳細] ボタンまたは [詳細] リンクをプロセス定義の設定ページでクリックします。 ワークフロー承認パスを設定します。
ユーザーリスト定義ページ	EOAW_USER_LIST	ワークフロー承認のためのユーザーリストを設定します。
ユーザー プロファイル - 一般	USER_GENERAL	[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル], [一般] ユーザー ID を設定してロールを割り当てます。

ユーザー リスト定義ページ

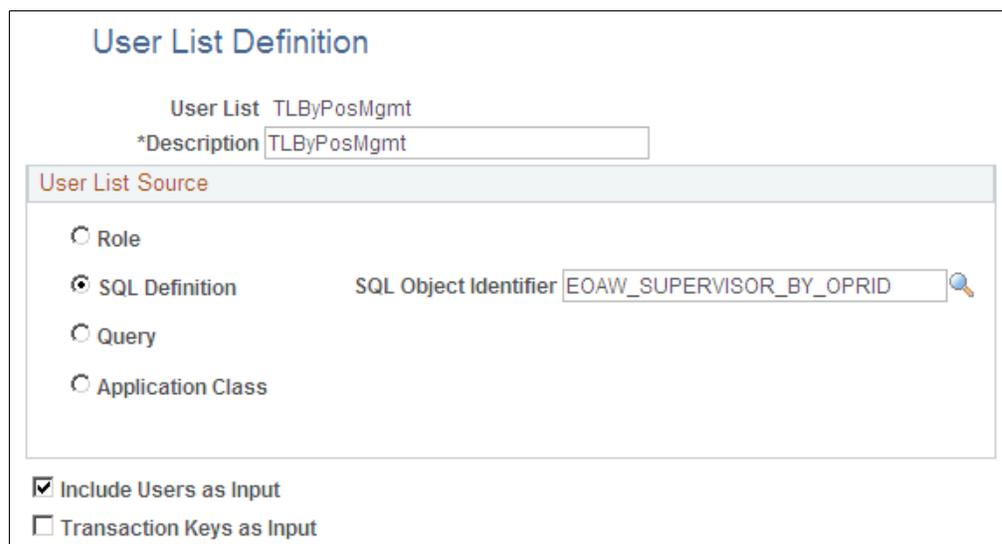
ユーザー リスト定義ページ (EOAW_USER_LIST) を使用して、ワークフロー承認のためのユーザー リストを設定します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [ユーザー リスト設定]

画像: ユーザー リスト定義ページ

次の例では、ユーザー リスト定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



User List Definition

User List TLByPosMgmt
 *Description TLByPosMgmt

User List Source

Role
 SQL Definition SQL Object Identifier EOAW_SUPERVISOR_BY_OPRID
 Query
 Application Class

Include Users as Input
 Transaction Keys as Input

関連リンク

[ユーザー リスト定義ページ](#)

承認権限ページ

承認権限ページ (EOAW_AUTH) を使用して、動的パスのためにロールおよび承認者に権限を付与します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [承認者の許可]

画像: 承認権限ページ

次の例では、承認権限ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Approval Authorization' page for process ID 'FormApproval'. It includes a search bar with 'Find | View All' and navigation controls. The 'Effective Date' is set to '06/10/2013' and the 'Status as of Effective Date' is 'Active'. Below this is a table titled 'Criteria Definition' with columns: Definition ID, Role Name, User ID, Criteria, and Self-Approval Criteria. The table lists four criteria, all with 'FormApproval' as the Definition ID and 'Self-Approval Criteria' as the Self-Approval Criteria.

Definition ID	Role Name	User ID	Criteria	Self-Approval Criteria
FormApproval	EOMW_APPROVER		Criteria	Self-Approval Criteria
FormApproval	FORM_ADMIN		Criteria	Self-Approval Criteria
FormApproval	FORM_TO_CI_DEVEL		Criteria	Self-Approval Criteria
FormApproval	Facilities Administrator		Criteria	Self-Approval Criteria

定義 ID を指定しない場合、権限は汎用になります。特定の定義 ID について承認権限を作成するには、各定義 ID に行を追加する必要があります。

ロール名またはユーザー ID のいずれかを選択します。各ロールまたはユーザーについて、提供されたリンクを使用して条件および自己承認条件を設定できます。

注: 承認権限ページで自己承認を有効にすると、静的パスのステップで自己承認が置き換えられます。

承認パス定義ページ

承認パス定義ページ (EOAW_PATH_SEC) を使用して、ワークフロー承認パスを設定します。

ナビゲーション

[パス詳細] ボタンまたは [詳細] リンクをプロセス定義の設定ページでクリックします。

画像: 承認パス定義ページ

次の例では、承認パス定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Escalate Option	Hours	Days	Reassign To	User List	Use Proxy
1 Notify Participant					<input type="checkbox"/>

ステップソース

動的承認パスに対し、[動的] を選択します。

承認者がいない場合管理者に通知 (承認者がいない場合管理者に通知)

選択すると、パスの承認者がいない場合に管理者へ通知が送られます。このオプションは、ステップソースが [動的] の場合にのみ使用できます。

前の承認依頼ステップを省略

選択すると、パスの承認者の 1 人が依頼者でもある場合、その承認者のステップより前にあるこのパスのステップを全て省略します。

権限をチェック

選択すると、承認の権限チェックが有効になります。承認者の許可コンポーネントで設定したデータが使用されます。

権限のないユーザーをスキップ

選択すると、承認の条件を一部満たさないとシステムが判断した場合に、承認プロセスでユーザーリストに含まれるユーザーを省略できます。このフィールドは、[権限をチェック] フィールドと連動します。

注: パス内で承認プロセスをアクティブにするトリガとなる条件を作成する際は、差が発生しないように必ず最終承認者を [>] として設定してください。

電子メール コラボレーションの使用

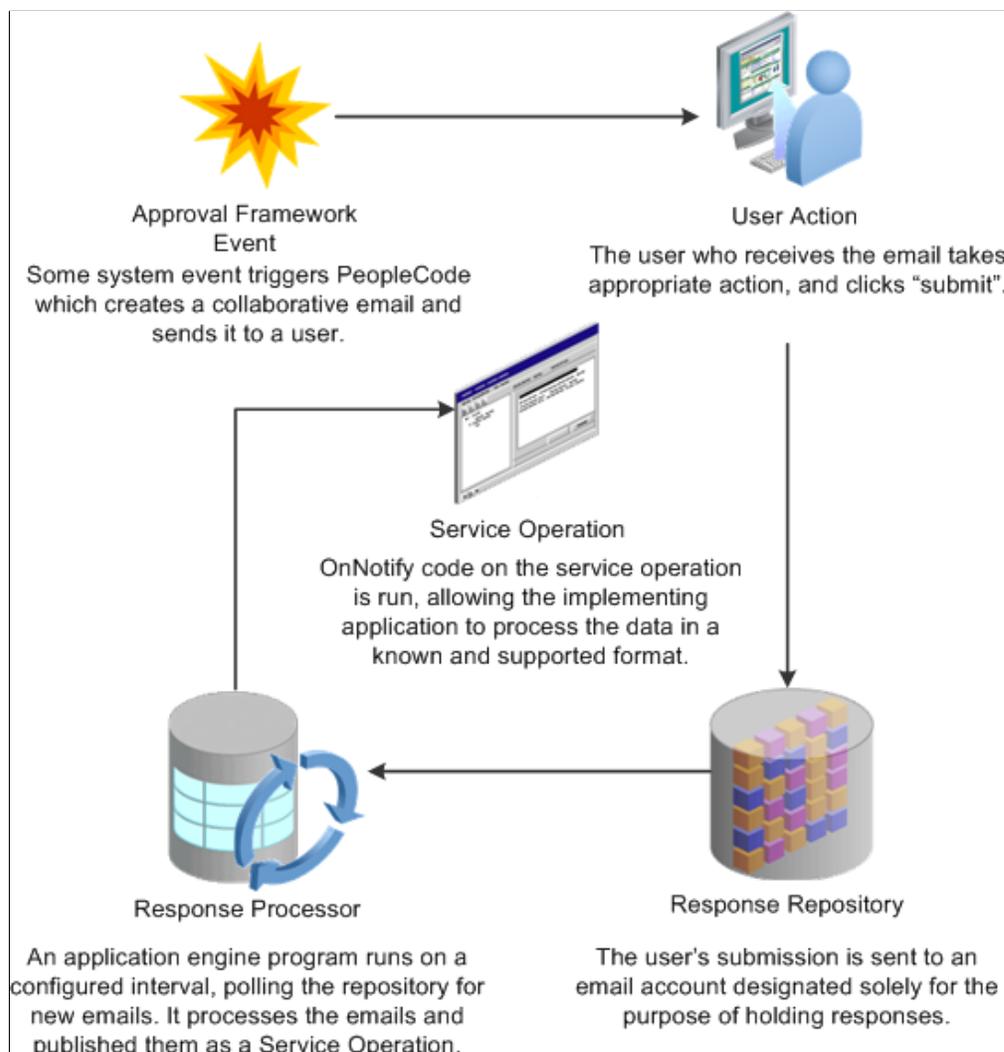
電子メール コラボレーションについて

電子メール コラボレーション フレームワーク (Email Collaboration Framework: EMC) では、アプリケーションはインタラクティブ コンテンツを持つ電子メールを送受信および処理できます。HTML フォームをユーザーに送信でき、ユーザーはタスクを実行するために自分のシステムにログインする必要がありません。

次の図に、電子メール コラボレーション フローを示します。

画像: 電子メール コラボレーション フロー

電子メール コラボレーション フローを示す図



1. システム イベントによって、コラボレーティブ電子メールを作成し、ユーザーに送信する PeopleSoft PeopleCode がトリガされます。
2. この電子メールを受信するユーザーは、適切なアクションを実行して [送信] をクリックします。
3. ユーザーの送信は、回答を保持するために指定された電子メール アカウントに送信されます。
4. アプリケーション エンジン プログラムが設定された間隔で実行され、新しい電子メールがあるかどうかリポジトリに対してポーリングされます。

これにより、電子メールが処理され、それらの電子メールはサービス オペレーションにパブリッシュされます。

5. サービス オペレーションが実行され、データを既知のサポート対象の形式で処理するためのアプリケーションを実装できるようになります。

電子メール コラボレーション サポート マトリックス

次の表に、電子メール コラボレーション用にサポートされる一般的な電子メール クライアントをあげます。

クライアント	インラインリンクのサポート	インライン フォームのサポート	添付ファイルのサポート	拡張添付ファイルのサポート
ラップトップおよびデスクトップ用電子メール クライアント —				
添付ファイルのサポートまたは拡張添付ファイルのサポートの可、不可は、電子メール内に添付されたときに、その項目が開けて適切に保存できるかどうかを表します。				
Outlook 2007	可	不可	可	可
注: Outlook 2007 では、HTML のレンダリングに内部ツールが使用されます。アクション可能なフィールド (ボタン、チェック ボックスなど) はテキストとしてレンダリングされます。				

クライアント	インラインリンクのサポート	インラインフォームのサポート	添付ファイルのサポート	拡張添付ファイルのサポート
Outlook 2010 Outlook 2010では、HTMLのレンダリングに内部ツールが使用されます。アクション可能なフィールド(ボタン、チェックボックスなど)はテキストとしてレンダリングされます。	可	不可	可	可
Outlook 2013	可	不可	可	可
Thunderbird	可	可	可	可
<p>一般的な電子メール Web クライアント —</p> <p>HTML アクションは、Web クライアントによって制御されます。これらのクライアントによって、HTML クライアント内のフォーム送信コールが変更される可能性があります。ここで "可 -" は、この送信によって、インストールされているローカル電子メールクライアントの呼出が行われることを表します。これに対し、"可" の場合は回答電子メールが Web クライアントによって直接生成されます。添付ファイルの場合、添付メールを開く前に、ダウンロードが必要になることがあります。</p>				
Outlook.com (旧名 Hotmail)	可 -	不可	可	可
Gmail <hr/> 注: Hotmail と類似しています。 <hr/>	可	不可	可	可
Yahoo <hr/> 注: Hotmail と類似しています。 <hr/>	可	不可	可	可
<p>Web ブラウザ -</p> <p>ここに列挙された Web ブラウザの用途は、これらのブラウザ内で添付ファイルを開くことだけです。サポートの可、不可は、コンテンツがこれらのブラウザ内で適切に表示されるかどうかと、送信コールが動作するかどうかを表します。</p>				
Internet Explorer (IE) 9	該当なし	該当なし	不可	可
Internet Explorer (IE) 10	該当なし	該当なし	不可	可

クライアント	インラインリンクのサポート	インライン フォームのサポート	添付ファイルのサポート	拡張添付ファイルのサポート
Internet Explorer (IE) 911	該当なし	該当なし	不可	可
FireFox	該当なし	該当なし	可	可
Chrome	該当なし	該当なし	可	不可
モバイル デバイスでの電子メール クライアント				
iOS	可	可	不可	不可
Android	不可	不可	不可	不可
Windows Mobile	可	不可	不可	可

電子メール コラボレーションの設定

電子メール コラボレーションを設定するには、次を実行する必要があります。

- PSFT_EMG_GETMAIL ノードを設定します。
- インテグレーション ブローカーのメッセージを作成します。
- インテグレーション ブローカーのサービス オペレーションを作成します。
- EMC フォーム、EMC レイアウトおよびフィールドのマッピングを定義します
- 承認プロセス通知オプションを更新します。
- アプリケーション エンジン プログラム EOAWEMC のスケジュールを設定します。

SFT_EMG_GETMAIL ノードの設定

電子メール コラボレーションでは、回答リポジトリから新しい電子メールを取得するために、インテグレーション ブローカー フレームワークが使用されます。これらの電子メールの取得には、PSFT_EMG_GETMAIL ノードが使用されます。インテグレーション ブローカーが設定され、パブリック シュ/サブスクリプションが有効である必要があります。

『PeopleTools: Integration Broker Administration』の「Administering Messaging Servers for Asynchronous Messaging」を参照してください。

PSFT_EMG_GETMAIL ノードの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ノード定義	IB_NODE	[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [ノード] PSFT_EMG_GETMAIL ノードを設定します。
ノードのプロパティ	IB_NODEPROP	ノード定義ページで、[プロパティ] リンクをクリックします。 電子メール コラボレーションが機能するために必要なノード プロパティを変更します。

SFT_EMG_GETMAIL ノードの設定

PSFT_EMG_GETMAIL ノードを設定するには、次の手順を実行します。

1. ノード定義ページ ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [ノード]) にアクセスし、*PSFT_EMG_GETMAIL* ノードをアクティブにします。
2. [プロパティ] リンクをクリックし、ノード プロパティページにアクセスします。
3. 電子メール リポジトリの電子メール アドレスを [EMC_REPOSITORY_EMAILADDRESS] プロパティに入力します。
4. (オプション) ノード プロパティ ページで、[EMC_BCC_LIST] プロパティおよび [EMC_CC_LIST] プロパティに適切な値を入力し、指定したアドレスに全てのコラボレーション電子メールのコピーが自動的に送信されるようにします。
5. コネクタ ページにアクセスします。

このノードは、GETMAILTARGET ターゲット コネクタを使用します。GETMAILTARGET プロパティを設定する必要があります。

『*PeopleTools: PeopleSoft MultiChannel Framework*』の「Configuring the Email Channel」、
「Configuring PeopleSoft Integration Broker for the Email Channel」を参照してください。

6. ノードを保存します。

メッセージおよびサービス オペレーションの定義

このセクションでは、次の方法について説明します。

- インテグレーション ブローカーのメッセージの定義
- サービス オペレーションの定義

メッセージおよびサービス オペレーションの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
メッセージ定義	IB_MESSAGE_BUILDER	[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [メッセージ], [メッセージ定義] メッセージを定義します。
サービス	IB_SERVICEDFN	[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス], [サービス] サービスを定義または更新します。
サービス オペレーション定義 - 一般	IB_SERVICE	[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション], [一般] サービス オペレーションを定義または更新します。
サービス オペレーション定義 - ハンドラ	IB_SERVICEHDLR	[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション], [ハンドラ] ハンドラ名、ハンドラ タイプ、ハンドラの実装方法を指定します。
ハンドラ詳細	IB_SERVICEHDLR_SEC	"サービス オペレーション定義 - ハンドラ" ページで、[詳細] リンクをクリックします。 ハンドラ詳細を指定します。

インテグレーション ブローカーのメッセージの定義

EMC 用に作成されたインテグレーション ブローカーのメッセージは、行セットベースのメッセージである必要があり、これには、この表に列挙する EMC レコードが含まれます。

レコード	レベル	説明
EOAWEMC_HDR	0	EMC のヘッダーレコード。
EOAWEMC_TXNDATA	1	EMC のトランザクション データレコード。

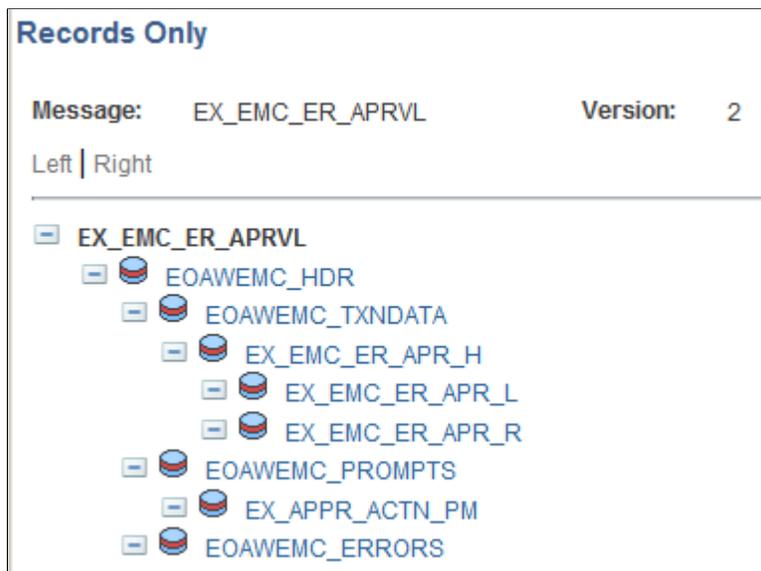
レコード	レベル	説明
EOAWEMC_PROMPTS	1	EMC のプロンプトレコード。アプリケーションによって、特定のプロンプトアクションのためのレコードが追加されます。
EOAWEMC_ERRORS	1	EMC のエラーレコード。

アプリケーショントランザクションレコード構造は、EOAWEMC_TXNDATA の下のレベル 2 に追加されます。

次の例に、経費レポートを承認するために作成されたメッセージの [レコードのみ] ビューを示します。この例では、トランザクションデータを含むアプリケーションレコードの先頭は、EX_EMG になっています。

画像: EMC に使用するメッセージの [レコードのみ] ビュー

次の例では、EMC に使用するメッセージの [レコードのみ] ビューのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



サービスの定義

全てのサービス オペレーションは、1 つ以上のサービスと関連付ける必要があります。既存のサービスのために新しいサービス オペレーションを作成する、またはサービス オペレーションと関連付けるための新しいサービスを作成できます。

『PeopleTools: PeopleSoft Integration Broker』の「Managing Services」、「Adding and Configuring New Service Operations for Services」を参照してください。

サービス オペレーションの定義

EMC メッセージ構造を使用する非同期の一方サービスを作成する必要があります。

注: このサービス オペレーションには、メッセージと同じ名前が付けられる必要があります。

『*PeopleTools: PeopleSoft Integration Broker*』の「Managing Service Operations」、「Adding Service Operation Definitions」を参照してください。

さらに、ハンドラとして使用される、EMC フォームを処理するためのアプリケーション クラスも作成する必要があります。

インバウンド送信を処理するために作成されたアプリケーション クラスは、EOAW_EMCAPI:emailFormManager クラスおよび EOAW_EMCAPI:utils クラスを拡張する必要があります。

このオブジェクトを作成する際は、このオブジェクトに次の 2 つのパラメータを渡す必要があります。

1. 完全にインスタンス化されてロードされたサービス オペレーション。
2. この電子メールを受け取るユーザーの言語コード。

注: フィールド ラベルなどのトランザクションは、EMC エンジンによって処理されます。しかし、メッセージ内に含まれる全ての値は、自分で翻訳する必要があります。

「[EMC クラスについて](#)」を参照してください。

EMC ランタイムインバウンド

EMC インバウンド処理は、ユーザーの送信から取得した全ての値を取得し、それらをユーザーに送信する値に結合します。このとき、アウトバウンド値よりもインバウンド値が優先されます。次に、これらの値を、フォームの定義に使用したのと同じサービス オペレーションに挿入し、パブリッシュします。パブリッシュされたメッセージを捕捉し、そのデータを処理するには、送信コードの部品を追加する必要があります。

getErrorCodesRS() ユーティリティ クラス メソッドを使用することで、インバウンド メッセージの処理時に EMC エンジンが挿入したエラー コード リストを取得できます。このコード リストは次のとおりです。

エラー コード	説明
0	エラーなし。
1	重複する回答が受信されました。ユーザーは 1 回を超えてフォームを送信しました。
2	送信先チェックに失敗しました。電子メールの送信先ユーザーは、受信した回答の送信元ユーザーではありませんでした。このエラーを処理するときは、ユーザーによっては、1 つ以上の電子メールの別名を持っていることに注意してください。
3	無効な日付値によるエラーが発生しました。
4	無効な数値によるエラーが発生しました。

エラー コード行セット内のフィールドは `ERROR_CODE`、`ROW_PATH`、`RECNAME`、`FIELDNAME` および `RECEIVED_VALUE` です。ただし、これら全てのフィールドが、全てのエラーに使用されるわけではありません。たとえば、`ROW_PATH`、`RECNAME` および `FIELDNAME` は、無効な日付値または数値が受信されたときにのみ使用されます。

EMC フォームの定義およびマッピング

このセクションでは、EMC フォームの概要を説明します。

EMC フォームの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
フォーム エlement デザイナ ページ	<code>EOAWEMC_ELEMENTS</code>	電子メール コラボレーションを提供するときに、システム データとして使用するメタデータを定義します。
フォーム レイアウト デザイナ ページ	<code>EOAWEMC_LAYOUT</code>	電子メールのレイアウトを定義します。
フィールド マッピング ページ	<code>EOAWXLAT_SYMBOL</code>	フィールド値をフォームにマッピングします。

EMC フォーム

EMC によって、アプリケーションはインタラクティブ コンテンツを持つ電子メールを送受信および処理できます。EMC フォームは、サービス オペレーションに基づいて作成されます。サービス オペレーションによって、EMC フォームの処理に必要なメッセージ構造およびハンドラが定義されます。

フォーム エlement デザイナ ページ

フォーム エlement デザイナ ページ (`EOAWEMC_ELEMENTS`) は、電子メール コラボレーションを提供するときに、システム データとして使用するメタデータを定義するために使用します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [電子メール コラボレーション], [EMC フォーム]

新しいフォームを作成するには、次の手順を実行します。

1. 新規値の追加ページを選択します。
2. メッセージ名を入力します。

注: このメッセージ名は、サービス オペレーション名と同じである必要があります。

このコンポーネントを入力すると、メッセージ定義内の全てのフィールドを使用してグリッドが自動生成されます。ただし、EMC 必須レコードに属するフィールドおよびメッセージ定義内で含むマークが付けられたフィールドを除きます。

リスト再作成

メッセージ定義を変更する場合、フィールドリストを再生成するためにこのボタンを使用します。変更内容は、自動的に更新されません。これにより、このメッセージと関連付けられたフォームレイアウト定義があれば、それらも削除されます。

エレメント タイプ

エレメント タイプを選択します。

ラベル ID

ラベル ID は、フィールドの使用可能なラベルリストに対して表示されます。このフィールドを空欄のままにすると、フォーム上のフィールドはラベルなしで表示されます。

エレメント タイプ

次の表に、有効なエレメント タイプを示します。

エレメント タイプ	説明
空白	アプリケーションは値をこのフィールドに格納できますが、電子メール フォームでは送信されないため、機密データの格納に使用される場合があります。
入力	標準テキスト入力フィールドとして表示されます。
出力	テキスト形式として表示されます。これは、アプリケーション開発者がユーザーにコンテキスト データを提供するための手段になります。
シークレット	入力フィールドと類似していますが、フィールドのコンテンツは黒丸、アスタリスク、疑問符などの仮の文字セットとして表示され、表示上のセキュリティが提供されます。
選択	このフィールド タイプは、チェック ボックスまたは複数選択ボックスのいずれかの方法で表示できます。これにより、ユーザーは単一のフィールドに対して複数の値を選択できます。

エレメント タイプ	説明
1 つ選択	<p>選択と類似していますが、ラジオ ボタンまたはドロップダウン リストの複数の方法で表示できます。これにより、ユーザーは使用可能な値のリストから、フィールドに対して 1 つの値を選択できます。</p> <hr/> <p>注: 設計時のオプションとしてラジオ ボタンを使用できますが、電子メール サーバーによっては、HTML でのラジオ ボタンの複数選択の禁止が強制されないことがあります。</p>
テキスト領域	このフィールド タイプは、長い編集ボックスとして表示されます。長い文字列を入力またはユーザーに表示する必要がある領域に適しています。

フォーム レイアウト デザイナ ページ

フォームレイアウト デザイナ ページ (EOAWEMC_LAYOUT) は、電子メールのレイアウトを定義するために使用します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [電子メール コラボレーション], [EMC レイアウト]

このページ上のレイアウト ルールは、きわめて厳格です。新しい各レベルに対してグリッドが自動的に作成され、フィールドを現在のグリッドの外部に移動することはできません。ヘッダーに改行を挿入すると、その情報は、予想どおりに新しい行に折り返して表示される結果になります。しかし、改行をグリッドの内部に挿入すると、その結果は、特別なグリッド行を設けたようになります。改行の後のフィールドは、グリッド列としては表示されず、レベル 0 の label:field として表示されます。

このページ上で、チェック ボックスおよびラジオ ボタンのグリッド ラベル、フィールド サイズ、列数を変更できます。改行を追加し、フィールドを上下に移動することもできます。

フォームレイアウトのプレビューを表示するには、[プレビュー] ボタンを使用します。

フィールド マッピング ページ

フィールド マッピング ページ (EOAWXLAT_SYMBOL) を使用して、フィールド値をフォームにマッピングします。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [電子メール コラボレーション], [フィールド マッピング]

画像: フィールド マッピング ページ

次の例では、フィールド マッピング ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Field Name EOAWEMC_ELEM_TYPE				
*Field Value	Long Name	Symbolic Name	Content Name	
1	Input	input		+ -
2 O	Output	output		+ -
3 S	Secret	secret		+ -
4 M	Select	select		+ -
5 N	Select1	select1		+ -
6 T	Textarea	textArea		+ -

フィールド マッピング ページ (EOAWXLAT_SYMBOL) は、フォーム内のドロップダウン リストで使用するフィールドの値を定義するために使用します。

電子メール コラボレーションのトリガ

このセクションでは、HTML 電子メール承認の概要および電子メール コラボレーションのトリガ方法について説明します。

電子メール コラボレーションのトリガで使用するページ

ページ名	定義名	用途
URL 管理ページ	URL_TABLE	トランザクション プロセスが電子メール内に配置した URL を特定します。
トランザクション登録ページ	EOAW_TXN	トランザクション レジストリを作成および更新します。
トランザクションの設定ページ	EOAW_TXN_NOTIFY	特定の承認プロセスでの電子メール通知オプションの使用方法を設定します。
トランザクションの設定 - テンプレート編集ページ	EOAW_EML_TEMPLATE	電子メール承認用のトランザクション テンプレートを編集します。
定期処理定義ページ	PRCSRECURDEFN	プロセス スケジューラでプロセスを実行する頻度を定義します。
アプリケーション エンジン実行リクエストページ	AE_REQUEST	リクエスト AE を EOAWEMC に対して設定します。

ページ名	定義名	用途
電子メール アドレス ページ	USER_EMAIL	電子メール アドレスを変更します。

HTML 電子メール承認について

PeopleSoft 承認ワークフロー エンジン (AWE) では、承認リクエストに対し、AWE アクションを電子メールから直接実行できます。AWE アクションには承認、却下、差戻し、コメントの入力などがあります。このエンジンでは、依頼者が承認を受けるためにトランザクションを送信したときに、承認者に通知を送信する機能も提供されます。通知は、承認者がリクエストに応答するための通達状として機能します。承認電子メールとは異なり、承認者がリクエストを承認または却下するためには、PeopleSoft のクラシック ページにログインする必要があります。

HTML 電子メール承認機能には、いくつかの主要な PeopleSoft HCM タレント管理トランザクション用に、HTML 電子メール テンプレートが用意されています。次の表に、これらのトランザクションと、それに対応するプロセス ID を列挙します。

トランザクション	トランザクション プロセス ID
人材募集	JobOpening
提示条件	JobOffer
休暇リクエスト	AbsenceManagement
延長休暇リクエスト	AM_Extended_Abs
昇進・昇格処理	PromoteEmployee
従業員の転属処理	TransferEmployee
管理者変更	ReportingChgEmployee
パフォーマンス記入票	PerformanceManagement

HTML 電子メール承認の設定および管理

エンタープライズ コンポーネント AWE フレームワークでは、提供時に HTML 電子メール承認がサポートされています。ただし、AWE フレームワークの有効化後は、ビジネス ニーズに応じてこの機能がシステムで使用されるようにするには、次の手順を実行する必要があります。

1. 「[URL 管理ページ](#)」を使用して電子メール内に配置される HCM インスタンス上で実行される Web サーバーの URL を特定します。
2. 「[トランザクション登録ページ](#)」のトランザクションに対し、HTML 電子メール承認を有効にします。
3. 「[トランザクションの設定ページ](#)」の組織の要件を満たすように、トランザクション テンプレートを見直します。

- 承認者が送信する承認アクション電子メールを定期的処理するため、EOAWEMC AE プロセスを実行します。

注: EOAWEMC プロセスは、承認者の承認ステータスを更新し、承認チェーン内に次のユーザーがある場合は、次のユーザーに承認リクエストを転送します。このプロセスには、定期処理を追加することをお勧めします。そうすることで、プロセスが必要な頻度で実行され、承認の回答が適時に処理されます。

承認電子メール リクエストのレイアウト

各承認電子メールは、トランザクション タイプに基づいて若干異なりますが、次のセクションは、全ての承認リクエスト電子メールに共通です。

- [電子メール サマリ] 行。承認待ちのトランザクションのタイプが特定されます。
- [詳細] または [要約] セクション。PeopleSoft のクラシック ページにアクセスする必要なく、承認リクエストに関するさまざまな詳細が提供されます。
- [承認履歴] グリッド。ステータスが保留になっている現在の承認者名が表示されます。ここには、トランザクションに既に回答した承認者の名前も表示されます。このグリッドには、承認のキューに含まれる承認者から構成される承認チェーンは表示されません。
- [コメント] グリッド。コメントがある場合は表示されます。
- [処理] リンク。承認または却下のためのアクション リンクが表示されます。電子メールには、AWE でのトランザクションの設定に応じて、差戻し、詳細情報リクエスト、保留などのその他のアクションも表示されることがあります。承認者が電子メール内のリンクをクリックすると、返信が生成されます。これにより、電子メールから直接承認または却下などを回答できます。
- トランザクション リクエストをオンラインで表示するためのリンク。

[詳細] または [要約] セクション。PeopleSoft アプリケーションにアクセスする必要なく、承認リクエストに関するさまざまな詳細が提供されます。

- 人材募集が複数のポジションまたは職務コードと関連付けられているかどうかを示すメモ。
- 転属および管理者変更のための追加情報。
- [提示条件コンポーネント] グリッド。そのユーザーの提示条件の報酬が表示されます。
- [休暇リクエスト詳細] グリッドおよび延長休暇リクエスト用の依頼者のコメント。
- [休暇残数] グリッドおよび休暇用の休暇残数に関する留意点。

URL 管理ページ

URL 管理ページ (URL_TABLE) を使用して、トランザクション プロセスが電子メール内に配置する URL を定義します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [ユーティリティ], [管理者], [URL], [URL 管理]

画像: URL 管理ページ

次の例では、URL 管理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

URL Maintenance

URL Identifier: HTML_EMAIL_APPROVAL

*Description: HTML Email Approval

*URLID: http://localhost/psp/ps

Comments: Generic url definition for HTML Email Approval: http://localhost/psp/ps

[URL Properties](#)

HCM インスタンスで実行されている Web サーバーの URL ベースに URL を設定します。この URL を使用すると、ユーザーは必要に応じて PIA にアクセスするためにシステムに戻ることができます。

トランザクション登録ページ

トランザクション登録ページ (EOAW_TXN) を使用して、承認トランザクションを登録します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [トランザクション レジストリ]

画像: トランザクション登録ページ

次の例では、トランザクション登録ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Register Transactions

Process ID PromoteEmployee

*Description Promotion Transaction Approval

Owner ID eProfile Manager Desktop

*Cross Reference Table HR_PROMOTE_XREF

Worklist Prefix

Notification Options

Enable Notifications

- Email
- Worklist
- Push

*Notification Strategy Online Processing

Use Email Approvals:

Form Generator Package Root EOAW_EMAIL_APPROVAL

Form Generator Class Path emailFormGenerator

Internal URL Definition

Internal URL Base HTML_EMAIL_APPROVAL

Internal Portal Name EMPLOYEE

Internal Node Name HRMS

▶ External URL Definitions

▶ URL Appending Parameters

▶ Default Approval Component

▶ Approval Event Handler Class

▶ Approval Status Monitor

▶ Transaction Approval Levels

[Expand/Collapse All](#)

このページのその他のフィールドの詳細は、「トランザクション登録ページ」を参照してください。

通知オプション

電子メール承認を使用

このチェック ボックスをオンにすると、電子メール承認機能が使用されます。

「[HTML 電子メール承認について](#)」を参照してください。

注: 全てのトランザクションは、[電子メール承認を使用] がオフの状態を提供されます。

[フォーム ジェネレータ パッケージ ルート]

このトランザクションのフォーム ジェネレータ アプリケーション クラスが格納されたクラスを含むパッケージ名を入力します。または、[検索] ボタンを使用して検索し、パッケージを選択します。

電子メール承認をサポートするためのパッケージ名として、*EOAW_EMAIL_APPROVAL* 値がデフォルトで提供されます。

フォーム ジェネレータ クラス パス

このトランザクションのフォーム ジェネレータ アプリケーション クラスを含むアプリケーション クラス パスを入力します。または、[検索] ボタンを使用して検索し、パスを選択します。

電子メール承認をサポートするためのアプリケーション クラス パスとして、*emailFormGenerator* 値がデフォルトで提供されます。

内部 URL 定義

次の値は、HTML 電子メール承認をサポートするためにデフォルトで提供されます。

内部 URL ベース

HTML_EMAIL_APPROVAL が URL ベースとして表示されます。

内部ポータル名

ポータル名に対して *EMPLOYEE* が表示されます。

内部ノード名

ノード名として *HRMS* が表示されます。

フォーム ジェネレータ用アプリケーション クラス

フォーム ジェネレータ用アプリケーション クラスは、*EOAW EMC:API:formGeneratorBase* の拡張である必要があります。承認エンジンで、電子メール承認を送信する必要があると判断されると、このページで指定するクラスのインスタンスが作成されます。次の 2 つのパラメータがクラスに渡されます。

- *EOAW_CORE:ENGINE:Thread* の配列としての *&threads*。これは、承認エンジン スレッドの配列です。
- 文字列としての *&userID*。電子メールを受け取るユーザーの ID です。

提供されたベース クラスが渡されたパラメータを取得し、それらのパラメータを保護されたプロパティにします。オブジェクトをインスタンス化するとすぐに、承認エンジンはベース クラスに定義された唯一のメソッド *returnEFM()* を呼び出します。このメソッドで、スレッドとユーザー ID を取得し、*emailFormManager* のインスタンスを作成して呼び出す必要があります。次に承認エンジンは、返すオブジェクト上で *sendEmails()* メソッドを呼び出します。

トランザクションの設定ページ

トランザクションの設定ページ (EOAW_TXN_NOTIFY) は、特定の承認プロセスでの電子メール通知オプションの使用方法を設定するために使用します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [トランザクション設定]

画像: トランザクションの設定ページ (1/2)

次の例では、トランザクションの設定ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configure Transactions

Process ID PromoteEmployee

Ad Hoc Approver Options

*Approval User Info View 🔍

Ad Hoc User List 🔍

Notification Options

Send Email Approvals to All

Email Approval User List

*Delivery Method ▼

Perform Sent-To Security Check

HTML Emails

Data Source	Record Name	Level		
1	<input type="text" value="HR_PROMAPHST_V"/> 🔍	Support ▼	+	-
2	<input type="text" value="HR_PROMO_DTL_V"/> 🔍	Header ▼	+	-

Email Processing Package 🔍

Email Processing Class 🔍

Allowed Actions

Approve Deny Pushback Hold Request Information

このコンポーネントを使用して、電子メール リクエストをトリガするアクションや電子メールの送信先、電子メールの内容を決定する要素を選択および定義します。

[通知オプション] セクションは、トランザクションの設定ページ上でこのトランザクションの [電子メール承認を使用] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ、使用できます。

このページのその他のフィールドの詳細は、「トランザクションの設定ページ」を参照してください。

通知オプション

このセクションは、トランザクションの設定ページ上でそのプロセス ID の [電子メール承認を使用] チェックボックスがオンになっている場合にのみ、表示されます。

電子メール承認を全員に送信

オンにすると、電子メールが全ての承認者に送信されます。このチェックボックスをオフにした場合、[電子メール承認者リスト] フィールドに値を入力し、リスト上に定義されたそれらのユーザーに電子メールが送信されるようにします。デフォルトではこのチェックボックスはオンになっています。

「[HTML 電子メール承認について](#)」を参照してください。

注: 全てのトランザクションは、[電子メール承認を使用] がオフの状態を提供されます。

送付方法

電子メール承認をメール本文のテキストとして相手に送信するか、添付書類として送るかを定義します。電子メール承認の場合、[インライン - HTML リンク] オプションを選択します。[インライン - HTML リンク] の値はデフォルトで提供されます。

送信先セキュリティチェックを実行

電子メール承認を使用するときは、このチェックボックスをオフにします。このオプションをオフにすると、承認者が対象の承認者以外の他の関係者に電子メールを転送することが許可されます。

このチェックボックスをオンにすると、通知の送信先ユーザーのセキュリティを検証し、対象の承認者以外の他の関係者への電子メール転送を禁止する設計上の意図があることが、システムに対して示されます。

デフォルトではこのチェックボックスはオフになっています。

HTML 電子メール

このセクションは、HTML 電子メール承認を使用するトランザクションに対して使用できます。

データソース

電子メール テンプレートがトランザクション データの表示に使用するヘッダーおよびサポートレコードが表示されます。

電子メール処理パッケージおよび電子メール処理クラス

電子メールの送信前に、トランザクション データおよび電子メール HTML を変更するために使用するアプリケーション クラスが表示されます。

許可されたアクション

承認リクエスト電子メール内で承認者が使用できるようにするアクション リンクを選択します。

次のアクションは、ほとんどのオンライン承認でオンの状態で提供されます。

- 承認
- 却下
- 差戻し (選択したトランザクションに対して)

テンプレート編集

このボタンをクリックすると、提供されたトランザクション テンプレートを変更するためのトランザクションの設定 – テンプレート編集ページにアクセスします。

トランザクションの設定 – テンプレート編集ページ

トランザクションの設定 – テンプレート編集ページ (EOAW_EML_TEMPLATE) を使用して、電子メール承認用のトランザクション テンプレートを編集します。[テンプレート編集] ボタンをトランザクションの設定ページでクリックします。

画像: トランザクションの設定 – テンプレート編集ページ (1/2)

トランザクションの設定 – テンプレート編集ページ (1/2)

Configure Transactions

Process ID JobOpening

Subject

Priority

Error Set Number Error Message Number

Body:

Format | Normal (...) | Font Arial | Size 12 | **B** *I* U abc |

Job Opening for %HRS_JOBOPEN_VW.POSTING_TITLE% is awaiting your approval

Job Posting Title	%HRS_JOBOPEN_VW.POSTING_TITLE%
Job Opening ID	%HRS_JOBOPEN_VW.HRS_JOB_OPENING_ID%
Target Openings	%HRS_JOBOPEN_VW.OPENINGS_TARGET%
Location	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR4%
Department	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR5%
Desired Start Date	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR20%
Hiring Manager	%HRS_JOBOPEN_VW.NAME_DESCR%
Recruiter	%HRS_JOBOPEN_VW.NAME_DISPLAY%
Job Type	%HRS_JOBOPEN_VW.XLATLONGNAME%
Job Code	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR50_1%
Job Family	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR40%

Validate
Preview
View Bind Fields
OK
Cancel

画像: トランザクションの設定 – テンプレート編集ページ (2/2)

トランザクションの設定 – テンプレート編集ページ (2/2)

The screenshot shows a rich text editor interface for editing an email template. The main content is a table with the following fields and placeholders:

Job Code	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR50_1%
Job Family	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR40%
Position Number	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR45%
Company	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR50_HR1%
Business Unit	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR50%
Job Creation Date	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR25%
Employee(s) Being Replaced	%HRS_JOBOPEN_VW.DESCR254%

Below the table is an 'Approval History' section with a table header and a row of placeholders:

Name	Status	Status Date
%HRS_JO_APHST_VW.NAME_DISPLAY%	%HRS_JO_APHST_VW.DESCR%	%HRS_JO_APHST_VW.DESCR2

Additional placeholders include %HRS_JOBOPEN_VW.DESCR_COMMENTS_HIS%, %COMMENT%, and %ACTION%. A link labeled 'View Job Opening' is also present.

注: このページの値は、HTML 電子メール承認をサポートするため設定されます。

[ソース] ボタンを RTE ツールバーでクリックし、HTML ソースを入力または変更します。% 記号の間の値は、「トランザクションの設定ページ」の [データ ソース] グリッドで設定されたように、ヘッダーおよびサポートレコードにマッピングされます。%COMMENT% 要素および %ACTION% 要素は、送信前に電子メールに挿入される [コメント] グリッドおよび [処理] リンクに対応します。

アプリケーション エンジン プログラム EOAWEMC のスケジュール設定

アプリケーション エンジン プログラム EOAWEMC のスケジュールを設定するには、次の手順に従います。

1. (オプション) 定期処理定義ページ ([PeopleTools], [プロセス スケジューラ], [定期処理]) にアクセスし、プロセス スケジューラの定期処理間隔を指定します。
2. アプリケーション エンジン プログラム EOAWEMC に対し、[PeopleTools], [プロセス スケジューラ], [処理] を選択し、プロセス定義を設定します。
3. プロセス定義オプション ページにアクセスし、プロセス スケジュール サーバーおよび定期処理を指定します。

『PeopleTools: Process Scheduler』の「Defining PeopleSoft Process Scheduler Support Information」、
「Defining Process Definitions」を参照してください。

電子メール アドレス ページ

電子メール アドレス ページ (USER_EMAIL) を使用して、電子メール アドレスを変更します。

ナビゲーション

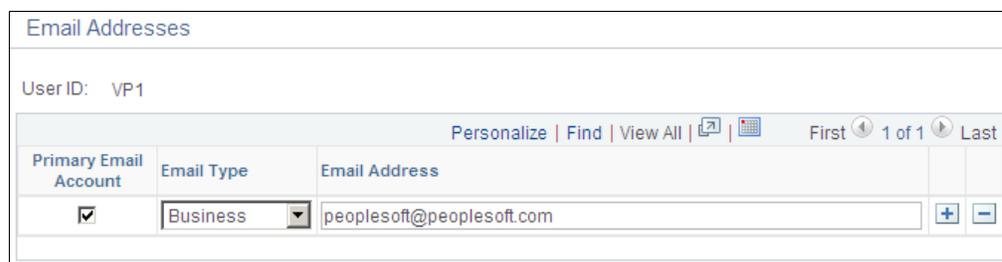
[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル], [一般]

"ユーザー プロファイル - 一般" ページで、[電子メール アドレスの編集] リンクを選択します。

自分の電子メール アドレスを更新するには、[マイ システム プロファイル] を選択します。

画像: 電子メール アドレス ページ

次の例では、電子メール アドレス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



Email Addresses		
User ID: VP1		
Personalize Find View All First 1 of 1 Last		
Primary Email Account	Email Type	Email Address
<input checked="" type="checkbox"/>	Business	peoplesoft@peoplesoft.com

第8章

EMC クラスの使用

EMC クラスについて

EMC クラスでは、電子メール承認を送信および取得するための機能が提供されます。これらはアプリケーション パッケージ EOAW_EMC に含まれています。

EmailFormManager クラス

このクラスでは、コラボレーティブ電子メールを送信するためのユーティリティ メソッドが提供されます。

EmailFormManager クラス メソッド

このセクションでは、emailFormManager のアプリケーション開発者に関するパブリック メソッドについてアルファベット順に説明します。

addRecipient

構文

`addRecipient(&emailAddress, &userID)`

説明

このメソッドを使用して追加されたユーザーには、電子メール フォームの操作が許可されます。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&emailAddress</code>	電子メール アドレスを文字列として指定します。必須。

パラメータ	説明
<code>&userID</code>	ユーザー ID を文字列として指定します。オプション。

戻り値

なし。

addCC

構文

```
addCC(&emailAddress)
```

説明

このメソッドを使用して追加された電子アドレスは、電子メール送信時に毎回コピーされます。

パラメータ

パラメータ	説明
&emailAddress	電子メール アドレスを文字列として指定します。必須。

戻り値

なし。

addBCC

構文

```
addBCC(&emailAddress)
```

説明

このメソッドを使用して追加された電子アドレスは、電子メール送信時に毎回ブラインド コピーされます。

パラメータ

パラメータ	説明
&emailAddress	電子メール アドレスを文字列として指定します。必須。

戻り値

なし。

addAttachment

構文

```
addAttachment(&filePath, &filePathType, &fileName, &fileTitle)
```

説明

電子メールと一緒に送信する添付を追加します。

パラメータ

パラメータ	説明
&filePath	ファイルまでのパスとファイル名自体から構成される文字列。
&filePathType	最初のパラメータで使用されるファイル パスのタイプを表す数値。%FilePath_Relative などのツール システム変数を使用します。
&fileName	添付されるファイルの名前を表す文字列。
&fileTitle	ファイルのタイトルから構成される文字列。このタイトルは、完全修飾ファイル名の代わりに添付アイコンの付近に表示されます。

戻り値

なし。

sendEmails

構文

```
sendEmails(&sentToCheckOnReturn)
```

説明

その他全ての情報が準備された後の、実際の電子メール送信を実行します。

パラメータ

パラメータ	説明
&sentToCheckOnReturn	true に設定した場合、EMC は、電子メールの送信先ユーザーが、回答を送信したユーザーと同じだったどうかを検証します。これが true でない場合、エラー スタックにエラーが挿入されます。これにより、アプリケーションが適切と判断すれば処理するように、アプリケーションを実装できます。

EmailFormManager クラス プロパティ

このセクションでは、emailFormManager クラス プロパティについて説明します。

inlineText

説明

deliveryMethod プロパティが inline に設定されている場合に、それらのメール クライアントが HTML 電子メールをサポートしていないかどうかをユーザーにわかるテキスト文字列を返します。デフォルト値が提供されます。inlineText および attachmentText が同じ電子メール内で提供されることはありません。

attachmentText

説明

deliverMethod プロパティが attachment に設定されているかどうかをユーザーにわかるテキスト文字列を返します。このテキストは一般に、HTML フォームを除外して送信するようにユーザーに指示するテキストとして使用します。デフォルト値が提供されます。inlineText および attachmentText が同じ電子メール内で提供されることはありません。

subject

説明

送信する電子メールの件名。デフォルトは *PeopleSoft Collaborative Email Routing* です。このプロパティを使用するときは、言語を考慮してください。

submitMessage

説明

deliveryMethod プロパティが inline に設定されている場合に、それらのメール クライアントが HTML 電子メールをサポートしていないかどうかユーザーにわかるテキスト文字列を返します。デフォルト値が提供されます。inlineText および attachmentText が同じ電子メール内で提供されることはありません。

from

説明

この電子メールを送信するユーザーまたはアカウントの名前。

fromEmail

説明

この電子メールを送信するユーザーまたはアカウントの電子メール アドレス。

replyTo

説明

問題があった場合に、ユーザーが返信する宛先のアドレス。これは、デフォルトでは、フォームの回答元の電子メール アドレスと同じアドレスになります。

prependText

説明

この変数は、電子メールとして送信するフォームの前に挿入する任意のテキストを含めるために使用します。

appendText

説明

この変数は、電子メールとして送信するフォームの後に挿入する任意のテキストを含めるために使用します。

deliveryMethod

説明

電子メールをインライン HTML と添付のどちらで送信するかを指定します。添付の場合、HTML 添付の表示に使用されるブラウザは、Lotus Notes などの電子メール クライアントよりも JavaScript や DHTML をサポートしていることが多いため、ユーザー インターフェイスが高まります。有効な値は、インラインを示す *I* および添付を示す *A* です。

EOAW_EMC:utils クラス

このクラスには、EMC の主な機能をサポートするメソッドが含まれています。

EOAW_EMC:utils クラス メソッド

このセクションでは、utils クラス メソッドについて説明します。

getAppRS

構文

`getAppRS(&msgRS)`

説明

このメソッドは、アプリケーション行セットをメッセージ定義行セットから取得する単一のポイントを提供します。メッセージ定義には、レベル 2 から始まるアプリケーション行セットがある必要があるため、これに使用できます。メッセージ全体を表す行セット オブジェクトがある場合、この行セットは、トランザクションを表す行セット全体の一部のみを返します。

パラメータ

パラメータ	説明
&msgRS	メッセージ全体を表す行セット オブジェクト。

戻り値

行セット。

getErrorCodesRS

構文

```
getErrorCodesRS(&msgRS)
```

説明

このメソッドは、エラーコード行セットをメッセージ定義行セットから取得する単一のポイントを提供します。

パラメータ

パラメータ	説明
&msgRS	メッセージ全体を表す行セット オブジェクト。

戻り値

行セット。

getPromptsRS

構文

```
getPromptsRS(&msgRS)
```

説明

このメソッドは、プロンプト行セットをメッセージ定義行セットから取得する単一のポイントを提供します。メッセージ定義には、レベル 2 から始まるプロンプト行セットがある必要があるため、これに使用できます。

パラメータ

パラメータ	説明
&msgRS	メッセージ全体を表す行セット オブジェクト。

戻り値

行セット。

getRowFromPath

構文

```
getRowFromPath(&startingRS, &path, &createIfNull)
```

説明

このメソッドは、エラー処理に役立ちます。ユーザーが日付または数値フィールドを返すことがメッセージで想定されており、EMC が返す値が、これらのいずれかのデータ型に変換できない場合、例外スタックにエラーコードを追加します。スタック内には、このコードと一緒に行パスが追加されます。行パスとは、行セット内の特定の行を取得するための経路です。このパスの形式は (n)SCROLLNAME[(n)...] です。ここで n は行番号を表し、SCROLLNAME は、行の取得元の行セットを構成するレコード名を表します。これらの2つの型のいずれかのエラーを受け取った場合、メッセージ行セット、エラースタック内の行パスおよび *false* を渡してこのメソッドを呼び出せます。エラーが発生した正確な行が、そのエラースタック内のレコード名およびフィールドと一緒に返されます。

パラメータ

パラメータ	説明
&startingRS	行の検索を開始する行セットを行セットとして指定します。
&path	目的の行へのパスを文字列として指定します。構文 - (n) [SCROLLNAME(n)...] ここで n は先行するスクロール内の行です。最初の n の前の行セットが &startingRS です。
&createIfNull	true に設定すると、このメソッドは、対象の行を正常に取得するために必要な行数の行を挿入します。false に設定し、その行がなかった場合、例外がスローされます。

通知およびエスカレーション マネージャの使用

通知およびエスカレーション マネージャについて

通知およびエスカレーション マネージャ (NEM) は、通知およびエスカレーションを指定された間隔で処理する際に使用するメカニズムです。

たとえば、承認者が指定した時間内に承認待ちのトランザクションに返答しない場合に、エスカレーションを使用します。時間 (タイムアウト) を指定して、アクションを催促するために承認を通知してエスカレーションを実行する承認者を切り替えることができます。[タイムアウト オプション] は、承認パス定義ページおよび承認定義 ID ページの両方で定義します。このパスは、プロセス定義レベルで上書きすることもできるように設計されています。この方法で、それぞれのパスに移動する必要なく、プロセス全体にタイムアウト オプションを定義できます。異なるパスを設ける必要がある場合、パスレベルで上書きできます。

通知およびエスカレーション マネージャの設定で使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>イベントタイプページ</u>	EOAW_NEM_EVENTS	イベントをサーバーに関連付けます。
<u>通知とエスカレーション ページ</u>	EOAW_NEM_SETUP	エスカレーション イベントを設定し、評価およびアクションの詳細を定義します。
イベント ステータス ページ	EOAW_NEM_STATUS	通知のステータスをチェックします。
<u>エスカレーション カレンダー設定ページ</u>	EOAW_CALENDAR	承認プロセス設定ページでタイムアウトオプションの定義に使用できるカスタムカレンダーを定義します。

イベント タイプページ

イベント タイプ ページ (EOAW_NEM_EVENTS) を使用して、イベントをサーバーと関連付けます。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [通知とエスカレーション], [イベント]

画像: イベント タイプ ページ

次の例では、イベント タイプ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

イベント タイプ

イベント タイプを選択します。PeopleSoft アプリケーションは、*ESCALATION_EVENT* や *APPROVALACTIVITYEMAIL* などのいくつかのイベント タイプを提供します。

サーバー名

通知を実行するサーバーを選択します。

通知とエスカレーション ページ

通知とエスカレーション ページ (EOAW_NEM_SETUP) を使用して、エスカレーション イベントを設定し、評価およびアクションの詳細を定義します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [通知とエスカレーション], [通知とエスカレーション]

画像: 通知とエスカレーション ページ

次の例では、通知とエスカレーション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

イベント タイプ	イベント タイプ ページで入力されたサーバー情報。
イベント タイプ 詳細	イベント タイプ ページの [詳細] フィールドに入力した値。
アクティブ	選択すると、エスカレーション プロセスが有効になります。
定期処理	評価プロセスの実行間隔を入力します。
処理間隔	アクション ステップの実行回数を制限するために、期間を入力します。
評価タイプ	<p>評価方法を選択します。有効値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>[PeopleCode]</i>: PeopleSoft アプリケーション デザイナを使用して作成された、カスタム アプリケーション パッケージまたはクラスを使用している場合に選択します。 • <i>[クエリー オブジェクト]</i>: PeopleSoft クエリー マネージャ ツールを使用して設定されたクエリーを使用する場合に選択します。 • <i>[SQLビュー]</i>: PeopleSoft アプリケーション デザイナを使用して作成されたレコード オブジェクトを使用する場合に選択します。 <hr/> <p>注: エスカレーションの場合は、評価タイプは <i>[SQLビュー]</i> を使用してください。</p> <hr/>
名前	選択した評価タイプに応じて、クエリー オブジェクトまたは SQL ビューの名前を表示します。
アクション タイプ	<p>以下のアクションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>[PeopleCode]</i>: PeopleSoft アプリケーション デザイナを使用して作成された、カスタム アプリケーション パッケージまたはクラスを使用している場合に選択します。 • <i>[電子メール]</i>: 電子メール アドレスと通知テンプレートを入力してください。 <hr/> <p>注: エスカレーションの場合、アクション タイプは <i>[PeopleCode]</i> を使用してください。</p> <hr/>
パッケージ	<p>エスカレーション ユーティリティを含むアプリケーション パッケージを選択します。</p> <hr/> <p>注: エスカレーションの場合、パッケージ タイプは <i>[EOAW_CORE]</i> を使用してください。</p> <hr/>

クラス

エスカレーションの場合、[Escalator] を選択します。

エスカレーション カレンダー設定ページ

エスカレーション カレンダー設定ページ (EOAW_CALENDAR) 使用して、カスタム カレンダーを定義します。このカレンダーは、承認プロセス設定ページでタイムアウト オプションを定義するために使用できません。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [通知とエスカレーション], [エスカレーション カレンダー設定]

画像: エスカレーション カレンダー

次の例では、エスカレーション カレンダー ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Escalation Calendar' configuration form. It has the following fields and controls:

- Calendar ID**: A text input field with the value 'WorkDays'.
- *Description**: A text input field with the value 'Business Hours'.
- Working Days**: A section with checkboxes for Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, and Sunday. Monday through Friday are checked.
- Working Time**: A section with an 'All Day' checkbox, which is unchecked.
- *Start Time**: A time input field with the value '9:00AM'.
- *End Time**: A time input field with the value '5:00PM'.

カレンダー ID

カレンダーに固有の ID を入力します。このフィールドが空欄でない場合、タイムアウト計算は、カレンダー ID に基づきます。このフィールドが空欄の場合、タイムアウト計算は 24 時間 7 日間に基づき、元の機能を使用します。

詳細

カレンダーの詳細を入力します。

勤務日数

勤務日数を選択します。エスカレーション タイムアウト オプションは、タイムアウトを決定するためにこの日数を参照します。少なくとも 1 日を選択する必要があります。

勤務時間

勤務時間を選択します。エスカレーション タイムアウト オプションは、タイムアウトを決定するためにこの日数を参照します。[全日] を選択した場合、勤務時間は 24 時間になります。

承認モニターの使用

承認モニターについて

承認モニターでは、管理者はアクセス権のある全ての承認を参照できるだけでなく、承認待ちの承認に必要なアクションを行うことができます。管理者には、承認プロセス定義ページでシステム管理者として定義されたロールに基づき、承認トランザクションへのアクセスが許可されます。承認管理者は、次のアクションを行うことができます。

再割当	システム管理者は、検索条件に基づいて承認待ちの承認を新しい承認者に割り当てられます。
承認	管理者は、割り当てられた承認者の代理で処理を行えます。特定のユーザーについて、そのユーザーが特定のトランザクション内で承認待ちの場合に承認が開始されます。管理者がアクションを行うと、承認プロセスが再開されます。
却下	管理者は、割り当てられた承認者の代理で処理を行えます。特定のユーザーについて、そのユーザーが特定のトランザクション内で承認待ちの場合に却下が開始されます。
アドホック	管理者は、特定のトランザクションに対してレビュー担当者または承認者を追加できます。
再送信	管理者は、承認パスの全ての承認者に対して完了済トランザクションを再送信できます。
差戻し	管理者は、前の承認者にプロセスを差し戻すことができます。

承認の再割当てについて

管理者は、承認待ちのタスクの割当てを別の承認者に変更するか、特定の承認者に属する全てのタスクの割当てを別の承認者に変更できます。割当て変更は次のような場合に使用します。

- 承認者がタスクを別の承認者に割り当て変更して、特定のタスク (ステップ) を別の承認者に委任する。
- 管理者は、ある承認者に属するステップ内の全ての承認待ちタスクの割当てを別の承認者に変更する。

通常この再割当ては、承認者が急遽欠席し、管理者が全ての承認待ちタスクの割当てを別の承認者に変更するときに発生します。

管理者は、ワークフロー タスクを別の承認者にリダイレクトするときに、承認プロセス マップを変更できません。

注: 承認フレームワークは、管理上の割当て変更およびエスカレーション用にのみ設定されています。

承認モニターの設定

このセクションでは、承認のモニターの設定方法を説明します。

承認のモニターは、元の承認者が不在の場合、管理者がトランザクションを承認するために必要な情報を表示するように設定できます。また、管理者が実行できるアクションを設定することもできます。各プロセス ID を設定できます。

承認のモニターの設定で使用するページ

ページ名	定義名	用途
承認モニター設定ページ	EOAW_MONDIS_CONFIG	承認のモニターを設定します。

承認モニター設定ページ

承認モニター設定ページ (EOAW_MONDIS_CONFIG) を使用して、承認の監視を設定します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [モニター設定]

画像: 承認モニター設定ページ

次の例では、承認モニター設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Approval Monitor Configuration

Process ID TLPayableTime

Configure Monitor Approvals

Include in Search
 Display Only

<input checked="" type="checkbox"/> Allow Approve	<input checked="" type="checkbox"/> Allow Resubmit/Restart	<input checked="" type="checkbox"/> Allow Mass Approve
<input checked="" type="checkbox"/> Allow Deny	<input checked="" type="checkbox"/> Allow Reassign	<input checked="" type="checkbox"/> Allow Mass Deny
<input checked="" type="checkbox"/> Allow Pushback	<input checked="" type="checkbox"/> Allow Mass Reassign	

Configure User Monitor

User Role Details Find | View All | First 1 of 1 Last

User Role:

Description:

Allow Mass Approve
 Allow Mass Deny

Transaction Display Level Find | View All | First 1 of 2 Last

Display Level Header Record Name TL_APP_PAY_HDR

Personalize Find View All <input type="button" value="📄"/> <input type="button" value="📅"/>		First 1 of 4 Last	
Field Name	Field Label ID	Display	
1 TRANSACTIONID <input type="button" value="🔍"/>	TRANSACTIONID <input type="button" value="🔍"/>	Yes <input type="button" value="▼"/>	<input type="button" value="⬇️"/> <input type="button" value="⬆️"/>

承認モニターの設定

このセクションは、この承認プロセス用に承認のモニター ページ上で使用できるアクションを制御するために使用します。

検索対象

選択すると、承認のモニター ページ上で承認プロセスを使用できます。

表示専用

選択すると、承認プロセスは表示専用モードになります。

[承認の許可][却下の許可][差戻しの許可][再送信/再実行の許可][割当変

この承認プロセス用に、承認のモニターで使用できるようにする各アクションを選択します。

更の許可] [マス再割当を許可] [マス承認を許可] 「承認のモニター ページ」を参照してください。
 認を許可] および [マス却下を許可]

ユーザー モニターの設定

このセクションは、この承認プロセス用に、ユーザー ロールおよび承認機能を割り当てるために使用します。

トランザクション表示レベル

このセクションは、この承認プロセス用にユーザー モニターのヘッダーおよび行レベルで表示するフィールドを選択するために使用します。

承認モニターの使用

このセクションでは、承認の監視検索ページの使用、検索結果の表示、特定の承認プロセスのために承認の監視を利用する方法について説明します。

承認モニターでは、管理者はアクセス権のある全ての承認を参照できるだけでなく、承認待ちの承認に必要なアクションを行うことができます。

警告 PeopleSoft 経費管理で使用される複雑なルールのために、承認のモニター ページは経費トランザクションの承認または却下に使用しないでください。経費トランザクションを承認および却下するには、PeopleSoft 経費管理の承認 ページを使用します。

承認のモニターで使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>承認のモニター ページ</u>	EOAW_ADM_MON_SRC	システム管理者は、承認のモニター ページを使用して承認プロセスを検索してまとめて割当変更できます。
<u>承認のモニター ページ</u>	EOAW_ADM_MON_ACT	このページを使用して、特定の承認プロセスに対してアクションを実行します。

承認のモニター ページ

システム管理者は、承認のモニター ページ (EOAW_ADM_MON_SRC) を使用して、承認プロセスを検索してまとめて割当変更できます。

ナビゲーション

- [エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [承認のモニター]
- [エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [ユーザー モニター]

画像: 承認のモニター - 検索基準ページ

次の例では、"承認のモニター - 検索基準" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

承認プロセス

承認プロセスを選択します。使用可能な承認プロセスのリストは、承認プロセス定義に関連付けられた管理者ロールによって決定されます。プロセス定義の設定ページの [管理者ロール] フィールドで指定したロールにユーザーが関連付けられている場合、それらのユーザーは、承認のモニター内でそのプロセス ID を表示または操作できます。

定義 ID

プロセス定義の設定ページで指定されたプロセス定義を選択します。

ヘッダー ステータス

このフィールドでステータスを選択して、そのステータスを表示します。以下のいずれかのオプションを選択します。

- 承認

- 完了
- 却下
- 却下確定
- 開始
- 非アクティブ
- 保留
- 却下保留
- 中断/却下保留
- 終了

承認者	承認者を選択します。特定の承認者に関する承認プロセスを表示する、またはアクションを実行するために、このフィールドが必要です。
承認者ステータス	使用可能なステータスを選択します。このフィールドは、特定の承認者が [承認者] フィールドで選択された場合にのみ使用可能になります。選択可能なステータスは、承認プロセス ID に関連付けられた相互参照テーブルにある、その承認者のステータスに基づきます。
作成者	承認プロセスを開始したトランザクションを入力したユーザーを選択します。
依頼者	承認プロセスを開始したトランザクションを依頼したユーザーを選択します。作成者は、常に依頼者と同じとはかぎりません。

保留中のタスクの割当変更

このセクションを使用して、承認者の割当てを別のユーザーに変更できます。このセクションは、プロセスで再割当てが許可されている場合にのみ使用できます。

検索結果の表示

承認のモニター ページに選択条件を入力後、[検索] ボタンをクリックします。

画像: 承認のモニター検索結果

次の例では、承認のモニター検索結果のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Results

Select All Deselect All

▼ **Approval Process: Absence Management**

Transaction Number Empl ID

Empl Record Begin Date

Absence Take End Date

		Modified	Status	Transaction Number	Empl ID	Empl Record	Begin Date	Absence Take	End Date
1	<input type="checkbox"/>	Never	Pending	510	KUTLWC03	0	2013-05-31	2343	2013-05-31
2	<input type="checkbox"/>	2009-08-11	Pending	86	K0W002	0	2007-02-05	2343	2007-02-05
3	<input type="checkbox"/>	2009-08-11	Pending	89	K0W102	0	2007-02-05	2343	2007-02-05
4	<input type="checkbox"/>	2009-08-11	Pending	92	K0W202	0	2007-02-05	2343	2007-02-05
5	<input checked="" type="checkbox"/>	2009-08-10	Denied	82	K0W207	0	2006-11-29	2343	2006-11-30
6	<input checked="" type="checkbox"/>	Never	Terminated	83	K0W207	0	2007-02-13	2342	2007-02-13
7	<input checked="" type="checkbox"/>	2009-08-10	Approved	84	K0W207	0	2007-03-06	2342	2007-03-06
8	<input checked="" type="checkbox"/>	2009-08-11	Denied	85	K0W207	0	2007-04-24	2342	2007-04-24
9	<input checked="" type="checkbox"/>	Never	Terminated	86	K0W002	0	2007-02-05	2343	2007-02-05

選択した承認プロセスに対し、承認プロセスに設定されたトランザクションの表示レベルに基づいて、特定のフィールドが表示されます。

「承認モニター設定ページ」を参照してください。

フィルタ

このボタンを使用して、入力した条件に基づいて結果セットにフィルタを適用します。

ヘッダーと行をトグル

承認プロセスにヘッダーおよび行の承認が含まれている場合、このボタンを使用すると、詳細の表示を切り替えることができます。

承認のモニター ページ

承認のモニター ページ (EOAW_ADM_MON_ACT) を使用して、特定の承認プロセスに対してアクションを実行します。

ナビゲーション

承認のモニター検索ページから、変更する承認ステップのリンクを選択します。

画像: 特定の承認プロセス用の承認のモニター ページ

次の例では、特定の承認プロセスの承認のモニター ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このページには、プロセスに対して承認のモニターを設定したときに選択したオプションの内容が反映されます。[保留中のタスクの割当変更] セクション、および [管理者承認/却下] セクションで使用できるボタンは、承認モニター設定ページで設定したとおりに表示されます。

警告 PeopleSoft 経費管理で使用される複雑なルールのために、承認のモニター ページは経費トランザクションの承認または却下に使用しないでください。経費トランザクションを承認および却下するには、PeopleSoft 経費管理の承認ページを使用します。

承認者

承認者を選択します。承認プロセス内の承認待ちのステップに関連する全ての承認者が一覧表示されます。

コメント

[承認コメント履歴] セクションで承認グラフィックの下に表示されるテキストを入力します。

保留中のタスクの割当変更

割当変更先	承認プロセス内にある全ての承認待ちステップの割当変更先とする承認者を選択します。
割当変更	<p>このボタンをクリックすると、タスクの割当て変更が開始されます。この手順の最後に、対応する承認プロセス インスタンスの全ての保留タスクは、[割当変更先] フィールドに指定されたユーザーに割り当てられます。</p> <p>割当て変更履歴はコメントとして捕捉され、このページ最下部の承認グラフィックに表示されるようになります。</p>
自己承認可	自己承認を有効にするときに選択します。有効にすると、承認は引き受けられ、プロセスが先に進みます。
自動承認可	自動承認を有効にするときに選択します。有効にすると、ヘッダーレベルまたは行レベルでそのプロセスの承認者のアクションが記憶され、承認フレームワーク ルーティングのそれ以降の出現箇所に、同じアクションが自動的に適用されます。
管理者承認/却下	
承認	このボタンをクリックし、選択した承認者の代理で処理を実行します。このアクションは、承認プロセスの条件に応じて選択された承認者の全ての承認待ちタスクに適用されます。
却下	このボタンをクリックし、選択した承認者の代理で処理を実行します。このアクションは、承認プロセスの条件に応じて選択された承認者の全ての承認待ちタスクに適用されます。
差戻し	<p>前のステップをその承認者に戻すときにクリックします。このボタンは、1 より後のステップでのみ使用可能です。</p> <p>たとえば、トランザクションに 3 人の承認者がいるとします。最初の承認者がトランザクションを承認し、これによってトランザクションがステップ 2 で承認待ちになります。管理者は依頼者からの追加情報が必要なために、トランザクションを依頼者に差戻します。</p>
再実行	クリックすると、承認パスの全ての承認者に対して承認待ちトランザクションを再実行します。このボタンは、トランザクションが承認待ちのときにのみ使用可能です。
再送信	クリックすると、承認パスの全ての承認者に対して完了済トランザクションが再送信されます。このボタンは、トランザクションが終了のときにのみ使用可能です。トランザクションが再送信で

きるのは現在のステータスにあるときのみで、承認のために再送信する前には更新できません。

コメントの表示/非表示

クリックすると、[コメント] セクションが展開し、割当て変更に関するコメントまたは任意のアクション ボタンがクリックされたときに [説明] フィールド内で捕捉されたテキストが表示されます。

リクエスト情報

クリックすると、システム内の他のユーザーからのこのトランザクションに関する追加情報がリクエストされます。選択するこのユーザーは、このトランザクションの承認者でない可能性があります。このユーザーがリクエストに回答してからでないと、承認プロセスは次のレベルに進みません。新しい承認グラフィックに、追加情報がリクエストされたことと、リクエストに応える責任があるユーザーが表示されます。依頼者として、リクエストする情報の種類を明確にするために、コメント セクションを使用できません。

トランザクションに関する追加情報のリクエスト

承認グラフィックで [リクエスト情報] リンクをクリックすると、次のようになります。

1. 現在のトランザクションが保留になります。そうすることで、返された情報を情報のリクエスト元の承認者が確認する前に、別のユーザーがアクセスしてトランザクションを承認するのを防ぎます。
2. そのステップのトランザクションのレビュー担当者として、依頼者を挿入します。
3. *リクエスト情報* イベントをトリガします。アプリケーション イベント ハンドラ内の全ての処理がトリガされ、トランザクション設定に定義された全ての通知が送信されます。

情報のリクエスト元の承認者は、アクション ボタンをクリックすることで、トランザクションをいつでも操作できます。

[リクエスト情報] リンクの使用例を次にあげます。

1. あるユーザーが、モニターとハード ディスクを購入するための調達依頼リクエストを送信します。

このリクエストは、ステップ 1 で 3 人のグループ管理者に転送されます。3 人の管理者のうちの 2 人の承認が要求されます。

2. ある管理者が、依頼者のユーザーがこのような大型モニターを購入する理由を知りたいとします。この管理者は、承認グラフィックの [リクエスト情報] リンクをクリックし、この調達依頼に関する詳しい情報を得ようとします。

調達依頼トランザクションはここで保留になり、依頼者ユーザーのアクションを待ちます。その他の 2 人の管理者は、いつでも自分の承認を発行することができますが、トランザクションは、保留が解除されるまでは次に進みません。

3. アプリケーションに承認機能が実装されている方法に応じて、最初の管理者は [コメント] フィールドにコメントを入力できます。このコメントは、[ステータス モニター] に表示されます。この管理者は、電話、電子メール、実際に会いに行くなどのその他の連絡手段で情報を求めることもできます。

同様に依頼者ユーザーは、実装方法に応じて、アプリケーションを使用してコメントを入力する (この場合、[追加リクエスト情報] イベントがトリガされます)、またはその他の手段 (電話、電子メールなど) で管理者に連絡できます。

4. 最初の管理者は、回答の受領後 (または前)、トランザクションを承認または却下できます。通常の処理が再開されます。

「[ApprovalManager クラス メソッド](#)」、「[ApprovalEventHandler クラス メソッド](#)」を参照してください。

自分に割り当てられたタスクの割当先変更

自分のタスクを別の承認者に割当変更するには、承認者として自分に割り当てられたステップを選択し、そのステップを代替承認者に割り当てるよう依頼します。このタスクを実行するには、管理者ロールが割り当てられている必要があります。

承認フレームワークは、そのステップの割当先を新しく指名した承認者に変更し、ワークリストから元の承認者を削除します。新しい承認者の項目が新しいワークリストに作成され、新しい承認者に通知が送られます。

承認フレームワークは、承認スレッドにコメントを追加して割当変更をログに記録します。

管理者としてのタスクの割当変更

特定の承認者の承認待ちタスクの割当を別の承認者に変更するには、次のようにします。

1. 表示内容にフィルタを実行して、特定の承認者の承認待ちプロセスを表示する。
2. 割当を変更するステップおよび影響を受けるユーザーを指定する。

リクエストが承認フレームワークに送信され、承認待ちの全ステップの割当が変更されます。

承認待ちタスクの割当を新しい承認者に変更すると、承認パスが更新されて承認トランザクションは新しい承認者に転送されます。

注: 割当変更先はユーザー プロファイルで作成できます。ただし、ユーザー プロファイルでワークフローの割当を変更しても、実際の承認プロセスは変更されません。承認のモニター コンポーネントを使用して割当を変更すると、割当が変更されて新しいユーザーのワークリストが作成されます。

また、管理者は割当を変更する代わりにアクションを実行することもできます。

コメント履歴

以前のワークフローの流れを表示するには、[コメント履歴] セクションを展開します。このセクションは、トランザクションの変更のためにトランザクションが再送信された場合に使用可能になります。

たとえば、ある調達依頼が、3人の承認者のうちの2人によって承認されます。このときに、3人目の承認者が調達依頼を見る前に、調達依頼が変更されます。この調達依頼は再送信され、承認パスは最初から開始されます。[コメント履歴] セクションには元の流れが維持され、最初の2人の承認者が元の調達依頼を承認したことがここに示されます。

ユーザー モニターの使用

このセクションでは、ユーザー モニターの使用方法を説明します。

ユーザー モニターでは、承認モニターによく似た汎用の承認ページが提供されます。唯一の違いは、ユーザー モニターは、サインオン ユーザーが承認者と依頼者のいずれかである承認項目のみを表示対象とするように設計されている点です。

ユーザー モニターの使用で使用するページ

ページ名	定義名	用途
ユーザー モニター - 承認のモニター ページ	EOAW_ADM_MON_SRC	トランザクションを承認またはレビューします。

ユーザー モニター - 承認のモニター ページ

ユーザー モニター - 承認のモニター ページ (EOAW_ADM_MON_SRC) を使用して、トランザクションを承認またはレビューします。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [承認], [承認], [ユーザー モニター]

画像: 現在のロール承認者用の "ユーザー モニター - 承認のモニター" ページ

次の例では、現在のロール承認者用の "ユーザー モニター - 承認のモニター" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Monitor Approvals

Search Criteria

Approval Process

Header Status

Current Role

Approver Status

Originator

Requester

Definition ID

Last Modified

User Actions

Approver's Oper ID

Comment

Search Results

Approval Process: Delegation

Delegator Emplid

Transaction Name

From Date

Delegator Record Number

Transaction Type

		Modified	Status	Delegator Emplid	Delegator Record Number	Transaction Name	Transaction Type	From Date
1	<input type="checkbox"/>	2009-05-15	Approved	HXCMPDEL06	0	WCSCCompSubmitter	I	2009-05-15
2	<input type="checkbox"/>	2009-05-15	Approved	HXCMPDEL04	0	WCSCCompReviewer	I	2009-05-15
3	<input type="checkbox"/>	2009-05-15	Approved	HXCMPDEL06	0	WCSCCompSubmitter	I	2009-05-15
4	<input type="checkbox"/>	2009-05-20	Approved	N30017	0	JobOpening	A	2009-05-20
5	<input type="checkbox"/>	2009-05-20	Approved	N30002	0	JobOffer	A	2009-05-20
6	<input type="checkbox"/>	2013-05-28	Approved	K6001	0	GP Payroll Approval CHN	A	2013-05-26

自分の現在のロールとして [承認者] または [依頼者] のいずれかを選択し、トランザクションを表示するための検索ボタンをクリックします。

「承認のモニター ページ」を参照してください。

承認フレームワークの基本クラスの使用

承認フレームワークの基本クラスについて

承認フレームワークの基本クラスでは、ワークフローと管理者承認を開始し、承認のモニターを表示するための機能が提供されます。カスタムの承認フレームワーク プロセスを構築するためには、作成する PeopleCode 内でこれらのクラスを拡張する必要があります。

承認フレームワークの基本クラスのインポート方法

承認フレームワークの基本クラスは、Rowset、Field、Record などのビルトイン クラスではありません。これらはアプリケーション クラスです。作成する PeopleCode プログラム内でこれらのクラスを使用するには、その前に、これらをプログラムにインポートする必要があります。

インポート文では、パッケージ内の全てのクラスを宣言する、または特定のアプリケーション クラスを宣言します。承認フレームワークの基本クラスをインポートする場合、特定のニーズに限定したアプリケーション パッケージ内の関数クラスをインポートすることをお勧めします。

この関数クラスは EOAW_CORE アプリケーション パッケージに格納されています。

インポート文内には、コードに必要なクラスを含めるための構成体を使用する必要があります。この例は次のとおりです。

```
import EOAW_CORE:*;  
import EOAW_CORE:LaunchManager;  
import EOAW_CORE:ApproverManager
```

LaunchManager クラス

このクラスでは、承認フレームワークを起動するためのユーティリティ メソッドが提供されます。

LaunchManager クラス メソッド

アプリケーション開発者は、このクラスをコンポーネント有効範囲付き変数としてインスタンス化する必要があります。このクラスを初期化する最適な場所は、コンポーネント事後ビルド イベント内です。このセクションでは、LaunchManager クラス メソッドについて説明します。メソッドは、アルファベット順で説明します。

LaunchManager

構文

LaunchManager(&awprcs_id, &hdr_, &requester_)

説明

承認フレームワーク プロセスを起動します。

パラメータ

パラメータ	説明
&awprcs_id	トランザクションレジストリに定義した承認プロセス ID を文字列として指定します。
&hdr_	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したヘッダーレコードをレコードとして指定します。
&requester_	承認プロセスを開始するユーザーのユーザー ID を文字列として指定します。

戻り値

なし。

例

VoucherApproval に対して承認フレームワークを起動する例を示します。

```
import EOAW_CORE:*;
Component EOAW_CORE:LaunchManager &launchMgr;

If VOUCHER.VCHR_APPRVL_FLG = "W" Then
    &vchrRecord = CreateRecord(Record.VCHR_AF_HDR_VW);    GetLevel0() (1).GetRecord(Re⇒
cord.VOUCHER).CopyFieldsTo (&vchrRecord);
    &launchMgr = create EOAW_CORE:LaunchManager("VoucherApproval", &vchrRecord, %Ope⇒
ratorId);
```

DoSubmit

構文

DoSubmit()

説明

承認を得る目的で新しいトランザクションを送信するために使用します。`submitEnabled` プロパティが `true` でない場合、例外がスローされます。

パラメータ

なし。

戻り値

なし。

例

トランザクションを送信する例を示します。

```
import EOAW_CORE:*;  
  
Component EOAW_CORE:LaunchManager &launchMgr;  
  
&launchMgr.DoSubmit();
```

DoReSubmit

構文

DoReSubmit()

説明

トランザクションが以前に送信され、以前の承認プロセスが完了している (承認、却下、または終了された) 場合に、このトランザクションを再送信するために使用します。`resubmitEnabled` プロパティが `false` の場合、例外がスローされます。

パラメータ

なし。

戻り値

なし。

例

プロセスを再送信する例を示します。

```
import EOAW_CORE:*;  
  
Component EOAW_CORE:LaunchManager &launchMgr;  
  
&launchMgr.DoReSubmit();
```

DoRestart

構文

DoRestart()

説明

現在実行中の承認プロセスを再実行するために使用します。restartEnabled プロパティが false の場合、例外がスローされます。

たとえば、eProcurement-調達管理では、調達依頼は承認後に変更されることがあります。これは承認済であるため、承認フレームワークでは終了したものと見なされ、再送信は許可されません。そうするための方法は、トランザクションを再実行することだけです。再実行すると、全ての承認アクションはリセットされ、以前の承認と関係なく、最初の承認者に転送されます。

パラメータ

なし。

戻り値

なし。

PrepareToSubmit

構文

PrepareToSubmit()

説明

このメソッドでは、承認プロセスがインスタンス化されますが、そのプロセスが保存または開始されることはありません。承認プロセスが既にインスタンス化されている、または承認プロセスが実行中である場合、このメソッドを繰り返し呼び出しても何も起きず、元の状態に戻ります。この要点は、依頼者は DoSubmit() で開始されたプロセスの内容を事前に確認しながら、アドホック承認者を追加できることです。DoSubmit()、DoResubmit()、DoPreview() および DoRestart() の各メソッドは、全てこのメソッドを呼び出します。そのため、DoPreview() を使用して初期化する全ての承認プロセスは、前述のメソッドによって再利用されます。この動作が用途に合わない場合、アプリケーション開発者は Reset() メソッドを使用します。

注: 送信準備のための呼出しを繰り返すと、パフォーマンスに問題が発生する可能性があります。通常このメソッドは、送信準備の際、または確認が必要なときにのみ使用します。

パラメータ

なし。

戻り値

なし。

SetHeader

構文

SetHeader(&hdr_)

説明

新しいアプリケーショントランザクションを作成するときに、アプリケーションによっては、トランザクションを保存するまでは、キーフィールドが完全にはロードされないことがあります。たとえば、eProcurement-調達管理では、生成された ID 番号を調達依頼に使用しますが、この ID フィールドは、新しいトランザクションを保存するまではロードされません。アプリケーションは、このコンポーネントの事後ビルド イベントコード内で LaunchManager オブジェクトを初期化する必要があるため、この対応が課題になります。このような場合、アプリケーション開発者は、このメソッドを呼び出すことでヘッダーレコードを安全にリセットした後で、承認用に新しいトランザクションを送信できます。渡されるヘッダーレコードが有効であるかぎり、常にこのメソッドを呼び出すのが安全です。ただし、このメソッドによって承認プロセスが再インスタンス化される場合、プレビューされたインスタンスをキャッシュすることで得られるパフォーマンスの向上効果はなくなります。

パラメータ

パラメータ	説明
&hdr_	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したヘッダーレコードをレコードとして指定します。

戻り値

なし。

例

```
&reqRecord = CreateRecord(Record.PV_REQHDR_AW_VW);
GetLevel0 () (1) .GetRecord(Record.REQ_HDR) .CopyFieldsTo (&reqRecord);
&launchMgr .SetHeader (&reqRecord);
&launchMgr .DoSubmit ();
```

Reset

構文

Reset()

説明

このメソッドでは、DoPreview() メソッドによってキャッシュされた承認プロセス インスタンスがクリアされます。承認プロセス インスタンスは、DoPreview() 呼出しと DoSubmit() 呼出しの間キャッシュされます。これは、依頼者が承認プロセスをプレビューし、プロセスの送信前にアドホック承認者を追加できるようにするためです。アドホック承認者が追加された場合、DoSubmit() を使用して承認プロセス インスタンスを再生成すると、アドホック承認者は失われます。しかし、アプリケーション開発者は、依頼者が DoPreview() 呼出しと DoSubmit() 呼出しの間に重要なフィールドに変更を加えた場合、Reset() を呼び出して対処する必要があります。重要なフィールドが承認フレームワークで特定されるわけではないため、この責任はアプリケーション開発者にあります。このような状況を全て把握できるかどうか懸念があれば、開発者は、常に Reset() を呼び出してから DoSubmit() を呼び出す方法や、これに類した方法を採用できます。その場合、この方法には、依頼者がプレビュー中に追加したアドホック承認者が失われるリスクがあります。最後に、依頼者の変更をアプリケーションが許可している場合 (ユーザーが別のユーザーの代理でトランザクションを送信する場合など)、LaunchManager の requester プロパティが更新される必要があります。requestor プロパティを更新すると、Reset() メソッドが自動的に呼び出されます。

パラメータ

なし。

戻り値

なし。

FindDefinitionID

構文

FindDefinitionID()

説明

このメソッドでは、照合条件を持つ全ての定義 ID が返されます。開発者は、definitionID プロパティを使用して定義 ID を設定できます。このプロパティの設定前に、DoSubmit または DoResubmit などのメソッドが呼び出される場合、承認フレームワークは、優先度に基づいて最初に返された定義 ID を使用します。

パラメータ

なし。

戻り値

レコードの配列。

TerminateRunningProcess

構文

```
TerminateRunningProcess()
```

説明

実行中のプロセスを終了します。

パラメータ

なし。

戻り値

なし。

LaunchManager クラス プロパティ

このセクションでは、LaunchManager クラス プロパティについて説明します。

hasTxn

説明

アプリケーションのプロセス ID が有効な場合は True。

definition

説明

定義を設定し、AppDef を再初期化します。

hasAppDef

説明

承認プロセスが定義されている場合は true。

hasAppInst

説明

承認プロセスがこのアプリケーション トランザクション上で現在実行されている場合は True。

hasEndedApplnst

説明

承認プロセスがこのアプリケーション トランザクション上で以前に実行されていた場合は True。

EOAW_CORE:DEFN:AppDef appDef

説明

このアプリケーション上で現在アクティブな承認プロセス定義。

resubmitEnabled

説明

このトランザクションを承認のために再送信できるかどうかを判断するために使用します。次の条件の場合に true を返します。

1. トランザクション レジストリ エントリが存在する。
2. 承認プロセスが定義されている。
3. このトランザクション上で 1 つまたは複数の承認プロセスが開始されたが、現在実行されているプロセスはない (承認、却下、または終了された)。

例

```
If &launchMgr.resubmitEnabled = True Then
    &launchMgr.DoReSubmit ();
End-If;
```

submitEnabled

説明

承認フレームワークの開始をトリガした送信アクションが、この承認トランザクション上で現在有効かどうかを判断するために使用します。次の条件の場合に送信は有効です。

1. トランザクション レジストリ エントリが存在する。
2. 承認プロセスが定義されている。
3. このアプリケーション トランザクション上でこれまでに開始された承認プロセスはない。

例

```
If (&launchMgr.submitEnabled) Then
    &launchMgr.DoSubmit ();
End-If;
```

restartEnabled

説明

このトランザクションの承認プロセスが再開されるかどうかを判断するために使用します。承認プロセスが現在実行中の場合は true を返します。

monitorEnabled

説明

承認のモニターが有効かどうかを判断するために使用します。承認プロセスが実行中の場合は、監視は有効です。

previewEnabled

説明

プロセスがこのトランザクション上で現在実行されていない場合は、プレビューは有効です。DoPreview() メソッドでは、開始される承認プロセスの後続プロセスのプレビューのみが表示されます。以前のプロセスを見直すためのものではありません。

注: DoPreview では、このトランザクションの完了した承認プロセスは表示されません。

EOAW_CORE:ENGINE:ApplInst applnst

説明

現在実行中の承認プロセス インスタンス。NULL である可能性があります。

EOAW_CORE:DEFN:AWTxn txn

説明

アプリケーショントランザクションレジストリ エントリ。

このプロパティは読取り専用です。

requester

説明

このプロパティは、承認目的でこのトランザクションを代理で送信することを依頼する依頼者を取得または設定するために使用します。このプロパティは読取り専用ではないことに注意してください。LaunchManager の構成後であっても、アプリケーションによって依頼者が変更されることがありますが、その場合は通告があります。

承認マネージャ クラス

このクラスでは、承認プロセスを管理するためのメソッドが提供されます。

ApprovalManager クラス メソッド

承認マネージャ オブジェクトとは、承認フレームワークへのアプリケーション開発者インターフェイスです。ほとんどの開発者が、承認フレームワーク オブジェクトに直接アクセスする必要があるとは感じません。アプリケーション開発者は、このクラスをコンポーネント有効範囲付き変数としてインスタンス化する必要があります。このクラスを初期化する最適な場所は、コンポーネント事後ビルド イベント内です。このクラスは、開発者がコンポーネントの事後ビルド時に容易に入手できる情報を使用してインスタンス化できます。開発者は、承認コンポーネントに入るユーザーに保留中の承認ワークがあるかどうかを確認するため、このオブジェクトのブール値のプロパティを調べる必要があります。保留中の承認がある場合、GetPending() メソッドは何か保留中かを特定し、DoApprove() または DoDeny() などのアクション メソッドが承認機能全体を実装するためにそれらを有効にします。

このセクションでは、承認マネージャ クラス メソッドについてアルファベット順に列挙します。

ApprovalManager

構文

```
ApprovalManager(&awprcs_id, &hdr_, &approver_)
```

説明

開発者は、リクエストが承認のために送信されることを示すアプリケーションのメインレコードのインスタンス内でこれらのトランザクション ID を渡す必要があります。これらによって、承認者が承認フレームワークに対して明示的に示される必要もあります。

パラメータ

パラメータ	説明
&awprcs_id	トランザクションレジストリに定義した承認プロセス ID を文字列として指定します。
&hdr_	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したヘッダーレコードをレコードとして指定します。
&approver_	トランザクションを承認するユーザーのユーザー ID を文字列として指定します。

例

```
import EOAW_CORE:*;
Component EOAW_CORE:ApprovalManager &approvalMgr;
&vchrRecord = CreateRecord(Record.VCHR_AF_HDR_VW);
GetLevel0(1).GetRecord(Record.VCHR_FS).CopyFieldsTo(&vchrRecord);
&approvalMgr = create EOAW_CORE:ApprovalManager("VoucherApproval",&vchrRecord, %Use⇒
rId);
```

DoApprove

構文

DoApprove(&rec)

説明

このメソッドは、レコードのトランザクションを承認するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&rec	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。

DoApproveRowSet

構文

DoApproveRowSet(&rs)

説明

このメソッドは、行セット全体のトランザクションを承認するために使用します。これが行レベルのレコードである場合、このレコードを承認者に転送した全てのパスは、次へ進みます。

たとえば、経費レポートに3行があり、3行全てを承認する場合、このレコードを行セットに挿入し、その行セットを DoApproveRowset に渡します。承認フレームワークでその行セット内の各行が承認されます。こうすることで、Approve への呼出が繰り返されることがありません。

パラメータ

パラメータ	説明
&rs	承認する行セットを行セットとして指定します。

戻り値

なし。

DoReassign

構文

DoReassign(*&rec*, *&reassignee*, *&bAllowAutoApprove*, *&bAllowSelfApprove*, *&comment*)

説明

このメソッドは、レコード インスタンスを別の承認者に再割当てするために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
<i>&rec</i>	再割当てするトランザクション レコードをレコードとして指定します。
<i>&reassignee</i>	承認の再割当て先のユーザーを文字列として指定します。
<i>&bAllowAutoApprove</i>	自動承認がアクティブかどうかをブール値として示します。
<i>&bAllowSelfApprove</i>	自己承認がアクティブかどうかをブール値として示します。
<i>&comment</i>	コメントを文字列として含めます。

戻り値

文字列。

DoReassignAll

構文

DoReassignAll(*&reassignee*, *&bAllowAutoApprove*, *&bAllowSelfApprove*, *&comment*)

説明

注: このメソッドは、トランザクションの全ての行アイテムを承認のために別のユーザーに再割当てするために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&reassignee</code>	再割当て先のユーザー ID を文字列として指定します。
<code>&bAllowAutoApprove</code>	自動承認がアクティブかどうかをブール値として示します。
<code>&bAllowSelfApprove</code>	自己承認がアクティブかどうかをブール値として示します。
<code>&comment</code>	コメントを文字列として含めます。

戻り値

文字列。

DoDeny

構文

`DoDeny(&rec)`

説明

このメソッドは、レコード インスタンスの承認を却下するために使用します。これがヘッダーレベルのレコードである場合、承認プロセスは終了します。これが行レベルのレコードである場合、その特定の行の処理は終了し、そのトランザクション内の他のレコードの処理は続行します。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&rec</code>	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコード名をレコードとして指定します。

戻り値

なし。

例

```
&approvalMgr.DoDeny(&reqRecord);
```

DoDenyRowset

構文

DoDenyRowset(&rs)

説明

このメソッドは、行セットの承認を却下するために使用します。これは、複数の行がある場合に、各行をループするのではなく、複数の行を承認フレームワークが一度に却下できるようにするために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&rs	行セットの名前を行セットとして指定します。

戻り値

なし。

DoDenyWithAllowUndeny

構文

DoDenyWithAllowUndeny(&rs)

説明

このメソッドは、行セットに再送信が許可されていない行セットの承認を却下するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&rs	行セットの名前を行セットとして指定します。

戻り値

なし。

DoHardDeny

構文

DoHardDeny(&rec)

説明

このメソッドは、レコード インスタンスの承認を却下し、再送信を許可しないために使用します。これがヘッダーレベルのレコードである場合、承認プロセスは終了します。これが行レベルのレコードである場合、その特定の行の処理は終了し、そのトランザクション内の他のレコードの処理は続行します。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&rec</code>	トランザクション レジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコード名をレコードとして指定します。

戻り値

なし。

DoLineResubmit

構文

DoLineResubmit(*&rec*, *&start*)

説明

再送信するための行を実行中のトランザクションに渡すことができます。ユーザーは、その行が現在のステージから再開されるか、最初から再開されるかを決定します。最初から再開する場合、最初のヘッダーステージ以後の全ての履歴は失われます。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&rec</code>	トランザクション レジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。
<code>&start</code>	承認プロセスの最初から開始する場合は <i>True</i> 、現在のステージから開始する場合は <i>False</i> を使用します。

戻り値

なし。

例

```
&approvalMgr.DoLineResubmit(&reqLnRecord, True);
```

DoAddNewLine**構文**

```
DoAddNewLine(&rec, &start)
```

説明

追加するための行を実行中のトランザクションに渡すことができます。ユーザーは、その行が現在のステージから再開されるか、最初から再開されるかを決定します。最初から再開する場合、最初のヘッダーステージ以後の全ての履歴は失われます。

パラメータ

パラメータ	説明
&rec	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。
&start	承認プロセスの最初から開始する場合は <i>True</i> 、現在のステージから開始する場合は <i>False</i> を使用します。

戻り値

なし。

GetPending**構文**

```
GetPending()
```

説明

このメソッドでは、保留中の任意のヘッダ行または行を含むアプリケーションヘッダまたは行レコードの形式で、行セットが返されます。

パラメータ

なし。

戻り値

保留中のトランザクションを含む行セット。

例

```
&LINERS = CreateRowset (Record.PV_REQLIN_AW_VW);
&LINERS = &approvalMgr.GetPending();
```

DoPushback

構文

DoPushback(&rec)

説明

このメソッドは、前の承認者にプロセスを差し戻すために使用します。これは、トランザクションの承認目的で、状態をより明確にするよう前の承認者にリクエストする手段を承認者に提供するために使用します。

注: ワークフローの差戻しは、同じパス内の前のステップに差し戻す場合にのみ機能します。パス内の最初のステップで Pushback() を呼び出しても、何も動作しません。

パラメータ

パラメータ	説明
&rec	トランザクション レジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。

戻り値

なし。

例

```
&approvalMgr.DoPushback (&reqRecord);
```

AddComments

構文

AddComments(&username, &rec, &comments)

説明

このメソッドは、承認プロセスにコメントを追加するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&username	現在のユーザーのユーザー名を文字列として指定します。
&rec	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。
&comments	承認トランザクションに対するコメントを文字列として指定します。

戻り値

なし。

例

```
&approvalMgr.AddComments(getUserName(%OperatorId), &reqRecord, PV_REQ_APPPG_WK.COMM⇒
ENTS_2000);
```

TakeNoAction

構文

TakeNoAction(&rec)

説明

このメソッドは、実行されるアクションがないときにユーザーのステータスを更新するために使用します。このステップで全ての承認者がアクションを実行しなかった場合、ステップは次に進み、現在のステップには [実行されたアクションなし] ステータスが格納されます。

パラメータ

パラメータ	説明
&rec	トランザクションレジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。

戻り値

なし。

PutOnHold

構文

PutOnHold(&rec)

説明

このステップの渡されたレコード インスタンスを保留にするために使用します。これが行レベルのレコードである場合、このレコードを承認者に転送した全てのパスは、次へ進みます。

パラメータ

パラメータ	説明
&rec	トランザクション レジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。

戻り値

なし。

PutOnHoldCount

構文

PutOnHoldCount(&rec)

説明

このメソッドは、承認トランザクションを保留にした承認者数をカウントするために使用します。たとえば、10 人の承認者がいて 5 件の承認が必要な場合、チェック時に 3 人の承認者がトランザクションを保留にしたとわかったとすると、7 人の承認者がまだ見ていないことになります。

パラメータ

パラメータ	説明
&rec	トランザクション レジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。

戻り値

文字列の配列。

GetPushedBack

構文

`GetPushedBack()`

説明

このメソッドは、トランザクション内の差し戻された全ての行を取得するために使用します。

戻り値

行セット。

GetPertinentThreads

構文

`GetPertinentThreads(&checkApprover, &userType)`

説明

このメソッドは、レビューまたは承認が保留中のスレッドを特定するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&checkApprover</code>	文字列として指定します。
<code>&userType</code>	文字列として指定します。

戻り値

行セット。

GetStage

構文

`GetStage(&rec)`

説明

このメソッドは、トランザクションの承認プロセスの現在のステージを取得するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&rec	トランザクション レジストリ内のトランザクション承認レベルの承認プロセスに対して定義したレコードをレコードとして指定します。

戻り値

EOAW_CORE:ENGINE:StageInst

GetPendingSteps

構文

GetPendingSteps()

説明

このメソッドは、承認プロセスの全ての保留中のステップを特定するために使用します。このメソッドでは、このトランザクションの保留中のステップインスタンス オブジェクトのリストが返されます。

パラメータ

なし。

戻り値

EOAW_CORE:ENGINE>UserStepInst の配列。

DoLineTerminate

構文

DoLineTerminate(&LineRec)

説明

このメソッドは、指定した行レベル承認を終了するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&LineRec	承認プロセスの行レベルレコードを指定します。

GetParticipant

構文

GetParticipant(&username)

説明

このメソッドは、ユーザーが承認プロセスの加入者かどうかを特定するために使用します。このメソッドでは、現在保留中またはアクションを実行したユーザーの加入者ステータスが返されます。

パラメータ

パラメータ	説明
&username	ユーザー ID を文字列として指定します。

戻り値

承認プロセスでのユーザーの加入者ステータスを特定する文字列。

- *N*- ユーザーが承認の加入者でない場合。
- *AA*- ユーザーが実際の承認者である場合。
- *OA*- ユーザーが元の承認者である場合。
- *RR*- ユーザーがレビュー担当者である場合。
- *O*- ユーザーが作成者である場合。
- *R*- ユーザーが依頼者である場合。

GetAllActiveParticipants

構文

GetAllActiveParticipants()

説明

このメソッドは、承認者、レビュー担当者、依頼者、作成者のいずれかのフラグが付いている全てのユーザーのリストを取得するために使用します。

パラメータ

なし。

戻り値

文字列の配列。

RequestInformation

構文

`RequestInformation(&user, &rs)`

説明

このメソッドは、指定したユーザーが情報を提供するまでの間、ステップを保留にするために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&user</code>	レビュー担当者として挿入されるリクエスト情報元の UserID を文字列として指定します。
<code>&rs</code>	レビュー担当者をそのステップに留める行セットを行セットとして指定します。

戻り値

なし。

SetAttributeObject

構文

`SetAttributeObject(&attrObj_)`

説明

このメソッドは、Approval Attribute クラスを Appinst クラスに設定するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
<code>&attrObj</code>	EOAW_CORE:ENGINE:AppAttributes として指定します。

戻り値

なし。

ApprovalManager クラス プロパティ

このセクションでは、ApprovalManager クラス プロパティについて説明します。

hasApplnst

説明

現在のトランザクションのヘッダーレコードに、現在保留中の承認フレームワーク インスタンスがある場合は True を返します。

definition

説明

App Def に設定された現在の定義 ID を取得します。

level

説明

保留中の承認ワークのレベルを返します。ヘッダーの場合は 0、行レベルの場合は 1 になります。承認フレームワーク アーキテクチャによって、ヘッダーおよび行レベルの承認ワークが同時には保留にならないことが保証されます。

このプロパティは読取り専用です。

hasPending

説明

ユーザーに、現在のトランザクションの承認待ちタスクがある場合は True を返します。

注: 通常、これはサインオンしたユーザーになりますが、その必然性はありません。

pushbackEnabled

説明

このメソッドは、1 を超えるステップ番号を持つ保留中のパスがあるかどうかを判断するために使用します。1 を超える番号のステップがある場合は True が返され、差戻しが有効です。

このプロパティは読取り専用です。

EOAW_CORE:ENGINE:AppInst the_inst

説明

現在の承認プロセス インスタンス。

isReviewer

説明

ユーザーが承認プロセスのレビュー担当者である場合は True を返します。

このプロパティは読取り専用です。

承認イベント ハンドラ クラス

このクラスでは、イベントをモニターして承認フレームワークに通知するためのメソッドが提供されます。

ApprovalEventHandler クラス メソッド

ApprovalEventHandler クラスは、プロセス内の特定のポイントで要求されるアクションの実行に使用されます。たとえば、新しい従業員が承認された場合、必須のアクションは、そのユーザーをアクティブにすることです。このクラスの目的は、特定のステータスまたはアクションのチェックをコンポーネントから承認フレームワークに移動することです。このセクションでは、ApprovalEventHandler クラス メソッドについて説明します。

ApprovalEventHandler

構文

```
ApprovalEventHandler()
```

説明

このメソッドは、ApprovalEventHandler クラスのコンストラクタです。この唯一の目的は、他のメソッドへのアクセスに使用できるオブジェクトを作成することです。

OnProcessLaunch

構文

```
OnProcessLaunch(&appInst)
```

説明

このメソッドは、新しい承認プロセスの開始処理が正常に行われると、この承認プロセス インスタンスを使用して呼び出されます。

パラメータ

パラメータ	説明
&appInst	EOAW_CORE:ENGINE:AppInst として指定します。

戻り値

なし。

例

```
method OnProcessLaunch
    /+ &appInst as EOAW_CORE:ENGINE:AppInst +/
    /+ Extends/implements EOAW_CORE:ApprovalEventHandler.OnProcessLaunch +/
    &appInst.thread.SetAppKeys (&vndrRecord);
    %This.updateProcessFlag (&PENDING);
end-method;
```

OnStepActivate

構文

OnStepActivate(&stepinst)

説明

このメソッドは、ステップ インスタンスがアクティブ化される時に使用します。そのステップと関連付けられた承認者およびレビュー担当者は、ワークリスト エントリをまだ受け取っていない場合は受け取ります。アクティブ化されたステップ インスタンス自体は、引数として渡されます。

パラメータ

パラメータ	説明
&stepinst	アクティブ化されたステップ インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:StepInst として指定します。

戻り値

なし。

OnStepHold

構文

OnStepHold(&userinst)

説明

このメソッドは、ユーザーがアクションを実行したときに、このステップを保留にするために使用します。保留とは、ユーザーが後でアクションを実行しようとしていることを意味します。

パラメータ

パラメータ	説明
&userinst	EOAW_CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。

戻り値

なし。

OnStepReassign

構文

OnStepReassign(&userinst, &origApprover)

説明

このメソッドは、ステップが再割当てされたときのアクションを示すために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&userinst	EOAW_CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。
&origApprover	文字列として指定します。

戻り値

なし。

OnStepComplete

構文

OnStepComplete(*&stepinst*)

説明

このメソッドは、ステップが完了したときに実行するアクションを示すために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&stepinst	アクティブなステップ インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:StepInst として指定します。

OnStepPushback

構文

OnStepPushback(*&userinst*)

パラメータ

パラメータ	説明
&userinst	EOAW_CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。

OnStepReactivate

構文

OnStepReactivate(*&stepins*)

説明

このメソッドは、ステップが再度アクティブにされるときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&stepinst	現在のステップ インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:StepInst として指定します。

OnFinalHeaderDeny

構文

```
OnFinalHeaderDeny(&appinst As EOAW_CORE:ENGINE:AppInst);
```

説明

このメソッドは、最終却下時に使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:AppInst として指定します。

戻り値

なし。

OnHeaderDeny

構文

```
OnHeaderDeny(&userinst)
```

説明

このメソッドは、ヘッダーの却下時に使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&userinst	EOAW_CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。

OnHeaderApprove

構文

```
OnHeaderApprove(&appinst)
```

説明

このメソッドは、ヘッダーが承認されるときに実行するアクションを示すために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_ CORE:ENGINE:AppInst として指定します。

OnNoApprovalNecessary

構文

OnNoApprovalNecessary(&appinst)

説明

このメソッドは、承認が必要ないときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_ CORE:ENGINE:AppInst として指定します。

OnLineDeny

構文

OnLineDeny(&userstep)

説明

このメソッドは、行が却下されるときに実行するアクションを示すために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&userstep	ユーザーステップを EOAW_ CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。

OnLineApprove

構文

OnLineApprove(&appinst, &thread)

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:AppInst として指定します。
&thread	EOAW_CORE:ENGINE:Thread として指定します。

OnAllLinesProcessed

構文

OnAllLinesProcessed(&appinst, &approved, &denied)

説明

このメソッドは、全ての行が処理されるときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:AppInst として指定します。
&approved	EOAW_CORE:ENGINE:Thread の配列を指定します。
&denied	EOAW_CORE:ENGINE:Thread の配列を指定します。

OnTerminate

構文

OnTerminate(&appinst As EOAW_CORE:ENGINE:AppInst);

説明

このメソッドは、アプリケーション インスタンスが終了されるときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:AppInst として指定します。

OnError

構文

OnError(*&stepinst*)

説明

このメソッドは、ステップ内でエラーが発生したときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
<i>&stepinst</i>	ステップ インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:StepInst として指定します。

OnStepReview

構文

OnStepReview(*&stepinst, &reviewers*)

説明

このメソッドは、ステップ インスタンスがレビューされるときに実行するアクションを示すために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
<i>&stepinst</i>	ステップ インスタンスを EOAW_CORE:ENGINE:StepInst として指定します。
<i>&reviewers</i>	レビューアの UserId を文字列の配列として指定します。

OnTimeout

構文

OnTimeout(*&userinst, ¬ify*)

パラメータ

パラメータ	説明
&userinst	EOAW_CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。
¬ify	文字列として指定します。

OnAdHocInsert

構文

OnAdHocInsert(*&stepinst*, *&approver*)

説明

このメソッドは、新しいアドホックレビュー担当者が挿入されるときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&stepinst	EOAW_CORE:ENGINE:AdHocStepInst として指定します。
&approver	承認者の UserId を文字列の配列として指定します。

OnAdHocDelete

構文

OnAdHocDelete(*&stepinst*)

説明

このメソッドは、アドホック ステップが削除されるときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&stepinst	EOAW_CORE:ENGINE:AdHocStepInst として指定します。

OnUserLocked

構文

OnUserLocked(&userinst)

説明

このメソッドは、ユーザーがロックアウトされるときに実行するアクションを示すために使用します。ユーザーがロックアウトされた場合、管理者に通知される必要があります。この場合でもシステムによってそのユーザーに承認がルーティングされるため、これは警告として動作します。

パラメータ

パラメータ	説明
&userinst	EOAW_CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。

OnStepRequestInformation

構文

OnStepRequestInformation(&userinst)

説明

このメソッドは、情報を求めるリクエストがあるときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&userinst	EOAW_CORE:ENGINE:UserStepInst として指定します。

OnRequestInformationAdded

構文

OnRequestInformationAdded(&appinst As EOAW_CORE:ENGINE:AppInst, &level As number, ¬ifyList As array of string);

説明

このメソッドは、リクエスト情報が追加されたときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_ CORE:ENGINE:AppInst として指定します。
&level	承認レベルを数値として指定します。
¬ifyList	通知先の UserId を文字列の配列として指定します。

ProcessNotifications

構文

ProcessNotifications(*&appinst*)

説明

このメソッドは、通知を処理するために使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_ CORE:ENGINE:AppInst として指定します。

OnLineTerminate

構文

OnLineTerminate(*&appinst, &thread*)

説明

このメソッドは、行が終了されるときに使用します。

パラメータ

パラメータ	説明
&appinst	アプリケーション インスタンスを EOAW_ CORE:ENGINE:AppInst として指定します。
&thread	EOAW_ CORE:ENGINE:Thread として指定します。

ApprovalEventHandler クラス プロパティ

このセクションでは、ApprovalEventHandler クラス プロパティについて説明します。

wlPrefix

説明

ワークリスト プレフィックス。

wlBusinessProc

説明

ビジネス プロセス。

wlActivityName

説明

アクティビティ名。